愛情点検	●長年ご使用のビデオの点検をぜひ！			●ビデオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
	このようなことはありませんか。	●電源コード、プラグが異常に熱くなる。 ●画像が乱れたり、きれいに映らない。 ●その他の異常や故障がある。	▶	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を……。点検・修理のついての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

お客様メモ 後日のために記入しておいてください。 サービスを依頼されるときに便利です。	ご購入店名　　　　電話（　　）　　―
	ご購入年月日　平成　　年　　月　　日

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

株式会社 日立製作所

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

この取扱説明書は、再生紙を使用しております。

QR15456 © Hitachi, Ltd. 1996

Printed in Japan KR-T(Y)

取扱説明書

HITACHI

日立ビデオカセットレコーダー

Hi-Fi（ハイファイ） S-VHS VIDEO Plus+

BSチューナー内蔵

7B-BS87形

このたびは、日立ビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

このビデオは、S-VHS方式のビデオです。
S-VHSおよびVHSマークのついたビデオテープ以外は使用できません。

この取扱説明書の見かた

インデックス

【はじめに】
ビデオをお使いになる前に知っておいていただきたい内容を説明しています。

【見る・録る】
テープの見かたや録画のしかたを説明しています。

【タイマー録画】
留守録画（タイマー録画）のしかたを説明しています。

【便利な使いかた】
「見る・録る」「タイマー録画」以外の使いかたを説明しています。

【設置・準備】
ご自分で設置するときは、ここをお読みください。
接続のしかたや受信チャンネルの合わせかた、時計の合わせかたなどを説明しています。

【ご参考】
「故障かな…と思ったら」「保証とアフターサービス」は必ずお読みください。

安全にお使いになるためのご注意

ご使用になる前によくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な注意事項を記載しています。
注意事項は、取り扱いを誤った場合に発生が想定される危害や損害の程度を、次のとおり「警告」「注意」の2つに分類しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される」内容を示しています。
注意	誤った取り扱いをすると、「人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される」内容を示しています。

※1　重傷 ……… 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2　傷害 ……… 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3　物的損害 … 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

図記号の意味

この記号は、気をつけていただきたい「注意」の内容を表しています。	指に注意　この記号は、「指に注意する」ことを表しています。
禁止　この記号は、してはいけない「禁止」の内容を表しています。 絶対に行わないでください。	電源プラグを抜く　この記号はコンセントから「電源プラグを抜く」ことを表してます。
分解禁止　この記号は、「分解禁止」を表しています。	接触禁止　この記号は、「接触禁止」を表しています。
水場での使用禁止　この記号は、「水場での使用禁止」を表しています。	

⚠警告

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

禁止

頭や足の上などにビデオが落下すると、けがの原因となります。

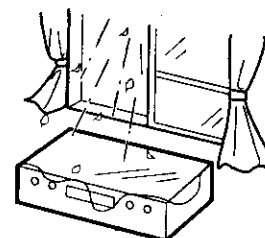
風呂場では使用しない

水場での使用禁止

(風呂場で使用すると)火災・感電の原因となります。

⚠警告

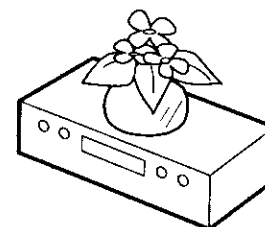
水にぬらさない

水場での使用禁止

内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電の原因となります。

・屋外や窓辺で使用するときは、ビデオをぬらさないようにご注意ください。
・内部に水などが入ったときは、使用をやめ、ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

ビデオの上に、花びん、植木鉢、コップなど水の入った容器、または小さな金属物を置かない

禁止

水がこぼれたり金属物が落ちて内部に入ると、火災・感電の原因となります。

指定(交流100ボルト)以外の電源電圧で使用しない

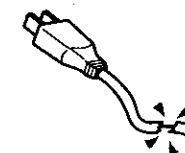
禁止

過電圧により、発熱して、火災・感電の原因となります。

電源コードを破損させない

電源コードの破損につながるので、取り扱いの際は、次の点を守ること

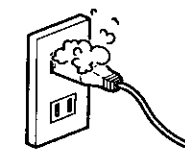
・傷つけない
・ねじらない
・無理に曲げない
・重い物や角が鋭利なものをのせない
・加熱しない
・引っ張らない
・加工しない
・束ねない
・敷物などでおおわない

禁止

破損したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

・電源コードの芯線が露出したり、断線したときは、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に交換をご依頼ください。

電源プラグを抜く

電源プラグや電源プラグの刃にゴミやほこりを付着させない

禁止

そのまま使用すると、発熱・火災の原因となります。

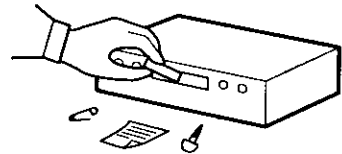
・ほこりが付着しているときは、電源プラグを抜いて、ほこりを取り除いてください。

(つづく)

安全にお使いになるためのご注意(つづき)

⚠警告

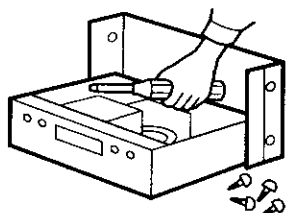
内部に金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしない

禁止

ビデオテープ挿入口・ビデオの通風孔などから内部に入ったり、入ったまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

・ 内部に金属物や燃えやすいものが入ったときは、使用をやめ、ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

ビデオのカバー、裏ぶたを外さない 分解・修理・改造をしない

分解禁止

分解、修理、改造などで内部の電源部にさわると、火災・感電の原因となります。

・ 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

・ 落としたり、キャビネットを破損したときは、正常に動作しているように見えても、内部に異常がある場合があります。ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

煙が出ている、変なにおいがするなど異常なときは、本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

・ 煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は、危険ですから絶対おやめください。

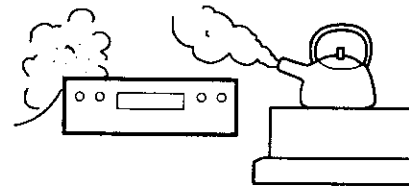
雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

接触禁止

アンテナ線や電源プラグに触れると感電の原因となります。

⚠注意

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所、振動が激しい場所に置かない

禁止

内部にほこりや水分が入ると、火災・感電の原因となることがあります。また振動により、内部部品が破損すると、発熱し、火災・故障の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

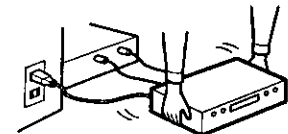
ビデオの通風孔をふさがないように、設置の際は次の点を守ること

- **横倒し、逆さまにしない**
- **押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まない**
- **じゅうたんや布団の上に置かない**
- **テーブルクロスを掛けない**
- **ビデオの後面を壁に押しつけない**

禁止

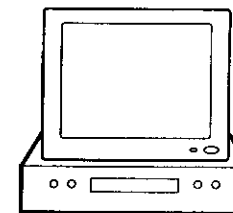
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

アンテナ線、電源コード、その他のコードを接続したまま移動させない

禁止

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

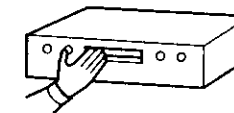
・ テープ保護のため、ビデオテープは取り出しておいてください。

ビデオの上に、重い物を置かない ビデオの上に乗らない

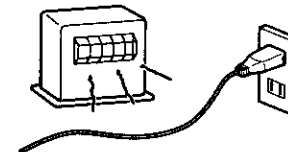
禁止

倒れたり、壊れたり、落下などしてけがの原因となることがあります。
また、重みでキャビネットが変形し、内部部品が破損して発熱し、火災・故障の原因となることがあります。

・ 特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

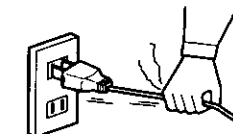
テープ挿入口に手を入れない

指に注意

内部にふれたり、はさまれたりして、けがの原因となることがあります。
特に小さなお子様にご注意ください。

電源コードを熱器具に近づけない

禁止

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを持って抜かない

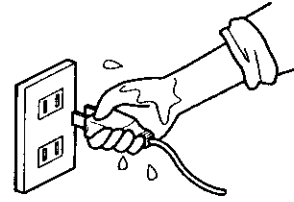
禁止

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

・ 電源コードを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。

(つづく)

安全にお使いになるためのご注意(つづき)

⚠注意

ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれていると、感電する原因となることがあります。

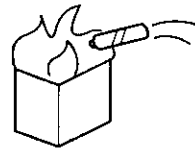
指定以外の乾電池は使わない

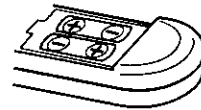
指定されていないもの、種類が異なるもの、新しいものと古いものを混ぜて使用すると、乾電池の発熱・破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

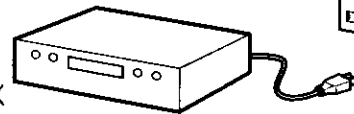
〈乾電池の液漏れについて〉

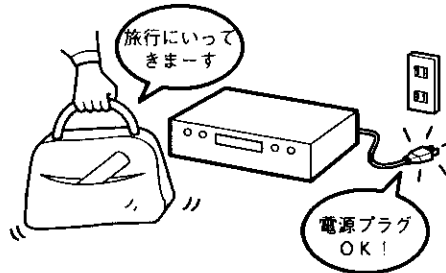
- 液漏れしたときは、よくふき取ってから、新しい乾電池を入れてください。
- 液が手や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、失明などの事故の原因となります。
  こすらずに、すぐきれいな水で洗い流してから、ただちに医師の治療をうけてください。

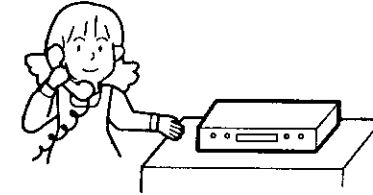
乾電池を取り扱う際は、次の点を守ること

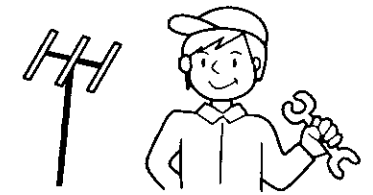
- 火の中に入れない
- 加熱しない
- 充電・分解しない
- ショートさせない
- 鍵などの金属物と接触させない

発熱・破裂・液漏れなどにより、けがの原因となることがあります。

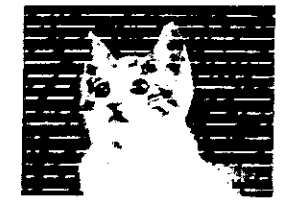
乾電池は、極性表示(プラス ⊕ とマイナス ⊖)の向きに注意し、機器の指示通り正しく入れる

間違えると、乾電池の発熱・破裂、液漏れなどにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

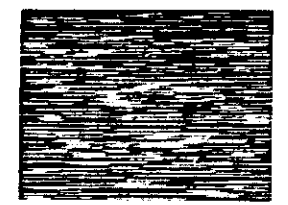
お手入れの際は、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜く

電源コードが接続されていると、感電の原因となることがあります。

長期間使わないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜く

⚠注意

5年に1度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください

ビデオの内部にほこりがたまったまま使用すると、火災・故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うことをおすすめします。なお、費用については、ご相談の際にお確かめください。

アンテナ工事には、技術が必要です。販売店にご相談ください。

アンテナが倒れたり、落下した場合、けがや感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

アンテナの立てかたについて	●妨害電波の影響を避けるため、自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所にお立てください。 ●アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。また風でブラブラしないようにしっかりと固定してください。 ●金属の多い場所に配線することも避けてください。 ●VHF アンテナに同軸ケーブルを使用すると、雑音の少ない良好な画像が得られます。
アンテナの点検について	●アンテナを定期的に点検、交換することが、いつまでも美しい画像をご覧になるための秘けつです。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは寿命が短くなりますので早めに点検してください。
テレビの映りが悪いときは	●ビデオを接続したとき、電波の弱い地域ではテレビの映りが悪くなることがあります。このときはブースター(別売品)をご使用ください。
ラジオの近くに置かない	●ビデオの近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に"ブー"というハム音が出ることがあります。ビデオから離してご使用ください。
直射日光が当たるところや熱器具の近くに置かない	●キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
強力な磁気のあるところに置かない	●テープが磁気の影響を受けて、大切な記録が損なわれたり、故障の原因となることがあります。
接続機器の取扱いについて	●ビデオに接続して使用する機器の取扱説明書とその「使用上の注意」もよくご覧ください。

ヘッド汚れにご注意！（ビデオヘッドが汚れて、画像や音が出なくなることがあります。）

●**ヘッドの清掃**

（テレビ番組はきれいに映るのにビデオで再生するとザラザラした画面になる）

初期

末期

ビデオを使っているとこんな症状が出ることがあります。これはビデオヘッドが汚れたためですからビデオヘッドの清掃が必要です。
本機ではおそうじヘッドの採用により、ヘッドが汚れにくくなっております。しかし、汚れた場合は別売りのヘッドクリーニングテープをご使用ください。ヘッドクリーニングテープを使っても汚れがとれないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

●ヘッドクリーニングテープをお使いになるときは、お使いになるクリーニングテープの説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
●市販のクリーニングテープをお使いになるときは、誤動作を防ぐため、テープナビゲーション機能を切ってからクリーニングテープを入れてください。

●**ヘッドの摩耗**

ビデオを長い間使用するとビデオヘッドはレコード針と同様に摩耗し、画像が鮮明に映りません。このような場合ビデオヘッドの交換が必要です。ビデオヘッドの交換はお買い上げの販売店にご相談ください。

お手入れについて

●化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。
●キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
●キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。
●キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。

（つづく）

使用上のご注意(つづき)

お知らせ

結露にご注意！ ※ビデオの内部に水滴がつくことを結露といいます。	●結露したまま使用するとテープが切れたり、ビデオヘッドを傷つけることがあります。 ●結露が生じてしまったら、水滴を急激に蒸発させることはできません。電源プラグを差し込んで、約2時間お待ちください。 ●結露は次のようなときにおきやすいのでご注意ください。 • 寒い場所から急に暖かい場所に移したとき。 • 暖房をはじめたばかりの部屋や、エアコンなど直接冷風のあたるところ。 • 夏季に冷房のきいた部屋から急に湿度、温度の高い部屋に移したとき。 • 湿気の多いところや湯気のたちこめているところ。 ●結露がおこりそうなときは、電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを"入"にしておくと、結露が生じにくくなります。
外国では使わない	●このビデオは日本国内用です。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。 ●<This video cassette recoder can not be used in foreign countries as designed for Japan only.>
標準モード専用のビデオでの再生について	●本機の「3倍」モードで録画したテープは「標準」モード専用のビデオでは再生できません。
録画内容の補償について	●ビデオ、ビデオカメラおよびビデオテープを使用中、万一これらの不具合により録画されなかったり、再生できなくなった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。
テープナビゲーションの録画データの保持について	●本機のメモリーが故障して録画データが消えた場合、データを復元することはできません。
大切な録画をするときは試し録りを！	●大切な録画の場合は、必ず事前に試し録りし、正常に録画、録音されていることを確認してください。
著作権について	●あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上権利者に無断で使用できません。

本機の特長

トリプル3次元回路
3つの3次元回路が録画時と再生時のさまざまなノイズを徹底的にふるい落とし、色鮮やかな映像を再現します。

デジタルTBC
テープの伸びや走行ムラを原因とする画像の揺れや歪みを抑え、安定した高品位な映像再生を可能にします。

テープナビ(58ページ)
録画した日にち、開始時刻、チャンネル、録画時間、録画モードなどの情報がビデオに自動的に登録されます。見たい番組の頭出しや録画する場所探しが快速にできます。

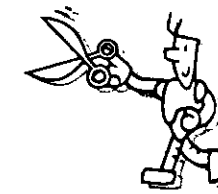
19ミクロンヘッド
3倍モードも標準モードに匹敵する高画質で記録します。

高速リワインド(28ページ)
テープを約260倍速で巻戻します。

大型操作ボタンと大型時計表示
時計やカウンターが大きく、操作ボタンも大きいので快適に操作できます。

ワイドクリアビジョン放送を識別するS2/S1端子付き(108ページ)
ワイドクリアビジョン放送を識別して、ワイドテレビの画面にピッタリ合ったサイズで出力します。

クローズド・キャプション・デコーダ内蔵(68ページ)
クローズド・キャプション信号入りのテープを再生すると、英語の字幕を表示できます。

Gコード予約(37ページ)
Gコードシステム*内蔵により、新聞などに掲載されているGコード(8桁の数字)を入力するだけで、簡単にタイマー予約できます。
＊Gコードはジェムスターコードの略です。Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

CMオートカット(54ページ)
CMを自動的にカットしながら録画できます。

デジタルワイド高画質
デジタル処理技術により、ワイド画面にふさわしい高画質の映像を再現します。

付属品を確かめましょう

もくじ

ページ

はじめに

見る・録る

ページ

タイマー録画

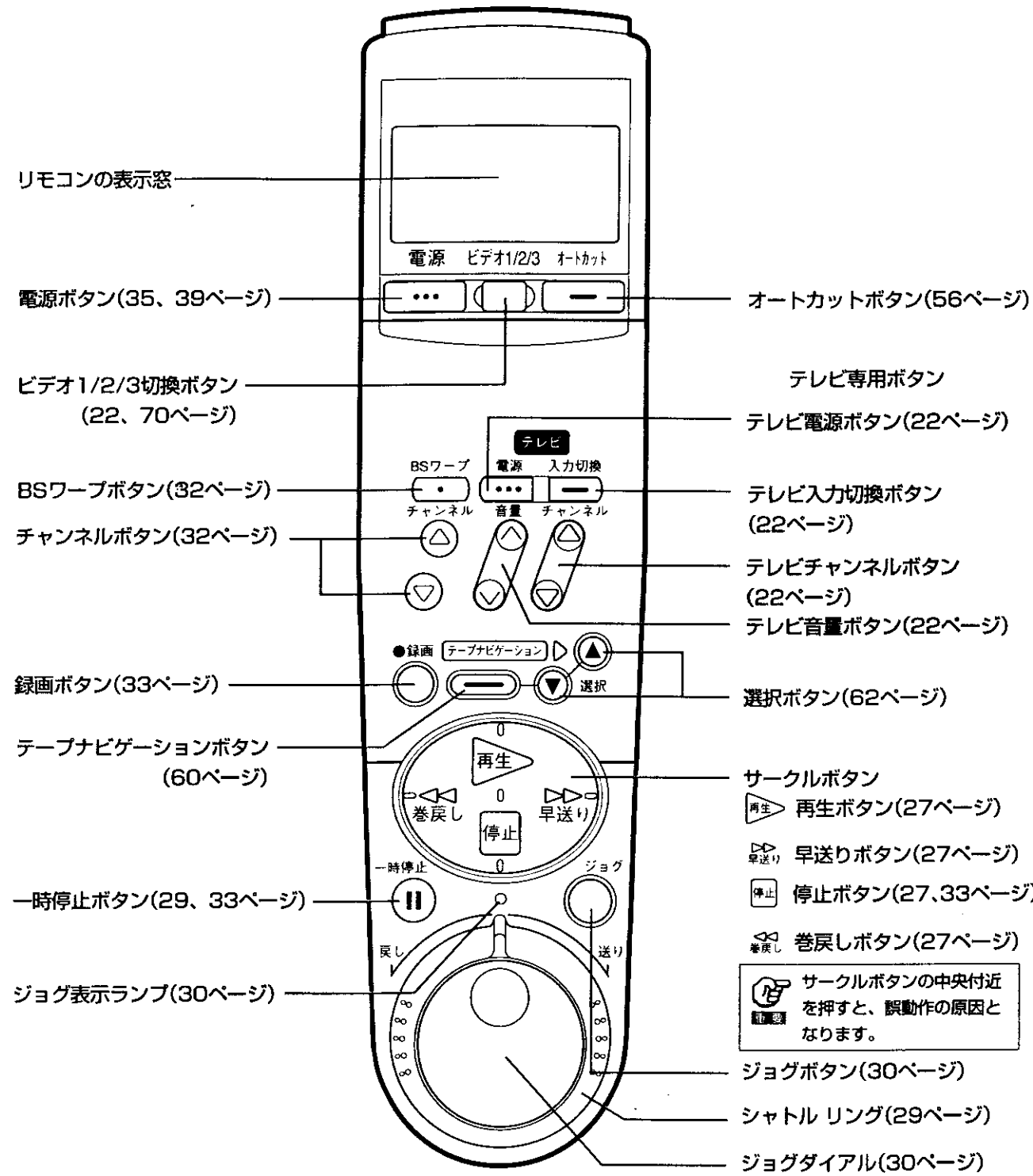
便利な使いかた

接続のしかたや受信チャンネルの合わせかた、時計の合わせかたが説明してあります。
設置・準備編のもくじは77ページをご覧ください。

ご参考

各部のなまえ

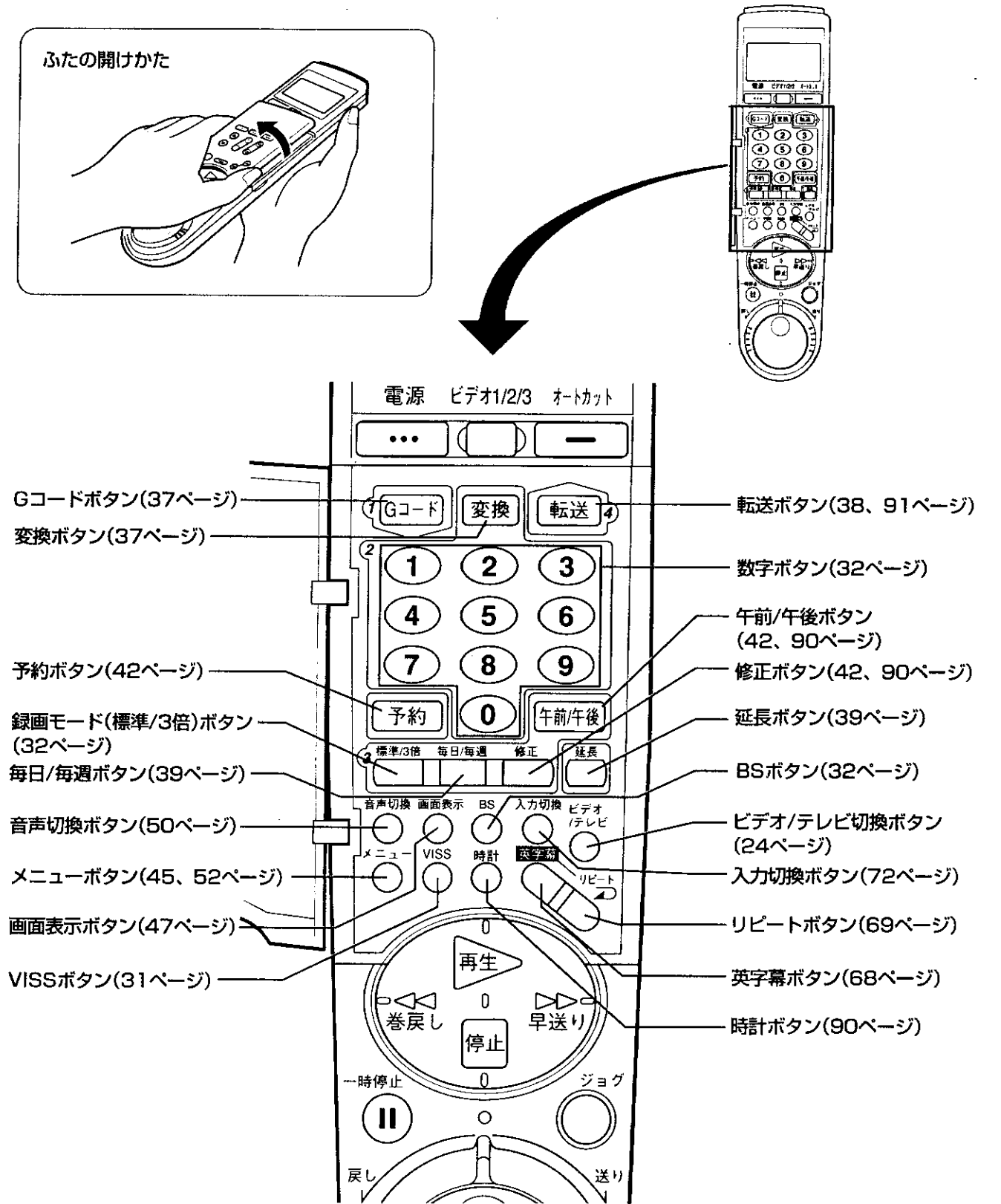
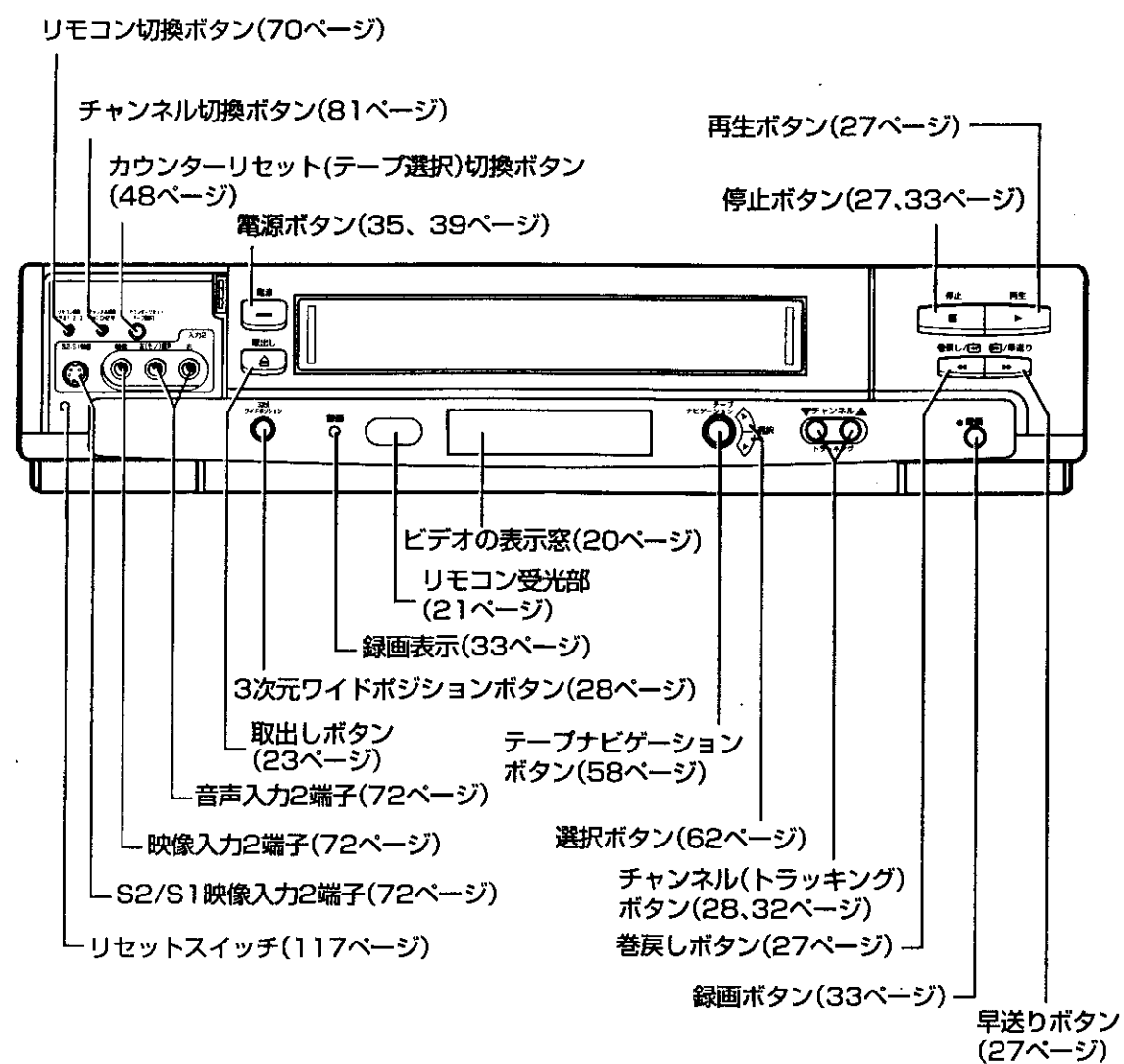
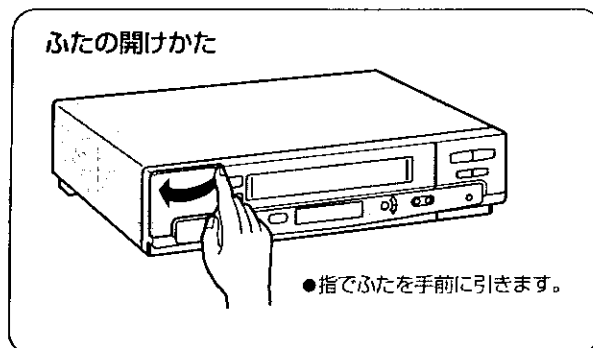
（　）の中のページに詳しい使いかたがあります。

リモコン（ふたを閉じた状態）

リモコン（ふたを開けた状態）

各部のなまえ(つづき)

ビデオ(正面)

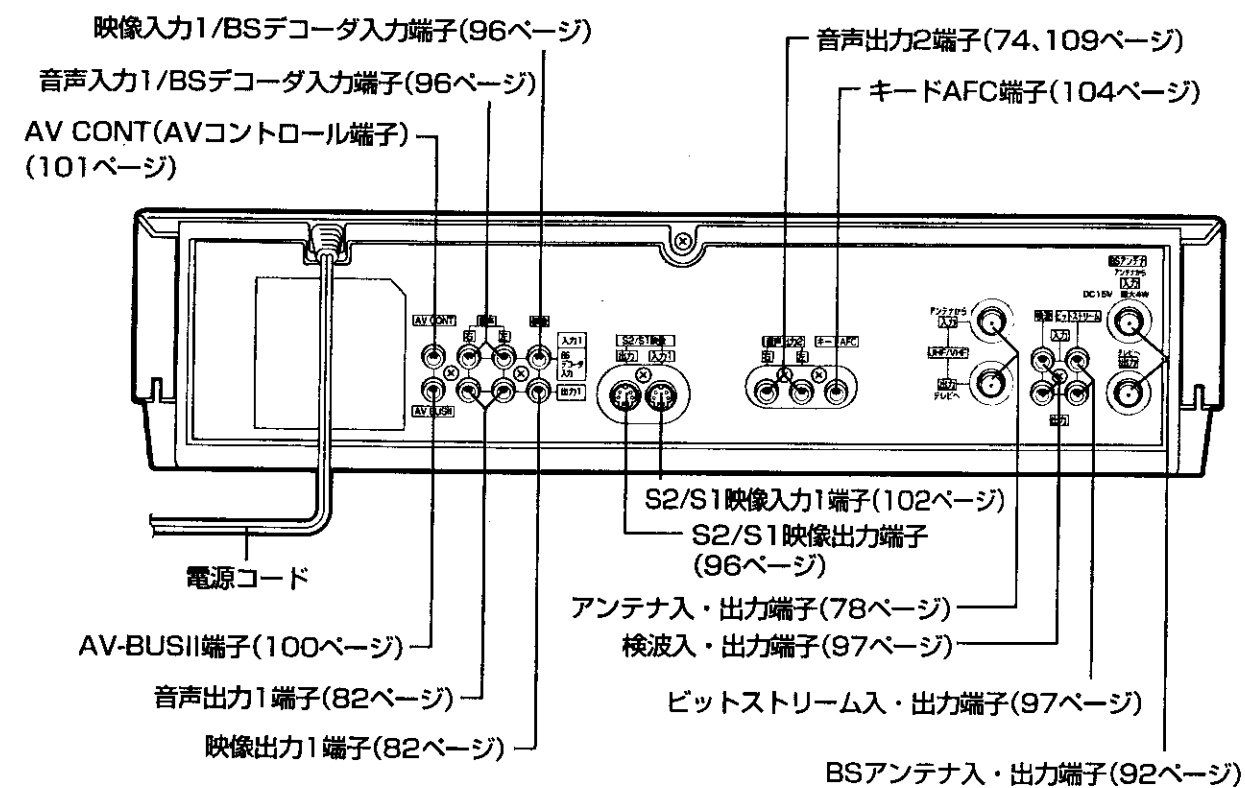
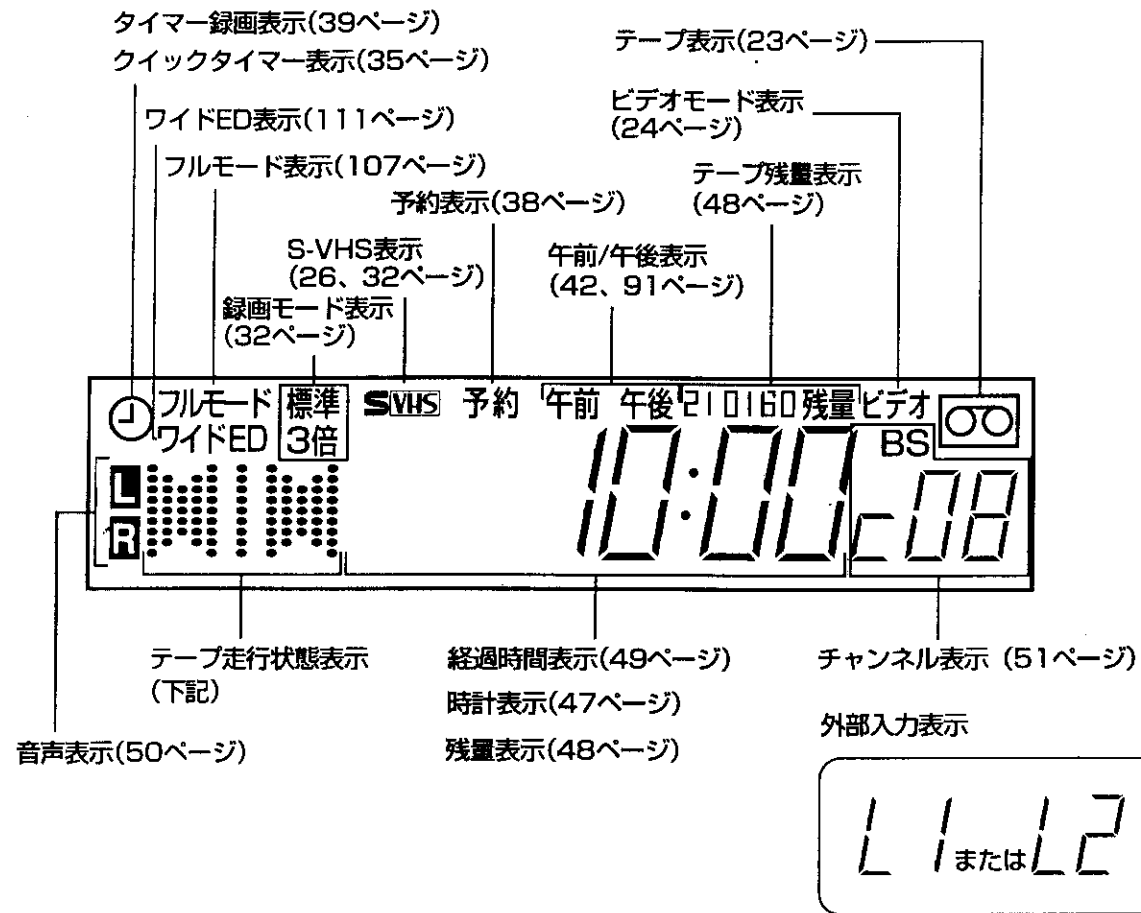
ふたの開けかた

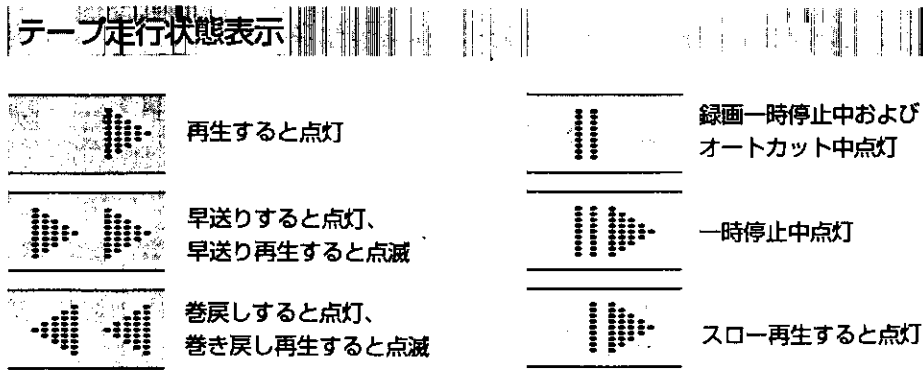
●指でふたを手前に引きます。

ビデオ(後面)

各部のなまえ(つづき)

ビデオの表示窓

テープ走行状態表示

	再生すると点灯		録画一時停止中およびオートカット中点灯
	早送りすると点灯、早送り再生すると点滅		一時停止中点灯
	巻戻しすると点灯、巻き戻し再生すると点滅		スロー再生すると点灯

お知らせ

- 電源を切ると、表示窓は暗くなります。

リモコンの使いかた

ビデオは主にリモコンで操作します。ご使用前に付属の乾電池を入れてください。

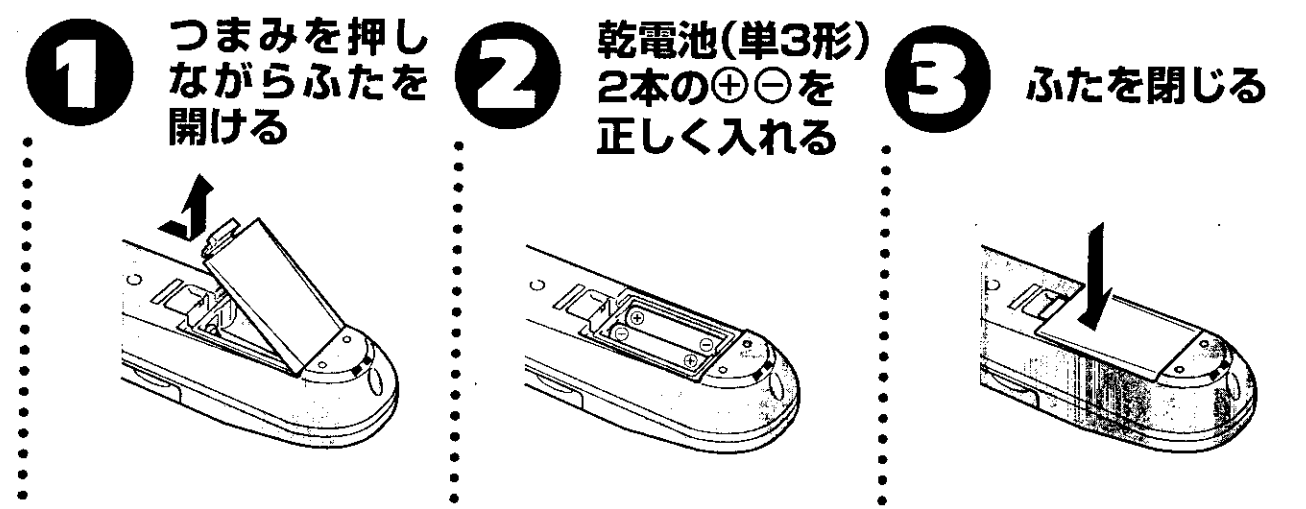
⚠注意
- 指定以外の乾電池は使わないでください。
  指定されていないもの、種類が異なるもの、新しいものと古いものを混ぜて使用すると、乾電池の発熱・破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 乾電池を取り扱う際は、次の点を守ってください。
  - 火の中に入れない
  - 加熱しない
  - 充電・分解しない
  - ショートさせない
  - 鍵などの金属物と接触させない

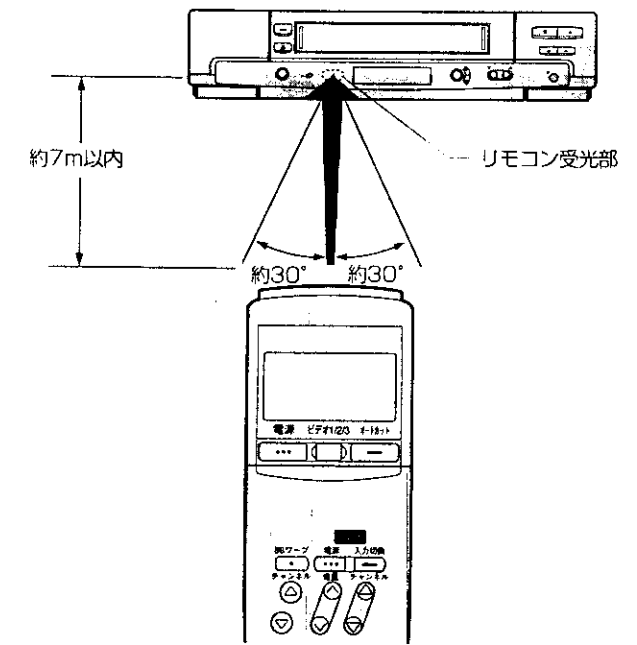
  これらの点を守らないと発熱・破裂・液漏れなどにより、けがの原因となることがあります。

乾電池の入れかた

1 つまみを押しながらふたを開ける

2 乾電池(単3形)2本の⊕⊖を正しく入れる

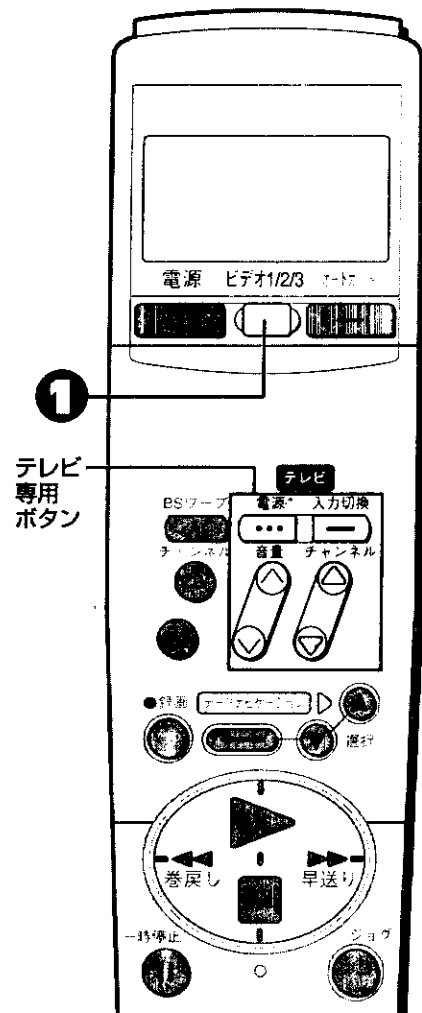
3 ふたを閉じる

リモコンの操作範囲

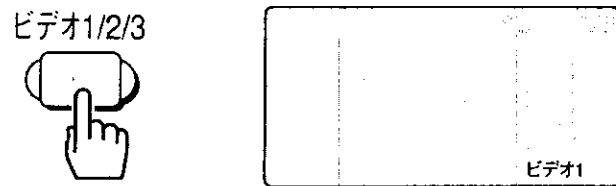
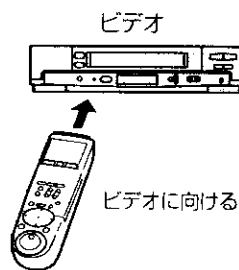
ビデオとリモコンの間に障害物がないときに、下図の範囲で操作できます。

お知らせ

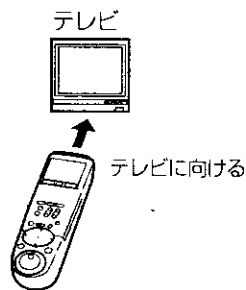
乾電池の寿命は通常の使用で約半年です。リモコンの到達距離が短くなったり、表示窓の文字表示が薄くなったときは、新しい乾電池に交換してください。
乾電池を交換するときは、古い乾電池を取りはずして**電源ボタンを10秒間押してから、**新しい乾電池を入れてください。乾電池を交換したときは、リモコンの時計を合わせ直してください。

- リモコンの時計合わせは、90、91ページを参照ください。

リモコンの使いかた (つづき)

付属のリモコンでは、ビデオ(本機)とテレビの操作ができます。
1985年以降に発売された日立製ワイヤレスリモコン対応テレビのほとんどを操作することができます。また、日立製以外の9社のテレビも操作することができます。
(詳しくは71ページをご覧ください。)

ビデオを操作する

❶ ビデオ1/2/3切換ボタンを押して、リモコンの表示窓に「ビデオ1」を表示する

❷ リモコンをビデオに向けて操作する

テレビを操作する

リモコンをテレビに向けて、テレビ専用ボタンを押す

テレビ専用ボタン
- 電源ボタン
- 入力切換ボタン
- チャンネルボタン
- 音量ボタン

お知らせ

- このビデオは、リモコンの表示窓に「ビデオ1」が表示されているときビデオの操作ができるよう、工場出荷時に調節されています。

テープを入れる・取り出す

電源コードをコンセントにつないでおけば、電源の入/切に関係なく、テープの出し入れができます。

⚠ **警告** 内部に金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
ビデオテープ挿入口から内部に入ったり、入ったまま使用すると火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

お知らせ

テープを入れると
テープナビゲーション機能が働きます(58ページ)。
ビデオの表示窓が時計表示のときテープを入れると、自動的に経過時間表示に切り換わります。時計または残量表示に切り換えるには画面表示ボタンを押します(47ページ)。

テープを取り出すと
ビデオの表示窓が経過時間表示または残量表示のときテープを取り出すと、自動的に時計表示に切り換わります。

テープの種類と録画時間
録画モードを「標準」にすると、テープの表示と同じ時間、「3倍」にするとその3倍の時間、録画できます。

テープの種類	モード	録画時間
T-210	標準	3時間30分
	3倍	10時間30分
T-180	標準	3時間
	3倍	9時間
T-160	標準	2時間40分
	3倍	8時間
T-140	標準	2時間20分
	3倍	7時間
T-120	標準	2時間
	3倍	6時間
T-90	標準	1時間30分
	3倍	4時間30分
T-60	標準	1時間
	3倍	3時間
T-30	標準	30分
	3倍	1時間30分

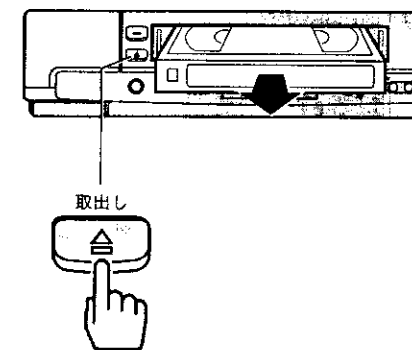
つめの折れたテープが入っているとき
- 「つめ」の折れたテープを入れたまま録画ボタンを押したり、タイマー予約後にビデオの電源を切ったりすると、自動的にテープが出てきます。

入れかた

中央部を押しながら入れる

電源が自動的に入り、ビデオの表示窓に▭▭が点灯します。
「つめ」の折れたテープを入れると自動的に再生を始めます。
ビデオテープは裏返しては使えません。

取り出しかた

テープが停止状態のとき取出しボタンを押す

電源を入れなくてもテープを取り出せます。
ビデオの電源が入っているとき取出しボタンを押すと、「ピッ」と音がします。

テープの「つめ」について(誤消去防止)

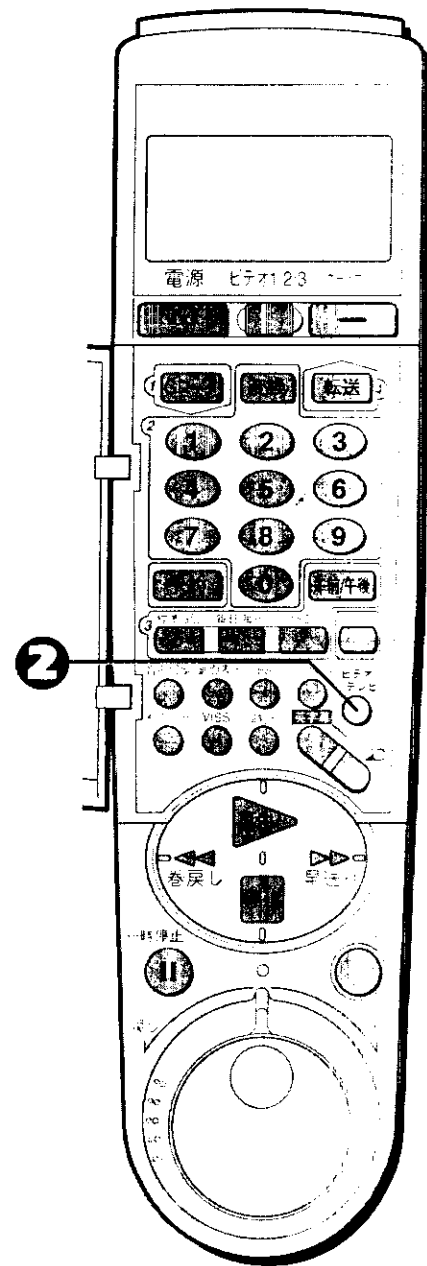
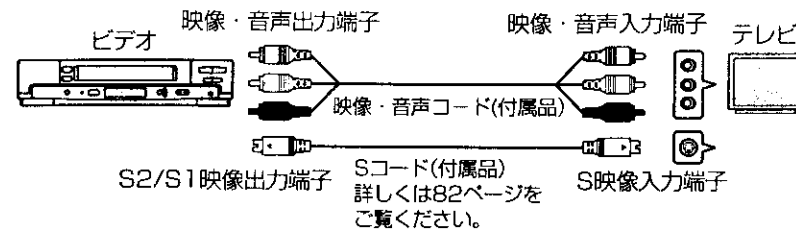
■ **録画を誤って消さないために**

「つめ」を折り取る

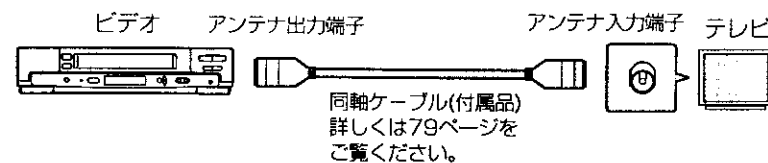
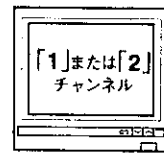
■ **ふたたび録画するとき**

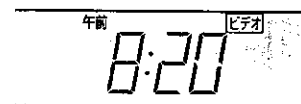
セロハンテープをピンと二重に貼る

ビデオの画像をテレビに映す

ビデオテープの再生画面や録画中の番組をテレビで見るには、テレビの準備が必要です。
テレビとビデオの接続のしかたによって準備が違います。接続を確認してから下記のように設定してください。

映像・音声入力端子つきテレビにつないでいるとき

テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする

●テレビには、ビデオの表示窓に表示されているチャンネルの番組が映ります。

アンテナ端子だけのテレビにつないでいるとき

1 テレビの電源を入れ、テレビをビデオチャンネル(1または2)に合わせる

81ページで選んだビデオ専用チャンネルに合わせてください。

2 ビデオ/テレビ切換ボタンを押す

●ビデオの表示窓に「**ビデオ**」を表示させます。
テレビには、ビデオの表示窓に表示されているチャンネルの番組が映ります。

操作編

S-VHSについて

**S-VHS方式は、従来のVHS方式に比べ高解像度(水平解像度400本以上)、高画質です。
より美しく、鮮明な画像が楽しめます。
接続するテレビは、S映像入力端子やS1またはS2映像入力端子付のテレビをお勧めします。
これらの端子の付いていないテレビと接続したときは、S-VHS方式の高解像度、高画質を十分に楽しむことができません。**

■ 使用するテープと記録方式について

お好みセレクトの「5 S-VHS」を［オート］に合わせていると、使用するテープの種類に合った記録方式で録画されます。［切］に合わせると、テープの種類に関係なくVHS方式で録画されます。(53ページ参照)

S-VHS ［オート］または［切］	使用するテープ	記録方式	「S-VHS」表示
［オート］	S-VHS	S-VHS	表示する
	VHS	VHS	表示しない
［切］	S-VHS	VHS	表示しない
	VHS	VHS	表示しない

ビデオの表示窓

S-VHS表示は、S-VHS方式で録画中と再生中に自動的に表示されます。

■ 記録したテープの再生について

テープを再生するときは、記録方式を自動的に判別し、記録方式に合わせて再生します。

記録したテープ	記録方式	再生できるビデオ	「S-VHS」表示
S-VHS	S-VHS	● S-VHS	表示する
		● SQPB※付ビデオ	表示しない
	VHS	● S-VHS	表示しない
VHS	VHS	● SQPB付ビデオ	
		● SQPB無ビデオ	

※ SQPBは、S-VHS Quasi(クワジ) Playback (S-VHS簡易再生)の略です。

お　知　ら　せ

VHSテープの何も録画されていない部分を再生したとき「S-VHS」を表示することがあります。
お好みセレクトの「5 S-VHS」を［オート］に合わせていると、テープを取り出しても自動的に「S-VHS」が表示されます。ビデオの電源を切ると、S-VHS表示は消えます。

テープを見る(再生)

テープに録画した番組をテレビで見ることを、「再生」といいます。

重要　冬など寒い時期は、十分に部屋の温度になじませてからテープを入れて再生してください。
テープが冷えたまま再生すると、テープが結露し、テープが切れたりビデオヘッドを傷つけることがあります。

巻戻しボタン

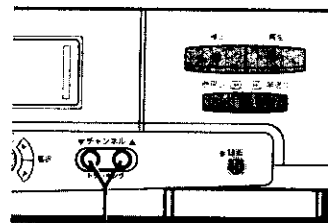
早送りボタン

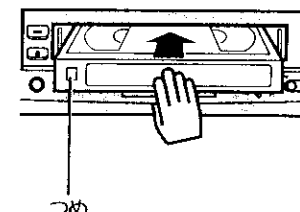
お　知　ら　せ

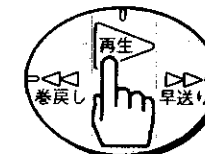
操作音について

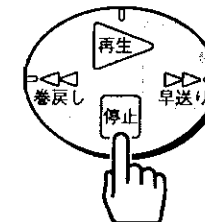
本機は、電源の入・切や再生などの操作をすると、ボタンを押すたびに「ピッ」と音がします。
操作音をなくすことはできません。

再生する

テレビで

・テレビの電源を入れる
・テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

❶ 録画したテープを入れる

自動的に電源が入ります。
レンタルテープなど、「つめ」の折り取られているテープを入れると、自動的に再生を始め、テレビ画面に「レンタル再生」が数秒間表示されます。

❷ 再生ボタンを押す

再生が始まります。

❸ 再生をやめるときは停止ボタンを押す

テープを早送りまたは巻戻しするとき

停止ボタンを押したあと、早送りまたは巻戻しボタンを押す

テープを見る(再生)（つづき）

重要

- テープによっては、再生を始めてオートトラッキング機能が働いたとき、ノイズの入った画像や音声が出ることがあります。
  オートトラッキング調整が終わるとノイズは消えます。
- 高速の早送りまたは巻戻しのときは、テープ保護のため停止ボタンを押してからテープが止まるまでに約5秒かかります。早く止めたいときは通常の早送り／巻戻しの速さに戻してから停止ボタンを押してください。
- 3次元ワイドポジションボタンを点灯させて市販のソフトテープを見ているとき、テープによっては、画像が縦方向、横方向に揺れることがあります。このときは、3次元ワイドポジションボタンを押してボタンを消灯させてください。

お　知　ら　せ

オートトラッキングについて

再生を始めると、オートトラッキング機能が働いて、画面がきれいになるように自動的に調節します。
次のようなテープでは、オートトラッキング機能が正常に動かないことがあります。
- 傷がついたテープ
- 録画状態の悪いテープ
- 本機以外で録画したテープ

オート機能について

テープを最後まで再生するとテープの最初まで自動的に巻戻します。(オートリワインド)
テープを巻戻し中に電源を切ると、テープを最初まで巻戻したあと、自動的に電源が切れます。(オートリワインドシャットオフ)

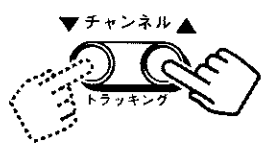
音声について

二重音声番組を再生するときは、音声切換ボタンで聞きたい音声を選ぶことができます (50ページ参照)。

再生のときのノイズについて

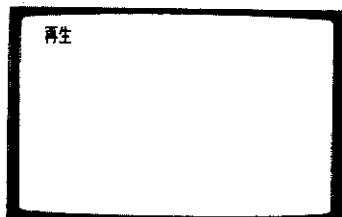
次のようなとき、画面にノイズが出ることがありますが故障ではありません。
- 再生中に3次元ワイドポジションボタンを押して切り換えたとき
- 停止から再生に切り換えたとき
- 静止画/サーチ/スロー再生から再生に切り換えたとき

再生画像にノイズが出るとき(トラッキング調節)

再生中に、ビデオ本体のチャンネル(トラッキング)ボタンを押す

もっとも画像がきれいになるように、チャンネル(トラッキング)ボタンを押して調節してください。
リモコンのチャンネルボタンでも調節できます。

3次元ワイドポジションボタンについて

3次元ワイドポジションボタンを押す

3次元
ワイドポジション

ボタンを点灯させると、ワイドテレビや大画面テレビに対応した高画質をお楽しみいただけます。
3次元ワイドポジションボタンを押してボタンを点灯させると、本機はデジタル処理技術を行い、画面のノイズをおさえ輪郭を強調します。
3次元ワイドポジションボタンを押してボタンを消灯すると機能が解除されます。
テープをダビングするときは、ボタンを消灯させてください。

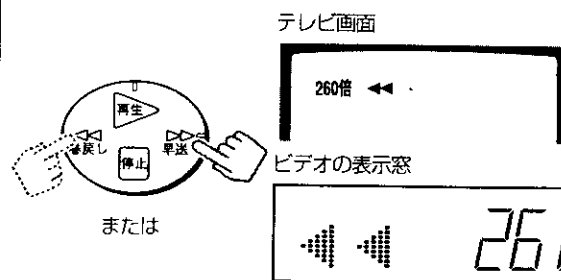
テープを高速(260倍速)で早送りまたは巻戻しする

早送りまたは巻戻しボタンを押したあともう一度早送りまたは巻戻しボタンを押す

テレビ画面

または

ビデオの表示窓

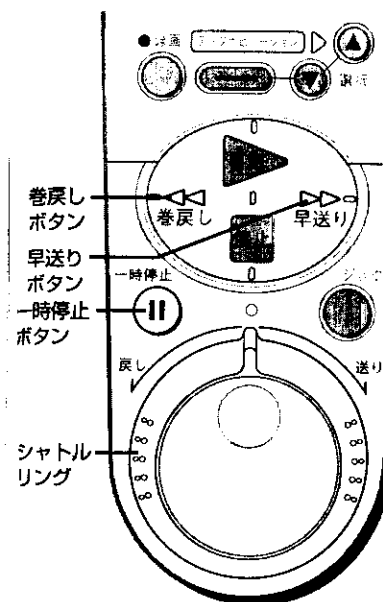
260

高速の早送りまたは巻戻し中に早送りまたは巻戻しボタンを押すと、通常の早送り/巻戻しの速さに戻ります。

いろいろな再生のしかた

テープに録画した場面を止めて見たり、速く見たり、ゆっくり見たりすることができます。
また、テープに記録されている頭出し信号(VISS信号)を使って、見たい番組の頭出しをすることもできます。

重要

- 静止画、サーチ、スロー、CMスキップ中は音声が出ません。
- スロー再生中や静止画再生中にノイズを調節してもノイズが消えないことがあります。
  また、静止画／サーチ／スロー再生の切り換わる部分では、画像に乱れやノイズが出たまま消えないことがありますが、故障ではありません。
- スロー再生中、テープの録画モード(標準／3倍)が切り換わる部分では、画像にノイズや乱れが出ます。

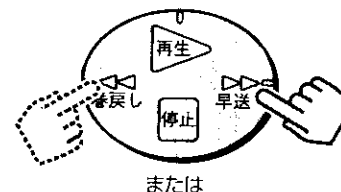
巻戻しボタン
早送りボタン
一時停止ボタン
シャトルリング

ある場面を止めて見る(静止画再生)

再生中に一時停止ボタンを押す

一時停止ボタンまたは再生ボタンを押すと再生に戻ります。
静止画が約1分間つづくと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止します。

画像を見ながら見たい場面を探す(サーチ再生)

再生中に早送り、または巻戻しボタンを押す

または

画像が早送り、巻戻し状態で送られます。
サーチ再生中は、数本のノイズが出ます。
見たい場面が現れたら再生ボタンを押してください。再生に戻ります。

お　知　ら　せ

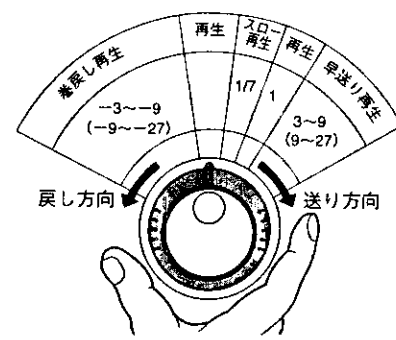
静止画再生の画像が上下に揺れるとき

チャンネル(トラッキング)ボタンを押して、揺れを最小にするよう調節してください。
テレビとの組み合わせによっては、揺れを抑えられないことがあります。

スロー再生中や静止画再生中にノイズが出るときは

シャトルリングでスロー再生にしてから、チャンネル(トラッキング)ボタンでノイズが少なくなるように調節してください。
スロー再生時のノイズを少なくすると静止画再生時のノイズも少なくなります。
T-180以上のビデオテープには薄手のテープが使われています。このため、T-180以上のテープ使用時は次のような動作を繰り返し行わないでください。
- 早送り･巻戻し･スロー再生などの繰り返し
- テープの出し入れの繰り返し

スピードを変えて見る

静止画再生または再生中にシャトルリングを回す

＊ 数字は通常の再生速度を1としたときのテープ速度です。
(　　)内の数字は「3倍」で録画したテープのときの速度です。

回す角度によって、再生速度が変わります。
指を離すと再生に戻ります。
スロー再生が約1分間つづくと、テープとヘッドの保護のため、テープが自動的に停止します。
テープが停止状態のときシャトルリングを回すと通常の早送りまたは巻戻しになります。

いろいろな再生のしかた（つづき）

- ジョグダイアルを使うときは、ジョグボタンを押して、ジョグ表示ランプを点灯させてください。ランプがついていないと、ジョグ操作できません。
- ジョグダイアルを回しながら見ているときや、ジョグダイアルから指を離したとき、画面が乱れたり、ノイズが出たまま消えないことがありますが、故障ではありません。

画像を1コマずつ見る（コマ送り再生）

❶ 再生または静止画再生にする

❷ ジョグボタンを押す

ジョグ表示ランプが点灯します。

❸ ジョグダイアルを回す

手ごたえのある位置まで回すたびに画像が1コマずつ送られます。
ジョグ操作を約1分中断すると、ジョグ表示ランプは自動的に消えます。

CMをとばして見る（再生CMスキップ）

ビデオモード設定で「3 再生CMスキップ」[入]を選ぶ**（52ページ参照）****。**

再生を始めると、テレビに「CMスキップ」が数秒間表示されます。
CMの部分を自動的にスキップ（早送り再生）します。
ビデオモード設定で「3 再生CMスキップ」[切]を選ぶと、CMスキップは解除されます。

お知らせ

再生CMスキップとは
CMスキップは、ステレオ放送とモノラル/二重音声放送の違いを検出し、ステレオ放送部分のみをスキップする機能です。ステレオ放送番組やモノラル/二重音声放送のCMをスキップすることはできません。

スキップする
再生 → スキップ → 再生
番組（モノラル/二重音声） | コマーシャル（ステレオ） | 番組（モノラル/二重音声）

スキップしない
再生 →
番組（ステレオ） | コマーシャル（ステレオ） | 番組（ステレオ）

正しくスキップしない①
再生 → スキップ
番組（モノラル/二重音声） | コマーシャル（ステレオ） | 番組（ステレオ）

正しくスキップしない②
再生 → スキップ
番組（ステレオ） | 番組（ステレオ）

正しくスキップしない③
スキップ
番組（ステレオ）
テープの巻き始め

再生CMスキップのできるテープは、当社製オートCMスキップ機能付きビデオで録画したテープです。

録画した番組の頭出しをする（VISS機能）

❶ 停止状態でVISSボタンを押す

テレビに左の画面が現れます。

❷ ❶の画面が出ている間に早送りまたは巻戻しボタンを押す

または

番組の頭（VISS信号の部分）まで早送り、または巻戻されたあと、自動的に約15秒間再生します。
番組ごとに、早送り（または巻戻し）と15秒間の再生を繰り返します。

❸ 見たい番組が現れたら再生ボタンを押す

再生になります。

お知らせ

VISS*（頭出し）信号について
本機は、録画するたびに、自動的に頭の部分にVISS信号を記録します。
VISS信号は、録画ボタンを押すと記録されますが、録画一時停止から録画に戻したときは記録されません。ただし音声だけ録音するときやチャンネルを変えたときは、記録されます。

次のような場合、VISS信号が検知されず、頭出しができないことがあります。
- 録画時間が10分以内の番組
- VISS信号が記録されている付近で操作したとき
- 本機以外のVISS機能のないビデオで録画したテープ

＊VISSはVHS Index Search System（ブイエッチエス インデックス サーチ システム）の略です。

テレビ番組を録画する

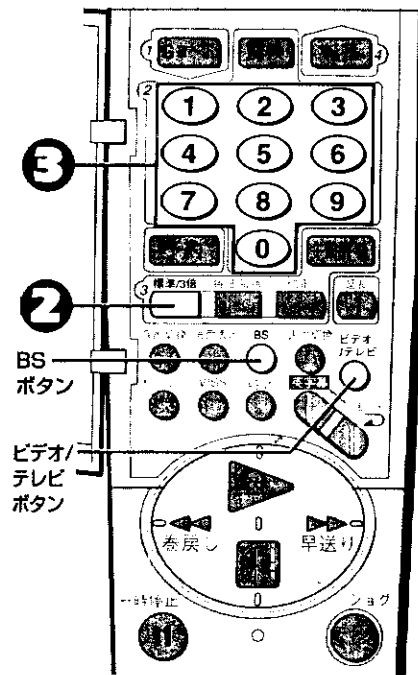
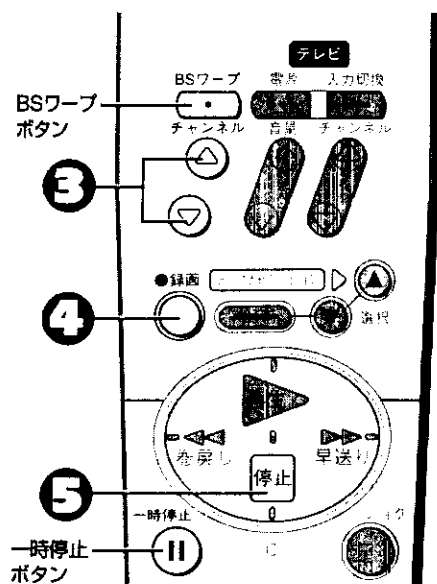
テレビで見ている番組をテープに録画したり、ある番組を録画しながら別の番組を見たりすることができます。

重要 • テープを入れると、ビデオ本体のテープナビゲーションボタンが数秒間点滅します。点滅している間は録画ボタンや他の操作ボタンを押さないでください。

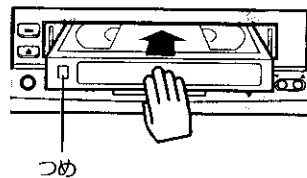
ふたを開けた状態

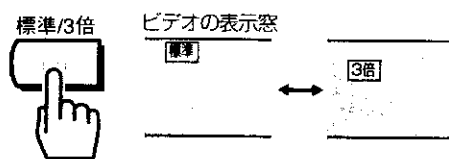
ふたを閉じた状態

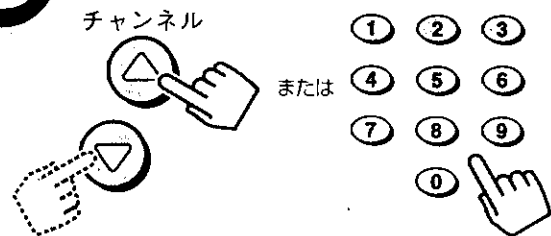
BSワープボタン

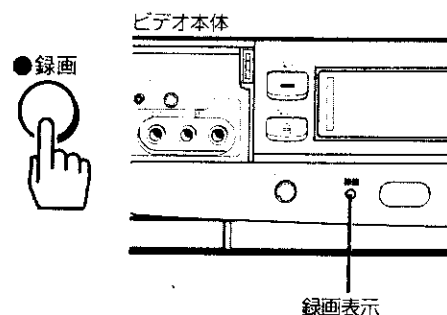
一時停止ボタン

見ている番組を録画する

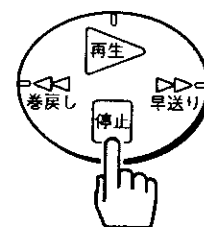
・テレビの電源を入れる
・テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

1 「つめ」の折れていないテープを入れる

自動的に電源が入ります。S-VHS方式で録画するときは、S-VHSのテープを入れたあと、ビデオの表示窓に S-VHS が点灯していることを確認してください。点灯していないときは、52ページの「ビデオの機能を画面で選ぶ(お好みセレクト)の「5 S-VHS」を オート に合わせてください。

2 リモコンのふたを開け、録画モードを選ぶ

ボタンを押すたびにビデオの表示窓が「標準」と「3倍」に切り換わります。画質や音質を重視するときは「標準」がおすすめです。

3 録画したいチャンネルを選ぶ

0~9の数字ボタンでひとけたのチャンネルを選ぶときは、最初に0ボタンを押してください(たとえば6チャンネルは0、6と押します)。
BS放送を選ぶときは、BSワープボタンを先に押したあと、チャンネルボタン(Ⓐまたは▽)を押すと、より早く選局できます。
BS放送を選ぶときは、最初にBSボタンを押してください(たとえばBS7チャンネルはBS、0、7と押します)。

4 録画ボタンを押す

ビデオの録画表示が点灯し、テープを少し巻戻してから録画が始まります。
「つめ」の折れたテープが入っていると、自動的にテープが出てきます。
テレビを見ないときは、テレビの電源を切っても録画されます。

5 録画をやめるときは停止ボタンを押す

録画が終了します。
録画した内容を見るときは、巻戻しボタンを押してテープを巻戻してから、再生ボタンを押してください。

録画の途中で不要な場面を飛ばすには

1 録画中に一時停止ボタンを押す
テープ走行が一時止まります。

2 録画したい場面になったら再び一時停止ボタンを押す
録画が再開します。

録画の途中で別の番組に切り換えるには

1 録画中に一時停止ボタンを押す
テープ走行が一時止まります。

2 チャンネルボタンを押してチャンネルを選ぶ

3 一時停止ボタンをもう一度押す
録画が再開します。

お知らせ

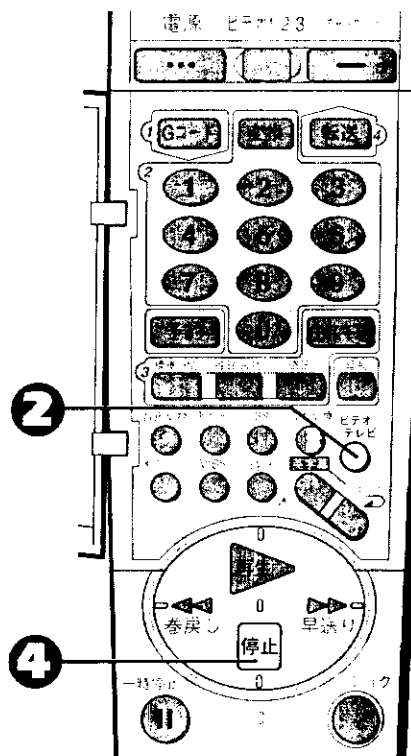
テレビでビデオチャンネル1または2を選んでいるとき
録画したいチャンネルがテレビに現れないときは、ビデオ/テレビ切換ボタンを押してビデオの表示窓に「ビデオ」を表示させてください。

オート機能について
テープの最後まで録画すると、自動的に巻戻されます(オートリワインド)。
録画一時停止を約5分間続けると、テープとヘッド保護のため、自動的に停止します。

音声について
ステレオ放送はステレオで、二重音声放送は主音声(日本語)と副音声(英語など)が自動的に録音されます。
録画中は、録音される音声には影響なく、音声切換ボタンで聞きたい音声を選ぶことができます(50ページ参照)。

オートカット機能について
CMをカットしながら番組を録画することができます(55ページ参照)。

テレビ番組を録画する(つづき)

録画しながら別の番組を見ることができます。

お知らせ

テレビのチャンネルボタンでチャンネルを選ぶとき
表示窓の「ビデオ」表示を消してください。こうすると、ビデオの電源を入れたまま、テレビのチャンネルボタンでチャンネルを選ぶことができます。

録画しながら別の番組(BS放送以外)を見る

❶ 録画を始める

32、33ページの❶～❹の操作をして録画を始めてください。

❷ ビデオ/テレビ切換ボタンを押してビデオの表示窓から「ビデオ」表示を消す

本体のチャンネル切換ボタンを押して「RF-OFF」を選んだときは、この操作が不要です(83ページ参照)。

❸ テレビの入力切換を「テレビ」にして、見たいチャンネルを選ぶ

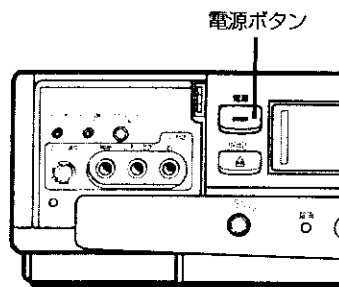
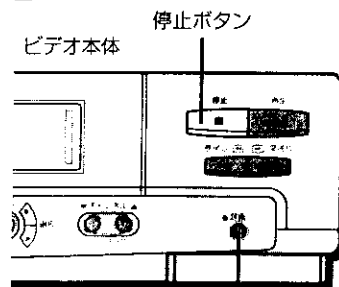
テレビで選んだ番組が画面に現れます。ビデオで録画している番組は、そのまま録画されます。

❹ 録画をやめるときは停止ボタンを押す

録画が終了します。
録画した内容を見るには、巻戻しボタンを押してテープを巻戻し、テレビの入力切換を「ビデオ」(またはビデオチャンネル1または2)にしてから再生ボタンを押してください。

重要
- ビデオの時計を合わせておかないと、録画時間を選べません。時計の合わせかたは、90ページをご覧ください。
- リモコンの録画ボタンでは操作できません。ビデオの録画ボタンで操作してください。

お知らせ

- クイックタイマー録画中は、ビデオの表示窓に録画の残り時間が表示されます。
- クイックタイマー録画中にビデオの録画ボタンを押すと、録画時間を変更することができます。

選んだ時間だけ録画する(クイックタイマー録画)

❶ 録画を始める

32、33ページの❶～❹の操作をして録画を始めてください。

❷ ビデオ本体の録画ボタンを押して、録画したい時間を合わせる

ボタンを押すたびに、表示窓の録画時間が変わります。
ビデオの録画表示と⊙(タイマー録画表示)が点灯します。
合わせた時間だけ録画したあと、電源が切れます。

途中で録画をやめるには

次の2つの方法があります。

■ 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押す

リモコンの電源ボタンと停止ボタンでも操作できます。

■ ビデオの録画ボタンを繰り返し押して、表示窓の録画時間をテープの経過時間表示(通常の録画)に戻したあと、停止ボタンを押す

タイマー録画予約の前に

タイマー録画予約をしておくと、指定した時刻に自動的に録画が始まり、自動的に終了します。
8番組まで予約することができます。毎日のドラマや、毎週1回の映画も予約することができます。

本機でできるタイマー録画予約の方法

次の2通りの方法で予約できます。

■ Gコード予約する。⇒37ページ

新聞や雑誌などのテレビ欄に掲載されているGコード(番組予約番号)をリモコンに入力するだけで、簡単に予約ができます。

■ リモコン予約する。⇒42ページ

開始時刻や終了時刻、チャンネル、日付をリモコン表示窓で合わせて予約する方法です。Gコードがわからない場合などにご利用ください。

■Gコードシステムについて

- このビデオは、現在掲載されているGコードおよび将来このコードを応用したサービス(Gコード・インフォ)にも対応しています。
- Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

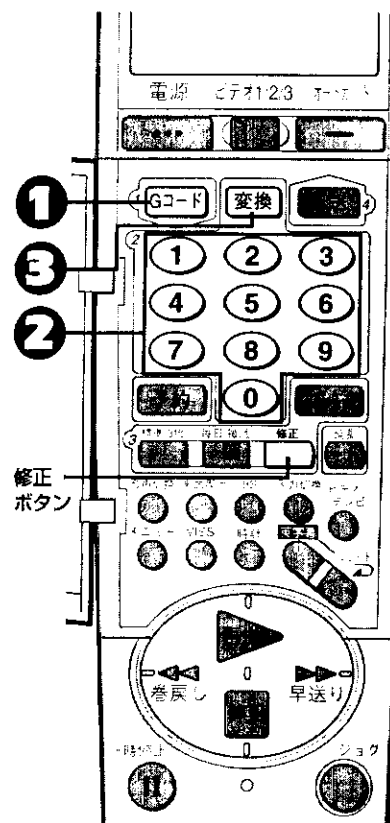
Gコードの掲載例

お知らせ

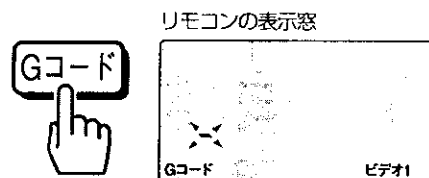
付属のリモコンは当社製ビデオ専用です。当社製以外のGコード対応の機器には使えません。

Gコード予約する

現在より1カ月先までの番組を予約することができます。

重要
- ビデオとリモコンの時計が正しく合っていないと正しく録画されません。予約の前に時計が正しく合っているか確認してください。
- 操作を約1分中断すると時計表示に戻ります。もう一度Gコードボタンを押してやり直してください。

Gコード予約する

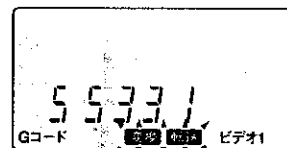
ビデオで ・「つめ」の折れていないテープを入れる

1 Gコードボタンを押す

表示窓で「－」が点滅します。

2 Gコードを入力する

例えば、Gコード「55331」を入力します

⑤⑤③③①

入力する数字を間違えたときは、修正ボタンを繰り返し押して、間違えたところまで数字を消して、入力し直してください。

3 変換ボタンを押す

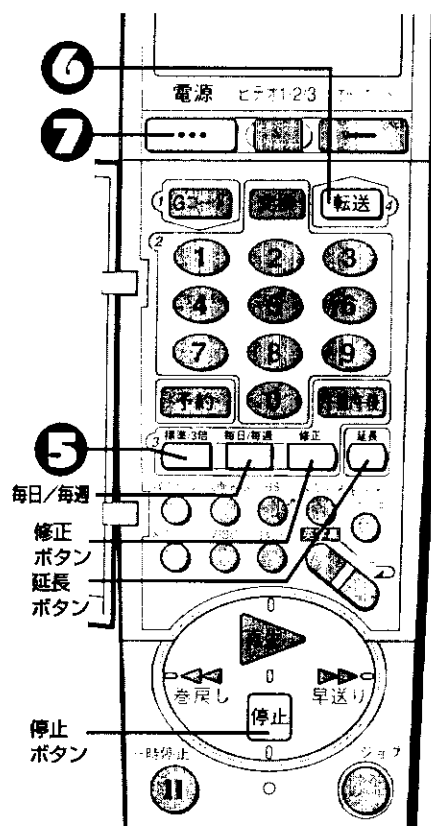
予約内容が表示されます。
「Error」が表示されたら、テレビ欄などのGコードをもう一度確認して、やり直してください。

お知らせ

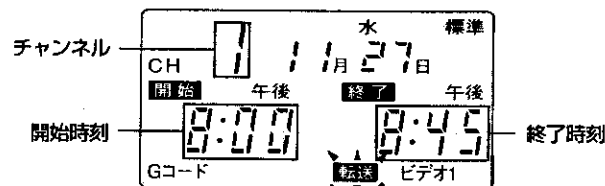
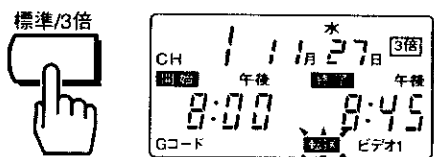
途中でGコード予約をやめるとき
Gコードボタンを押してください。

予約内容について
- 番組により、録画時間が実際より長め、または短かめに設定されることがあります。
- 放送が終了した番組のGコードを入力すると、まったく違った予約内容か、または「Error」が表示されます。

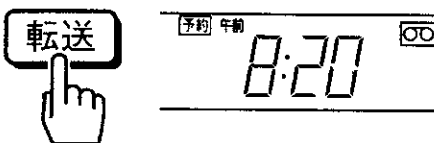
Gコード予約する (つづき)

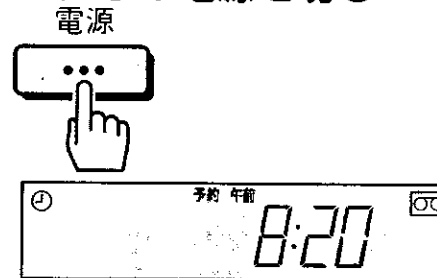
重要 タイマー録画の開始時刻になってもビデオの電源が入っていると、タイマー録画されません。ご注意ください。

❹ 表示窓の予約内容を確認する

次のようなときは39～41ページを参照し、予約内容を修正してから予約を終了してください。

録画したいチャンネル、開始時間、終了時刻が違っているとき⇒40ページ
終了時刻を延長したいとき⇒39ページ
毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画したいとき⇒39ページ

❺ 録画モードを合わせる

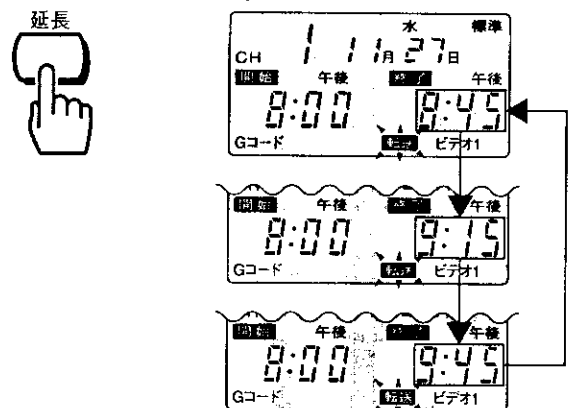
- ボタンを押すたびに「標準」、「3倍」、「オート」、「表示なし」に切り換わります。「オート」にすると、テープの残量に応じて録画モードが切り換わります(詳しくは46ページ「録画モードをオートに合わせたとき」)。「表示なし」にすると、ビデオ本体に表示された録画モードで録画されます。

❻ 転送ボタンを押す

- 「ピッ」と音がして、ビデオの表示窓に「予約」が点灯します。
- 続けて別の番組を予約するときは、❶～❻を繰り返してください。

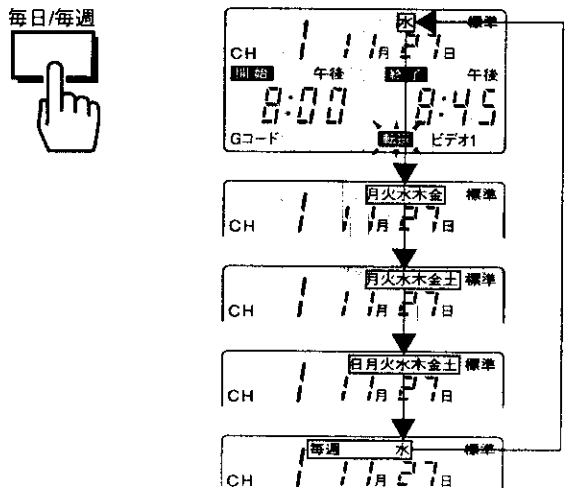
❼ ビデオの電源を切る

- ビデオの表示窓に「⊕」が現れます。
- テープが入っていないと⊕(タイマー録画表示)が点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

終了時刻を延長するには

37ページの手順❸のあとで、延長ボタンを押して希望の終了時刻を選ぶ

- ボタンを押すごとに、終了時刻が30分、60分と延長されます。
- 希望の終了時刻を選んだら、38ページの手順❺へ進んでください。

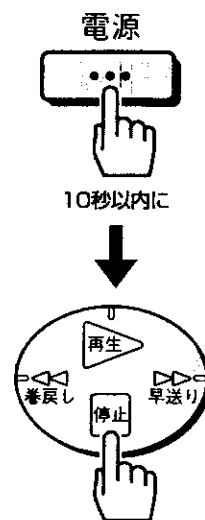
毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画するには

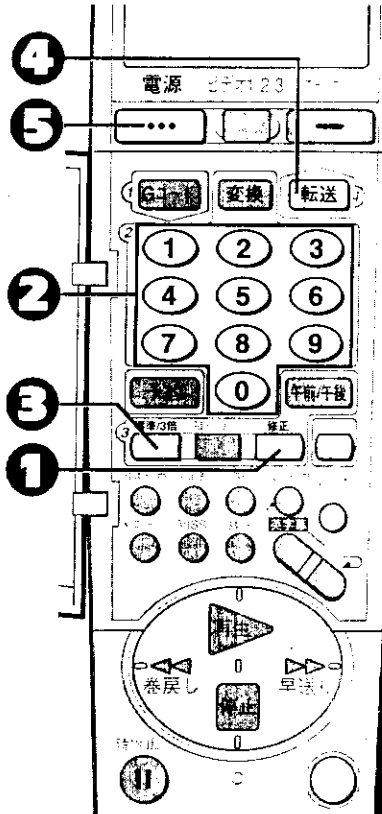
37ページの手順❸のあとで、毎日／毎週ボタンを押して希望の曜日を選ぶ

ボタンを押すごとに左のように切り換わります。
希望の曜日を選んだら、38ページの手順❺へ進んでください。
この例の表示の見かた
水…この日だけの1回録画
月～金…月曜日から金曜日
月～土　月曜日から土曜日
日～土　日曜日から土曜日まで毎日同じ時間に録画
毎週水…毎週同じ曜日のこの時間に録画

お知らせ

タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき
- ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。使い終わったあとはビデオの電源を切ってください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき
- ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。「つめ」の折れていないテープを入れてからもう一度電源を切ってください。

タイマー録画を途中でやめるとき
- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。

オートカット機能について
- CMをカットして番組を録画することができます(57ページ参照)。

Gコード予約する（つづき）

チャンネル、開始時刻、終了時刻を修正する

開始・終了時刻は合っているのにチャンネルが違っていることがあります。これは、各地のテレビ局の番組編成によるものです（たとえば26チャンネルの番組をGコード予約したら、1チャンネルが表示されたなど）。また、一部の地域では、異なる放送局の番組に同じGコードが掲載されている場合があります（たとえば、静岡県の一部の地域で、テレビ静岡と中京テレビの番組が同じGコードで掲載されることがあります）。

たとえば　38ページの手順❹で、26チャンネルを予約したいのに1チャンネルが表示されたとき（1チャンネルから26チャンネルに修正したい）

❶ 修正ボタンを繰り返し押して、修正する部分を点滅させる

- この例では、チャンネルの10桁の0を点滅させます。
- 開始時刻や終了時刻を修正したいときも、同様に修正する部分を点滅させます。

❷ 0～9ボタンを押してチャンネルを修正する

- この例では、2、6を押して、チャンネルを26に修正します。
- 修正したチャンネルはリモコンに記憶されます。予約のたびに同じチャンネルを合わせ直す必要はありません。

❸ 録画モードを合わせる

ボタンを押すたびに「標準」、「3倍」、「オート」、「表示なし」に切り換わります。「オート」にすると、テープの残量に応じて録画モードが切り換わります（詳しくは46ページ「録画モードをオートに合わせたとき」）。
「表示なし」にすると、ビデオ本体に表示された録画モードで録画されます。

お知らせ

「0」で始まるGコード（Gコード・インフォ）の場合、修正できる内容はチャンネルと録画モードだけです。

外部機器からタイマー録画するとき
❷でチャンルを選ぶ代わりに、入力切換ボタンを押して、リモコンの表示窓に「L1」または「L2」を表示させてください。

❹ 転送ボタンを押す

「ピッ」と音がしてビデオの表示窓に「予約」が点灯します。
続けて別の番組を予約するときは、37、38ページの❶～❻を繰り返してください。

❺ ビデオの電源を切る

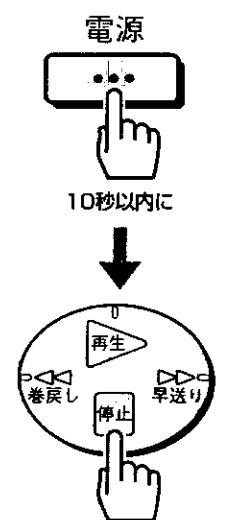
ビデオの表示窓に「⊘」が現れます。
テープが入っていないと⊘（タイマー録画表示）が点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

お知らせ

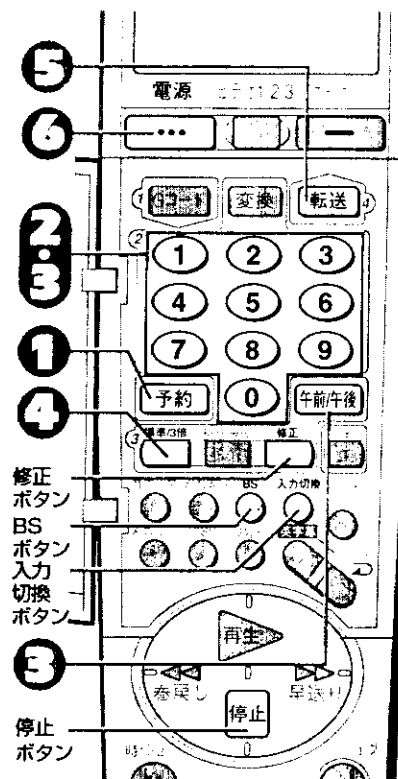
タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき
ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。使い終わったあとはビデオの電源を切ってください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき
ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。「つめ」の折れていないテープを入れてからもう一度電源を切ってください。

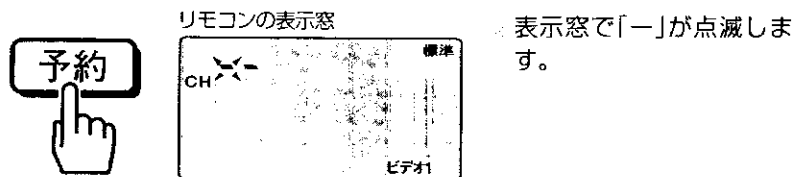
タイマー録画を途中でやめるとき
電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。

オートカット機能について
CMをカットして番組を録画することができます（57ページ参照）。

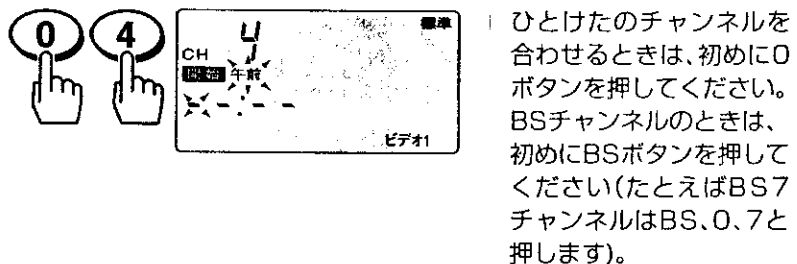
リモコン予約する

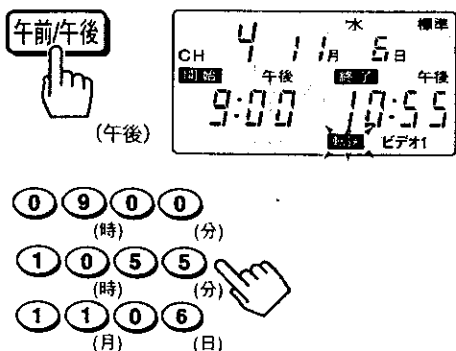
録画したいチャンネル、開始・終了時刻、開始日などをリモコンで指定して予約します。
毎日のドラマや毎週1回の映画も予約することができます。
現在より1年先までの番組を予約することができます。

重要
- ビデオとリモコンの時計が正しく合っていないと正しく録画されません。
  予約の前に時計が正しく合っているか確認してください。
- 操作を約1分中断すると時計表示に戻ります。予約ボタンを押してやり直してください。

たとえば　4チャンネルを、午後9時00分から午後10時55分まで、11月6日に3倍モードで録画するとき(1回録画)

ビデオで　・「つめ」の折れていないテープを入れる

1 予約ボタンを押す

表示窓で「－」が点滅します。

2 録画したいチャンネルを合わせる

ひとけたのチャンネルを合わせるときは、初めに0ボタンを押してください。BSチャンネルのときは、初めにBSボタンを押してください(たとえばBS7チャンネルはBS、0、7と押します)。

3 開始時刻、終了時刻、日にちの順に合わせる

先に開始時刻の午前か午後を選びます。終了時刻の午前／午後は自動的に表示されます。
昼の12時は「午後00：00」、夜の12時は「午前00:00」に合わせてください。
日にちを合わせると曜日は自動的に表示されます。

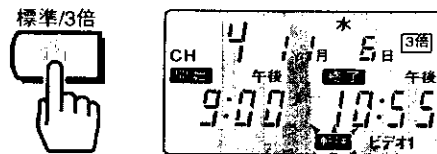
お知らせ

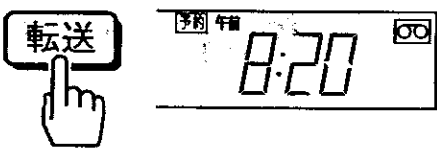
予約している途中で修正するとき
- 修正ボタンを繰り返し押して、修正したいところまで点滅を戻して行ってください。

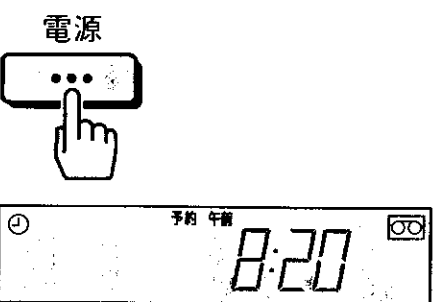
途中で予約をやめるとき
予約ボタンを押してください。

外部機器からタイマー録画するとき
でチャンネルを選ぶ代わりに、入力切換ボタンを押してリモコンの表示窓に「L1」または「L2」を表示させてください。

重要　タイマー録画の開始時刻になってもビデオの電源が入っていると、タイマー録画されません。ご注意ください。

4 録画モードを合わせる

ボタンを押すたびに「標準」、「3倍」、「オート」、「表示なし」が切り換わります。
「オート」にすると、テープの残量に応じて録画モードが自動的に切り換わります(詳しくは46ページ「録画モードを「オート」に合わせたとき」)。
「表示なし」にするとビデオ本体に表示された録画モードで録画されます。

5 リモコンをビデオに向けて転送ボタンを押す

「ピッ」と音がしてビデオの表示窓に「予約」が点灯します。
続けて別の番組を予約するときは、1～5を繰り返してください。

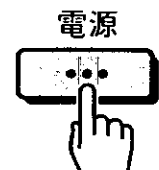
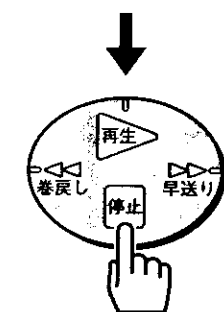
6 ビデオの電源を切る

ビデオの表示窓に「⊘」が現れます。
テープが入っていないと⊘(タイマー録画表示)が点滅してお知らせします。

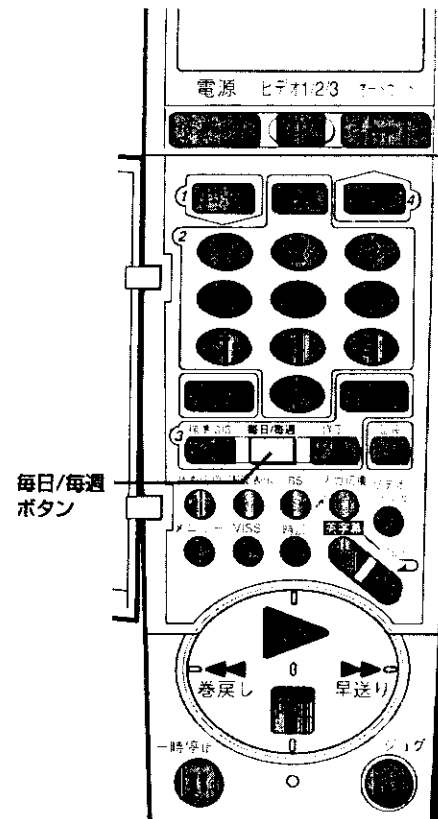
開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

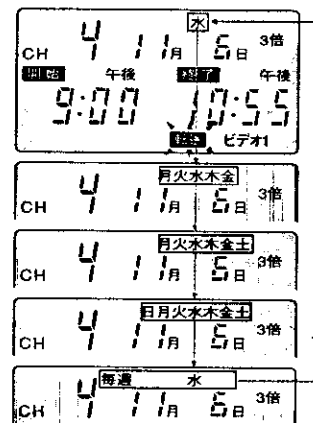
お知らせ

タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき
ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。使い終わったあとはビデオの電源を切ってください。

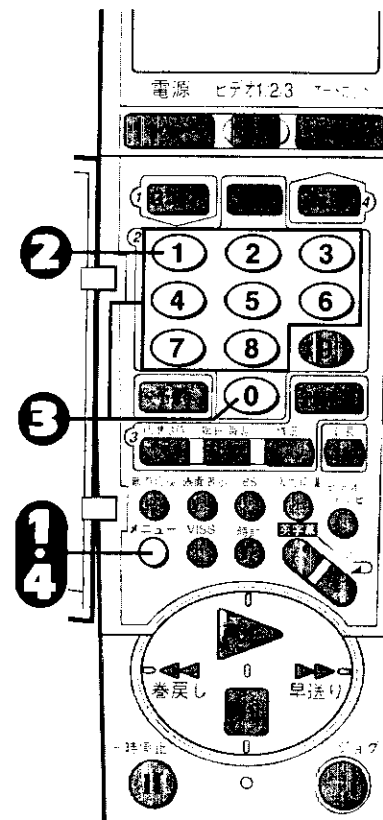
「つめ」の折れたテープを入れたとき
ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。「つめ」の折れていないテープを入れてからもう一度電源を切ってください。

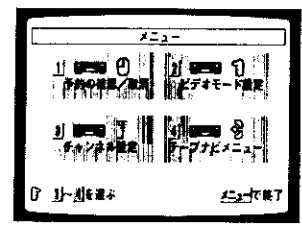
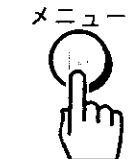
タイマー録画を途中でやめるとき
電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。

オートカット機能について
CMをカットして番組を録画することができます(57ページ参照)。

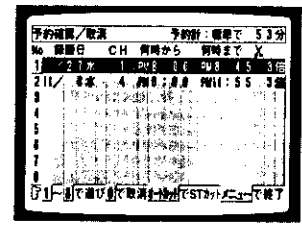
リモコン予約する（つづき）

毎日・または毎週同じ時刻の番組を録画するには

42ページの手順 ❸ のあとで、毎日/毎週ボタンを押して希望の曜日を選ぶ

ボタンを押すごとに左のように切り換わります。
この例の表示の見かた
水 ……この日だけの1回録画
月～金…月曜日から金曜日
月～土　月曜日から土曜日
日～土　日曜日から土曜日まで毎日同じ時間に録画
毎週水…毎週同じ曜日のこの時間に録画

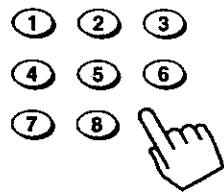
予約の確認・取り消しをする

Gコード予約した内容も、リモコン予約した内容も次の方法で確認と取り消しができます。

テレビで
・テレビの電源を入れる
・テレビの入力切換を「ビデオ」にする（または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ）

ビデオで
・ビデオの電源を入れる

❶ メニューボタンを押す

メニュー画面が現れます。

❷ 1ボタンを押す

予約内容が一覧表示されます。
予約の合計時間は、3倍予約のときでも標準にかえて表示されます。

❸ 予約を取り消したいときは、取り消したい内容の番号（1～8ボタン）を押してから0ボタンを押す

予約内容が消えます。

❹ 確認・取り消しが終わったら、メニューボタンを押す

元の画面に戻ります。

お知らせ

メニュー画面や予約内容の画面は約1分間たつと、自動的に元の画面に戻ります。
予約の合計時間は、標準で210分まで表示されます。211分以上は−−表示になります。

タイマー予約・録画のご注意

Gコード予約とリモコン予約に共通の内容です。

■ 予約を転送したとき、「ピー」と音がしてビデオの表示窓に「Err」や「FULL」が出たとき

「Err」：
- ビデオの時計が「－－：－－」になっています。時計を合わせてから予約してください。
- ビデオで設定していないチャンネルを予約しています。チャンネルを確認してください。
- リモコンをビデオに向けないで転送しています。ビデオに向けて転送してください。
- タイマー録画中は予約の転送はできません。

「FULL」：すでに8つの番組が予約されていますので、予約はできません。不要な予約を取り消してください(45ページ参照)。

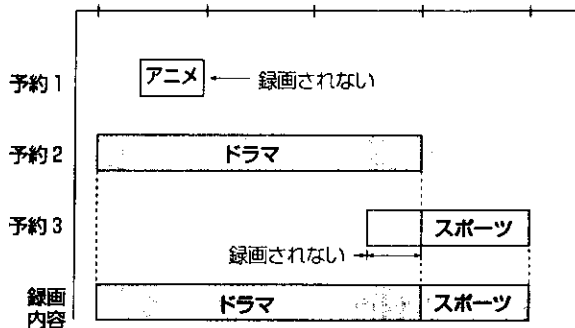
■ タイマー録画中のボタン操作

一時停止や、録画モードの変更などのボタン操作はできません。

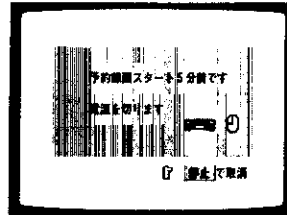
■ 60分以上の停電があったとき

ビデオの表示窓が「－－：－－」に変わり、時計と予約内容が消えてしまいます。もう一度時計合わせと予約をやり直してください(時計合わせは90ページ、予約は37～44ページ参照)。

■ 予約内容が重なったとき

先に始まった番組が最後まで録画されたあと、次の番組が途中から録画されます。

■ タイマー録画中にテープがなくなったとき

自動的にビデオの電源が切れ、テープがビデオから出てきます。

■ タイマー録画予約後、電源を切り忘れたとき

電源が「入」になっていると、タイマー録画開始5分前にテレビ画面に上の警告表示が現れ、ビデオの電源が自動的に切れます。

■ 当社製の他のビデオのリモコンを使うとき

時計表示窓付きリモコンは、リモコンの予約内容をそのまま本機に転送することができます。

■ 録画モードを「オート」に合わせたとき

テープの残り時間に応じて自動的に録画モードが切り換わります。

- 「標準」で録画を始めて、途中でテープがなくなりそうになると録画モードを自動的に「3倍」に切り換えます。
- 最初から「3倍」で録画を始めても、録画時間が足りないときは、最後まで録画されません。
- 録画モードの切り換わった部分を再生すると、画像が乱れます。
- 2つ以上の番組を「オート」でタイマー録画予約すると、テープの残り時間と番組の録画時間によっては、2つ目以降の番組が録画されないことがあります。
  たとえば、T－120のテープの巻始めから、1つ目の2時間番組を「オート」でタイマー録画予約すると「標準」で2時間(最後の約5分は「3倍」)録画されます。このため、2つ目以降の番組は録画されません。

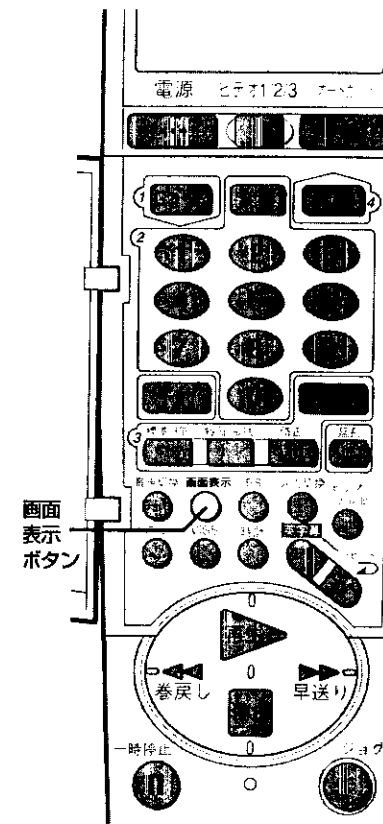
■ BS放送をタイマー録画するとき

BS放送のTV(テレビ)／独立音声の切り換えは、必ずタイマー録画が始まる前に番組に合わせて切り換えておいてください(51ページ参照)。

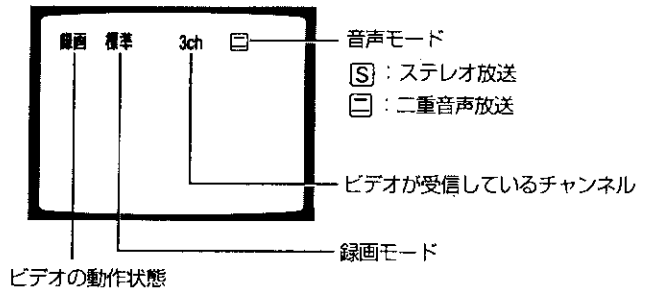
■ ケーブルテレビのBS番組をGコード予約するとき

リモコンの表示窓に「BS」表示が自動的に現れます。このときは、修正ボタンを押してチャンネルの10の位を点滅させたあと、BSボタンを押し「BS」表示を消してからケーブルチャンネルに合わせてください。

画面表示を見る

テレビ画面にビデオの動作状態や、チャンネル、時計、テープの走行経過時間などを表示することができます。

画面表示ボタン

テレビ画面表示

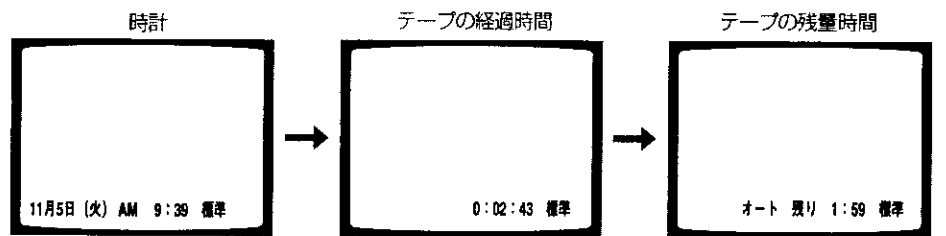
ビデオを操作するたびに、下の表示が自動的に約8秒間出ます。

時計、経過時間、テープの残量時間を切り換える

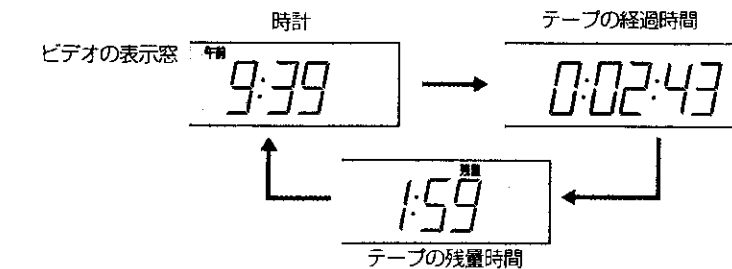
画面表示ボタンを押す

画面表示

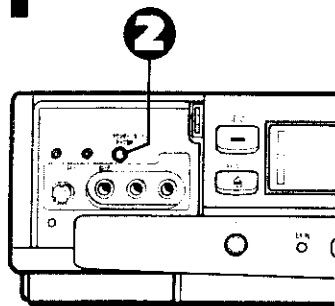
画面表示が出ている間にボタンを押すと、ビデオの表示窓も同時に切り換わります。

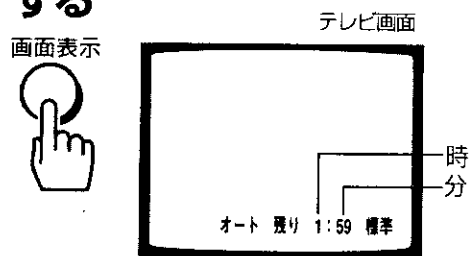
時計　テープの経過時間　テープの残量時間

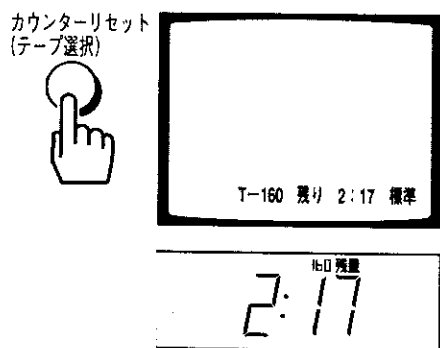
11月5日 (火) AM 9:39 標準　0:02:43 標準　オート 残り 1:59 標準

お知らせ

画面表示について
- 画面に表示された文字は録画されません。
- 時計が表示されているとき、再生／録画／早送り／巻戻しを行うと自動的に経過時間に切り換わります。
- 時計または残量表示に切り換えるときは画面表示ボタンを押してください。

残量時間／経過時間を表示する

テープの走行中、テープの残量を「時・分」で表示できます。
また、走行の経過時間を「時・分・秒」で表示することもできます。

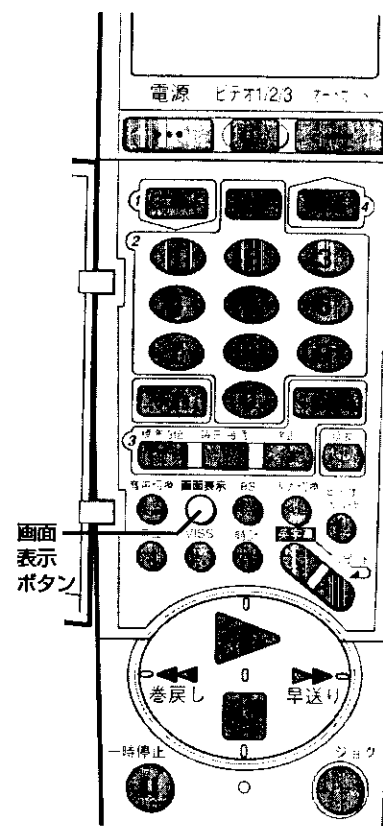
重要 テープの残量時間は、録画や再生を始めて約1分後に表示されます。
テープが動き始めてしばらくは、「−−：−−」の表示が出ます。

テープの残量時間を表示する

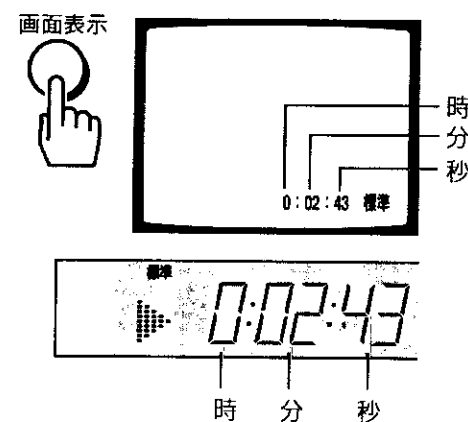
❶ 画面表示ボタンを押して、残量時間を表示する

● テープを入れたばかりのときは、「−−：−−」が表示されます。
再生または録画を始めると、約1分後に残量時間が表示されます。

❷ カウンターリセット(テープ選択)ボタンを押して、テープの長さを切り換える

テープの長さ	表示
T-120以下	オート
T-140,T-160	T-160
T-180	T-180
T-210	T-210

テープの長さに合わせて表示を選んでください。これで正しい残量時間が表示されます。

お知らせ

テープの残量時間について
何も録画していないテープやT-30/60/90/120/140/160/180/210以外のテープでは、残量時間が正しく表示されません。
早送り／巻戻しでは正しく表示できません。

経過時間を表示する

画面表示ボタンを押して、テープの走行経過時間を表示する

● 経過時間がテレビ画面とビデオの表示窓の両方に表示されます。

お知らせ

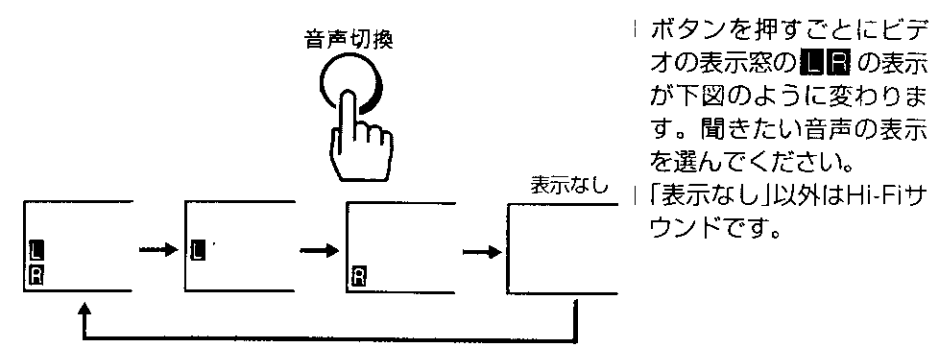
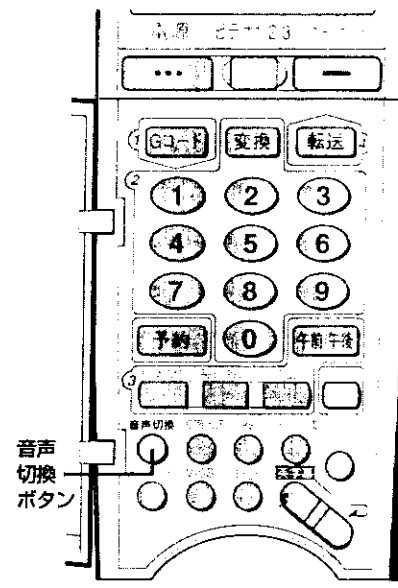
経過時間表示について
- テープを取り出すと、経過時間は自動的に「0:00:00」にリセットされます。
- 経過時間はテープに何も録画されていない部分では動作しません。
- 録画または再生中に、見たい場面でカウンターリセット(テープ選択)ボタンを押すと、経過時間が「0：00：00」になります。
  録画や再生が終わってから見たい場面を探すとき便利です。

音声を選ぶ

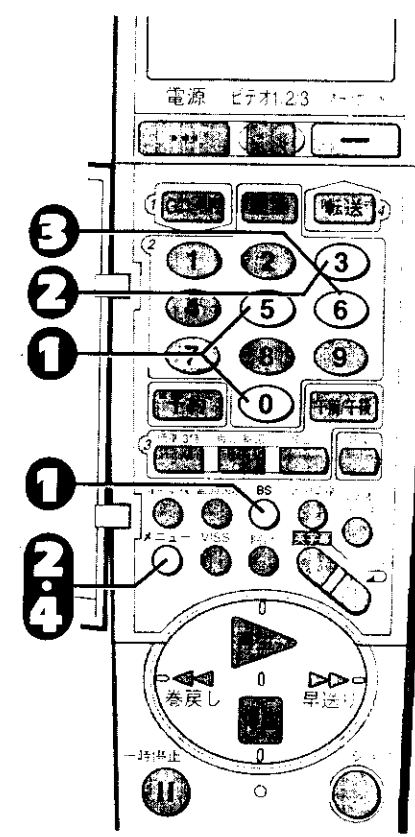
番組を見ているときやテープを再生しているとき、お好みに合わせて聞きたい音声を選ぶことができます。
一度音声を選ぶと、次に選び直すまでは前に選んだ音声が自動的に聞こえます。(再生オート)
再生オートは、日立製再生オート機能付きビデオで録画したテープで働きます。
また、BS5チャンネルで番組とは別に放送されている独立音声を聞くことができます。

二重音声・ステレオ音声を選ぶ

再生中やテレビ番組を見ているとき、音声切換ボタンを押す

ボタンを押すごとにビデオの表示窓のLRの表示が下図のように変わります。聞きたい音声の表示を選んでください。
「表示なし」以外はHi-Fiサウンドです。

聞きたい音声		表示
ステレオ番組	二重音声番組	
ステレオ	主音声と副音声	LR
左の音声(Lチャンネル)	主音声だけ	L
右の音声(Rチャンネル)	副音声だけ	R
モノラル(ノーマルサウンド)	主音声だけ(ノーマルサウンド)	なし

お知らせ

録画中の音声切換
録画中に音声切換ボタンを押してもステレオ放送はステレオ、二重音声放送は主音声と副音声が録音されます。

映像・音声入力端子のないテレビと接続しているとき
L または R を選んでください。LR を表示させると左右の音声が混じって聞こえます。

お知らせ

BSの音声について
BSの音声にはAモードとBモードがあります。Aモードはテレビ音声と独立音声が一緒に送られてきます。Bモードはテレビ音声のみが送られてきます。AモードとBモードは、自動的に切り換わります。

独立音声について
平成8年7月現在、独立音声放送が行われているのは、BS5チャンネルのSt.GIGA(セントギガ)放送だけです。
St. GIGAを聞くには受信契約が必要です。

衛星放送の独立音声を選ぶ

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

- ビデオの電源を入れる

1 BS5チャンネルを選ぶ

2 メニュー画面を出し「3 チャンネル設定」を選ぶ

3 6ボタンを押して「6 TV/独立」で 独立 を選ぶ

BS5チャンネルを選ぶと、テレビ画面に「独立」と表示され、独立音声に切り換わります。
ザーッという音しか聞こえないときはスクランブルがかかっています。
スクランブルを解除するにはデコーダが必要です(96ページ)。
Bモードのときは、テレビ画面に「Bモード」と表示されます。

4 設定が終わったらメニューボタンを押す

元の画面に戻ります。

ビデオの機能を画面で選ぶ(お好みセレクト)

ビデオの動作や機能をお好みに合わせて選ぶことができます。

・テレビの電源を入れる
・テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

・ビデオの電源を入れる

❶ メニューボタンを押す

メニュー画面が現れます。

❷ 2ボタンを押す

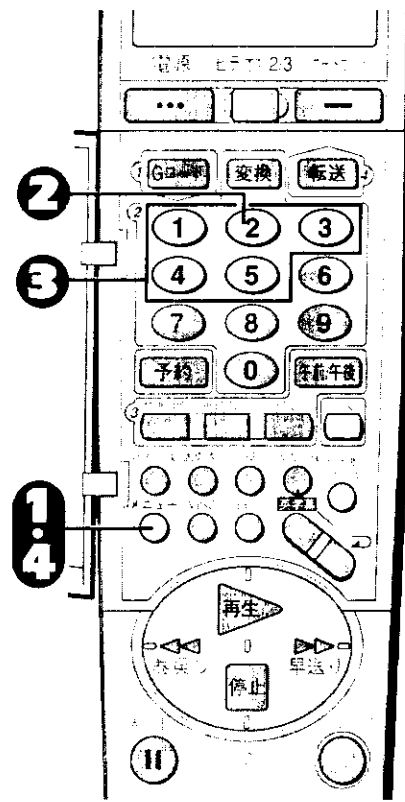
お好みセレクト(ビデオモード設定)の画面が現れます。

各項目の説明は、次ページをご覧ください。

❸ 合わせたい項目の番号(1～6ボタン)を押して、設定を変える

たとえば「3 再生CMスキップ」の設定を変えたいときは

文字が白く出ている表示が現在の設定を示しています。ボタンを押すたびに設定が変わります。

❹ 設定が終わったらメニューボタンを押す

元の画面に戻ります。

お知らせ

メニュー画面やお好みセレクトの画面は約1分たつと、自動的に元の画面に戻ります。

工場出荷時は の画面に合わせてあります。

「ビデオモード設定」画面の説明

1 オート時計設定 オート または 切

オート	本機の時刻が現在時刻とずれているときは、NHK教育テレビまたはNHK総合テレビの時報に合わせて1日1または2回(午前7時、午後0時)自動的に時刻を修正します(ジャストクロック)。
切	ジャストクロック機能は働きません。 詳しくは、91ページ「ジャストクロックについて」をご覧ください。

2 OSD表示 オート または 切

オート	ビデオを操作するたびに動作表示などがテレビ画面に現れます。 詳しくは47ページ「画面表示を見る」をご覧ください。
切	ビデオを操作しても、テレビ画面に表示が出ません。ただし、画面表示ボタンを押したとき、またはオートカット機能をお使いのときは、表示がでます。

3 再生CMスキップ 入 または 切

入	録画したテープを再生すると、CMの部分を自動的にスキップ(早送り再生)します。 テレビ画面に「CMスキップ」と数秒間表示されます。
切	再生CMスキップ機能は働きません。

4 エンドレス再生 入 または 切

入	テープを最後まで再生すると、自動的にテープを最初まで巻戻してから再生します。この動作を繰り返し行います(エンドレス再生)。テレビ画面に「エンドレス再生」と表示されます。
切	エンドレス再生機能は働きません。

5 S-VHS オート または 切

オート	S-VHSのテープを入れると、S-VHS方式で記録し、VHSのテープを入れるとVHS方式で記録します。 通常は オート に合わせます。
切	入れたテープの種類に関係なくVHS方式で記録します。 詳しくは、26ページ「S-VHSについて」をご覧ください。

6 S2 オート または 切

オート	本機で受信したチャンネルや再生するテープに、ワイドクリアビジョン放送の識別信号があるかどうか自動判別し、テレビへ出力します。
切	ワイドクリアビジョン放送の識別信号をテレビへ出力しません。お持ちのテレビが、S2映像入力端子付きテレビでない場合は 切 にしてください。

CMをカットしながら録画する(オートカット機能)

テレビ放送の音声には、二重音声放送・モノラル放送・ステレオ放送があります。
この音声の違いを利用して、二重音声放送とモノラル放送を録画し、ステレオ放送を自動的にカットすることをオートカット機能といいます。
CMはほとんどの場合ステレオ放送なので、CMを自動的にカットしながら録画することができます。

重要
- 番組がステレオ放送のときは、番組もCMもカットされ、何も録画することができません。ステレオ放送の番組はオートカット機能を使わないでください。

重要
- オートカット機能を使って録画しているときは、一時停止ボタンを押しても録画一時停止にすることはできません。録画するチャンネルを切り換えるときは、停止ボタンを押してから別のチャンネルに切り換えてください。
停止ボタンを押すとオートカット機能は解除されます。

番組の音声を知る方法

番組の音声は、新聞などでご確認ください。

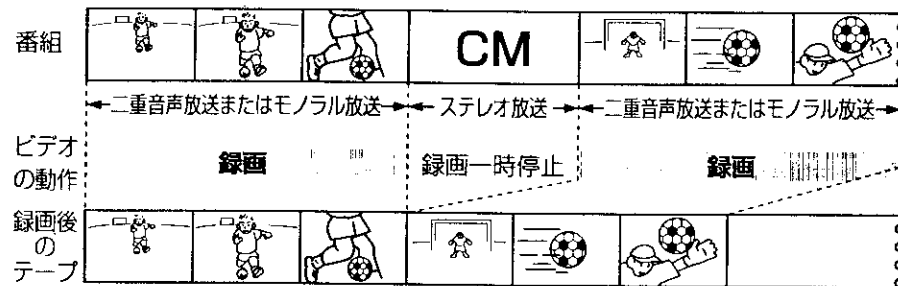
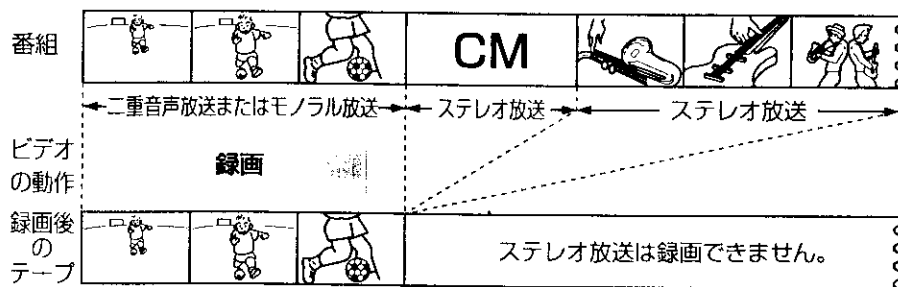
[番組表の例]

※表示がない番組はモノラル放送です。

■ オートカット機能で正しく録画される例

■ オートカット機能で正しく録画できない例

お知らせ

番組表の例は、説明のためのもので実際のものとは異ります。
外部入力(L1、L2)で見ている番組およびBSチャンネルは、オートカット機能が働きません。

■ オートカット機能についてのご注意

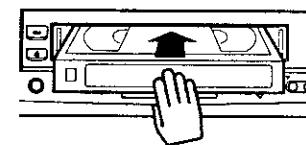
CMがステレオ放送ではないとき、CMはカットされず録画されます。
電波の弱い地域では、オートカット機能が正しく働かないことがあります。
NHK総合テレビ、NHK教育テレビを録画するときはオートカット機能を使わないでください。(オートカット機能を使うと録画されない番組があります。)
文字多重放送(多と表示されています)は、番組が二重音声放送やモノラル放送のときは録画されますが、ステレオ放送のときは録画できません。
「オートカット機能を使ったら、録画できなかった」などの誤りを防ぐために、録画する番組の音声(放送)を確認してからオートカット機能を使うことをおすすめします。
番組表によっては、ステレオ放送の番組でも S (ステレオ放送)の表示がないことがあります。ご注意ください。

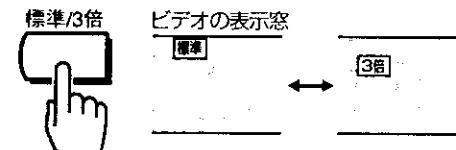
ふたを開けた状態

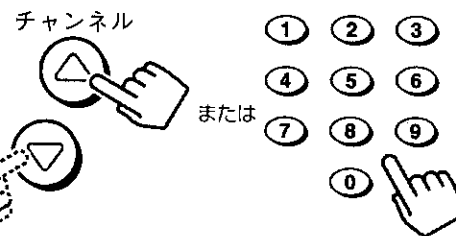
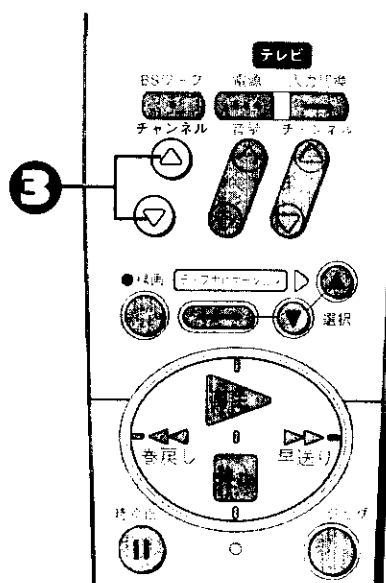
ふたを閉じた状態

見ている番組をCMをカットしながら録画する

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

1 「つめ」の折れていないテープを入れる

自動的に電源が入ります。

2 リモコンのふたを開け、録画モードを選ぶ

ボタンを押すたびにビデオの表示窓が「標準」と「3倍」に切り換わります。
画質や音質を重視するときは「標準」がおすすめです。

3 録画したいチャンネルを選ぶ

0～9の数字ボタンでひとけたのチャンネルを選ぶときは、最初に0ボタンを押してください(たとえば6チャンネルは0、6と押します)。

CMをカットしながら録画する(オートカット機能)(つづき)

- オートカット機能を使うと録画中にCMをカットできますが、CMをカットした部分には、約1秒間CMが録画されます。
- CMカット「一時停止Ⅹ」の状態が6分以上続くと、ビデオ内部でテープ保護動作が働くため、つなぎの部分が少し乱れることがあります。

ふたを閉じた状態

4 オートカットボタンを押して「オートカットⅩ」を表示させる

ステレオ番組を見ているときは、左の表示が現れます。

5 「オートカットⅩ」表示中(8秒以内)に録画ボタンを押す

- ビデオの録画表示が点灯し、テープを少し巻き戻してから録画が始まります。
- 「つめ」の折れたテープが入っていると、自動的にテープが出てきます。
- ステレオ放送のCMを自動的にカットしながら録画します。

CMカット中のテレビ画面

一時停止Ⅹ　10ch

ステレオ放送のCMをカットしているときに表示されます。

CMカットのビデオの表示窓

6 録画をやめるときや、別の番組に切り換えるときは停止ボタンを押す

- 録画が終了し、オートカット機能は解除されます。
- 別の番組に切り換えたあとオートカット機能を使って録画するときは、55、56ページの3～5を行ってください。

お知らせ

オートカット機能を解除するとき

停止ボタンを押してください。録画が終了し、オートカット機能が解除されます。
CMカット中に「一時停止Ⅹ」が表示されているときは、一時停止ボタンを押すとオートカット機能を解除できます。

録画予約した番組をCMをカットして録画する

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

- ビデオの電源を入れる

1 タイマー録画予約する

37～44ページの操作をしてタイマー録画予約をしてください。

2 メニュー画面を出し「1　予約の確認／取消」を選ぶ

予約内容が現れます。

3 オートカットボタンを押してⅩマークを表示させる

続けて別の番組もCMカットして録画したいときは、数字ボタンを押して別の予約内容を選んでからオートカットボタンを押してⅩマークを表示させてください。

4 設定が終わったら、メニューボタンを押す

元の画面に戻ります。

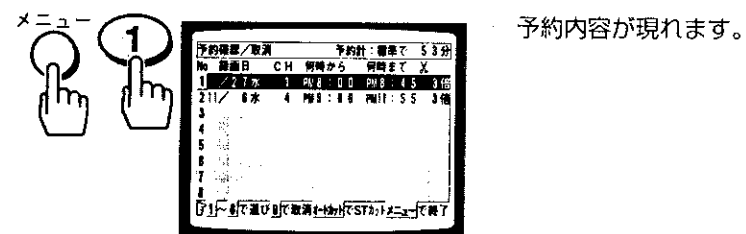
お知らせ

ビデオとテレビの電源が入で、テレビの入力切換が「ビデオ」(またはビデオチャンネル1または2)のとき、リモコンでタイマー録画予約をビデオに転送すると、テレビ画面に予約の内容が約1分間表示されます。予約内容の表示中にオートカットボタンを押すと、オートカットの設定ができます。

オートカット機能を解除するとき

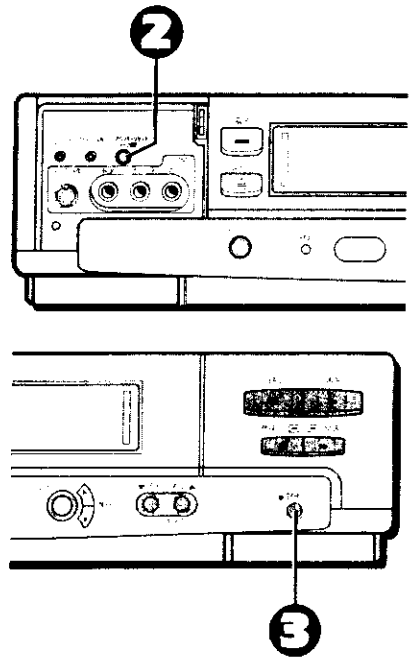
録画が始まる前

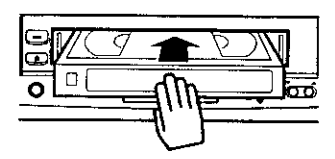
手順2を行ってからオートカットボタンを押してⅩマークを消してください。

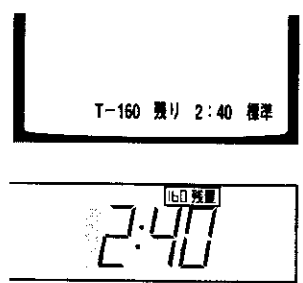
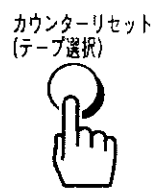
録画が始まったあと

電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。録画が終了し、オートカット機能が解除されます。

テープナビゲーションを使う

本機では、テープを入れて録画すると、そのテープに整理番号を付け、録画データ(録画日、開始時刻、チャンネル、録画モードなど)を登録してテープごとに管理します。
この録画データを活用して、テープの中身を一目で見たり、番組の頭出しをすることができます。
この機能をテープナビゲーションといいます。

重要
- テープの種類を間違って選ぶと、5分以上録画してもデータを正確に登録できません。
- 他機で録画したテープを使って初めて本機で録画するときも、❶、❷の操作をしてから録画やタイマー録画をしてください。
- テープを入れると、テープナビゲーション機能が働いて本体のテープナビゲーションボタンが点滅したあと点灯します。点灯してから操作を行ってください。点滅中に操作を行うと、同じテープに複数のテープ番号が登録されてしまい、誤動作の原因となります。

録画データを登録する

❶ テープを入れる

本体のテープナビゲーションボタンが数回点滅してから消えます。
そのあと、ビデオの表示窓の残量表示が約10秒間点滅します。

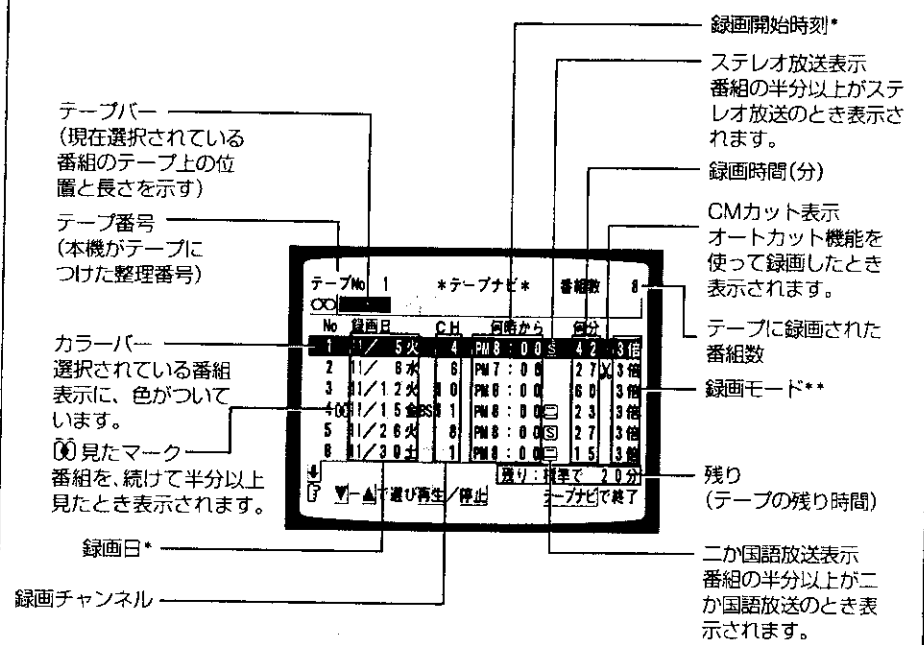
❷ 140分以上のテープのときは、カウンターリセット(テープ選択)ボタンを押して、テープの種類を切り換える

テープの種類	表　示
T-140、T-160	T-160
T-180	T-180
T-210	T-210

テープの種類に合わせて表示を選んでください。これでテープナビゲーションが正しく働きます。

❸ 録画、またはタイマー録画する

標準モードで約5分以上(3倍モードでは約15分以上)録画すると、録画データが自動的に登録されます。

重要
- **オートカット機能を使って録画した番組の録画時間は、録画予約した時間よりCMをカットした分だけ短い時間が表示されます。**
また、CMをカットした分だけ録画時間が短くなるため、30分以内の番組は、録画データが登録されないことがあります。

テープナビ画面の見かた

* 時計を設定していないと「－」で表示されます。
**録画中にモードが変わったときは、「－－」と表示されます。
このときは、標準モードに置き換えた時間が示されます。

お知らせ

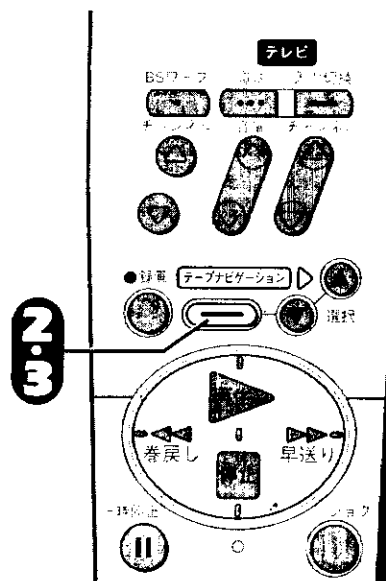
番組の登録数について
「ブランク」「残り」も含めて約200番組を登録できます。

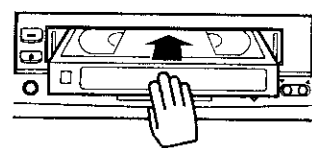
テープ番号の登録数について
100以上は登録されません。

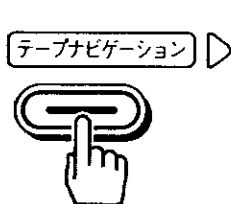
録画時間の精度について
表示される録画時間と実際の録画時間には、約3分の誤差があります。

録画データの保持について
登録された録画データは、停電や電源プラグをコンセントから抜いたときも消えません。
本機のメモリーが故障して録画データが消えた場合、データを復元することはできません。

見たマークについて
見たマークは、番組を、続けて半分以上見た(再生した)とき表示されます。番組の半分以内で再生をやめたり、テープナビ画面を出すと、見たマークは表示されません。

重要
・テープナビ画面が表示されるのは、本機で録画したテープだけです。

テープの録画データを見る

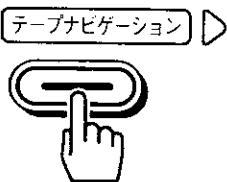
1 本機で録画したテープを入れる

テープナビゲーションボタンが数回点滅してから点灯します。
点灯後に次の操作をしてください。

2 テープナビゲーションボタンを押す

テープナビ画面が現れます。
画面の見かたは59ページをご覧ください。
この画面のデータを使って、番組を頭から再生したり、頭出しして停止したりできます。(62ページ「録画データを使って番組の頭出しをする」参照)。

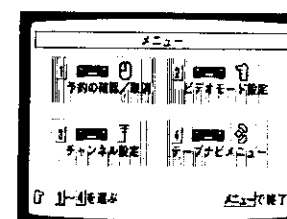
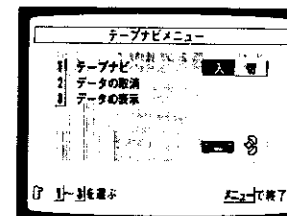
3 テープナビ画面を消すときは、もう1度テープナビゲーションボタンを押す

元の画面に戻ります。

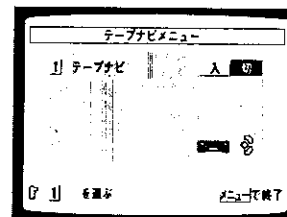
お知らせ

本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき
テープを最初から約2分間再生したあとテープナビゲーションボタンを押してください。
本機で録画した部分でテープナビゲーションボタンを押してください。

重要
・テープナビゲーション機能を入/切するときは、テープを取り出してください。

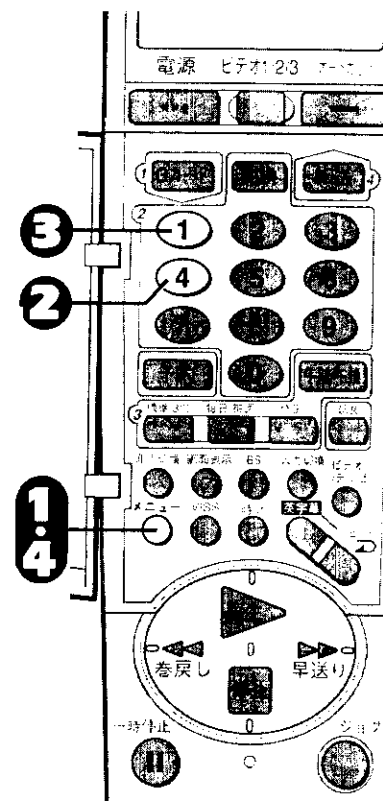
テープナビゲーション機能を入/切する

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が現れます。

2 4ボタンを押す

テープナビメニューが現れます。

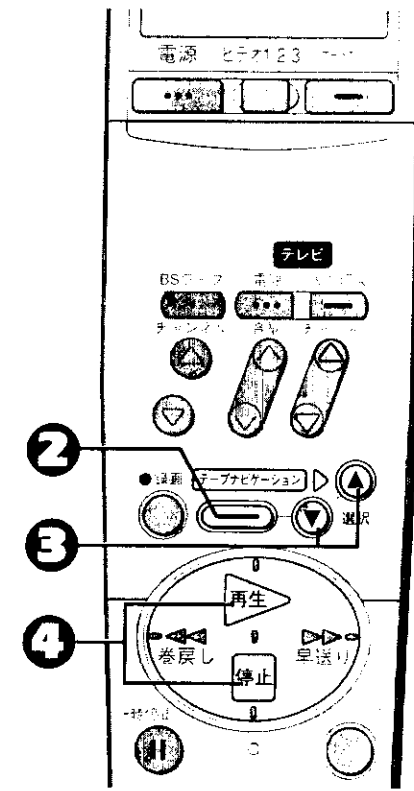
3 1ボタンを押す

ボタンを押すたびに[入]と[切]が交互に選ばれます。
工場出荷時は[入]になっています。
テープナビゲーション機能を使わないときは[切]にしてください。

4 メニューボタンを押す

元の画面に戻ります。

お知らせ

・「テープナビ」が[切]のときは「2 データの取消」と「3 データの表示」は表示されません。

テープナビゲーションを使う(つづき)

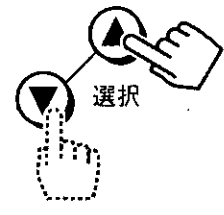
重要 • テープを入れてもテープナビゲーションボタンが緑に点滅しないときは、テープナビゲーション機能が[切]になっています。
61ページをご覧になって[入]に設定してください。

録画データを使って番組の頭出しをする

❶ 本機で録画したテープを入れる

テープナビゲーションボタンが数回点滅してから点灯します。
点灯後に次の操作をしてください。

❷ テープナビゲーションボタンを押す

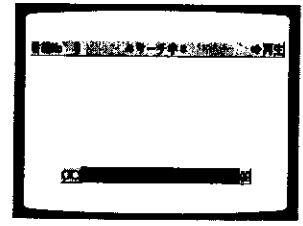
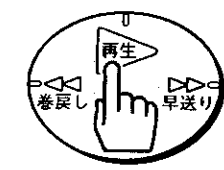
テープナビ画面が現れます。
もう一度テープナビゲーションボタンを押すと、元の画面に戻ります。

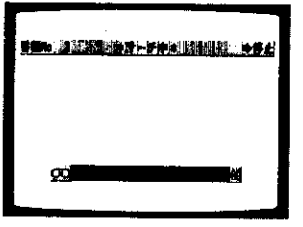
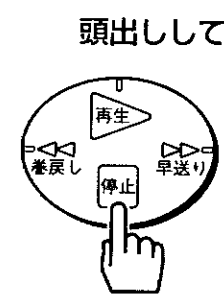
❸ 選択ボタンを押して、見たい番組(またはブランク)を選ぶ

選んだ番組の表示にカラーバーが移動します。
テープバーが選んだ番組の位置と長さを示します。
6番目以降の番組を選ぶには、選択▼ボタンを繰り返し押すと、表示されます。

お　知　ら　せ

本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき
テープを最初から約2分間再生したあとテープナビゲーションボタンを押してください。
本機で録画した部分でテープナビゲーションボタンを押してください。
❸で見たい番組(または残り)を選んだあと電源ボタンを押すと、番組を頭出ししてから自動的に停止し、電源が切れます。

❹ 番組を再生する、または頭出しして停止する

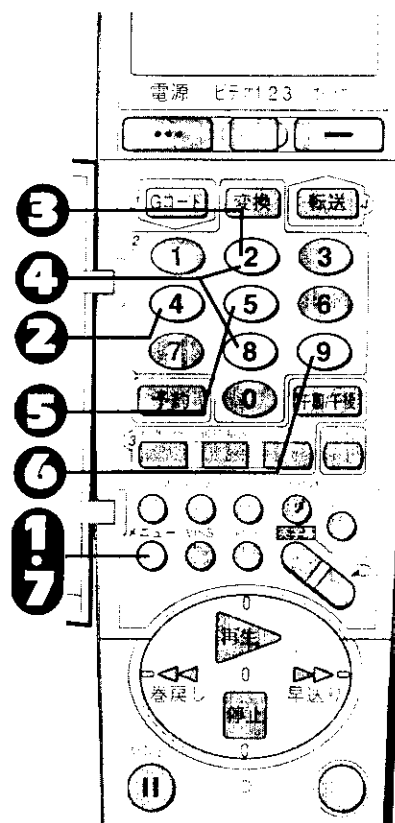
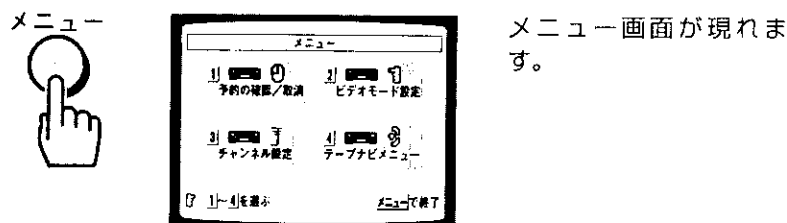
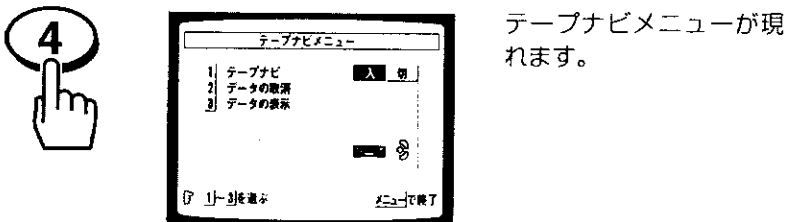
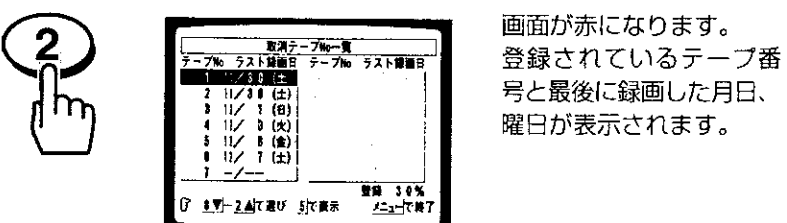
再生するとき

番組の頭を探して自動的に再生します。

頭出しして停止するとき

番組の頭を探して自動的に停止します。

テープナビゲーションを使う(つづき)

登録できるデータ数が残り少なくなったときや、いらなくなったテープのデータを取り消したいときに行います。

重要

- 録画や再生などで本機の中にテープが入っているときは、入っているテープのデータを取り消すことはできません。テープを取り出してから操作してください。
- データの取り消しをすると、1本のテープに登録されているテープデータ全てが取り消されます。データの一部(番組データ)を取り消すことはできません。

お知らせ

「テープナビ」が[切]のときは「2 データの取消」と「3 データの表示」は表示されません。
一度本機で録画したテープに再度録画するときは登録内容を取り消す必要はありません(録画すると新しいデータが自動的に登録されます)。

登録パーセント表示について
パーセント表示は、テープ番号の数ではなく、登録されている番組数や内容によって変わります。

登録内容を取り消す

1 メニューボタンを押す

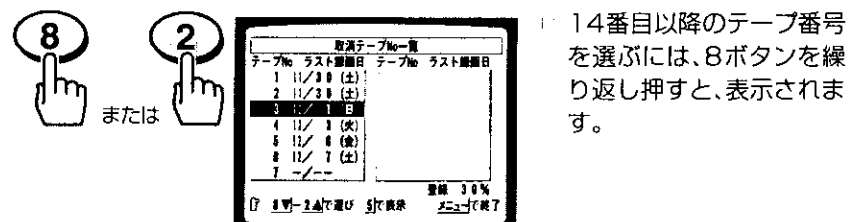
メニュー画面が現れます。

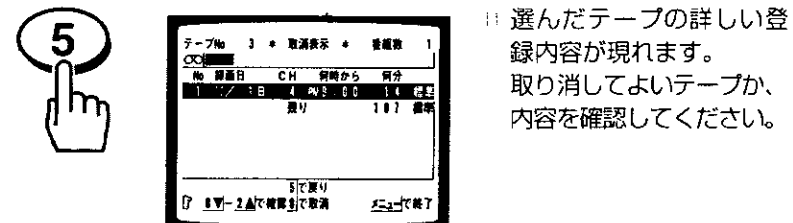
2 4ボタンを押す

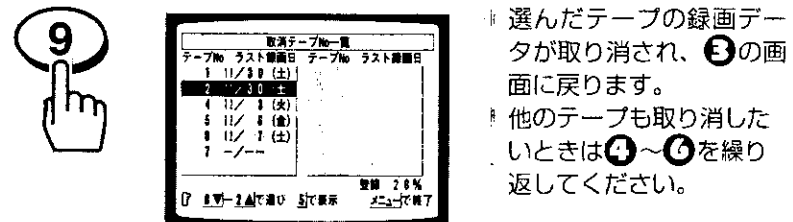
テープナビメニューが現れます。

3 2ボタンを押す

画面が赤になります。
登録されているテープ番号と最後に録画した月日、曜日が表示されます。

4 8ボタンまたは2ボタンを押して、取り消したいテープ番号を選ぶ

14番目以降のテープ番号を選ぶには、8ボタンを繰り返し押すと、表示されます。

5 5ボタンを押す

選んだテープの詳しい登録内容が現れます。
取り消してよいテープか、内容を確認してください。

6 9ボタンを押して取り消す

- 選んだテープの録画データが取り消され、3の画面に戻ります。
- 他のテープも取り消したいときは4〜6を繰り返してください。

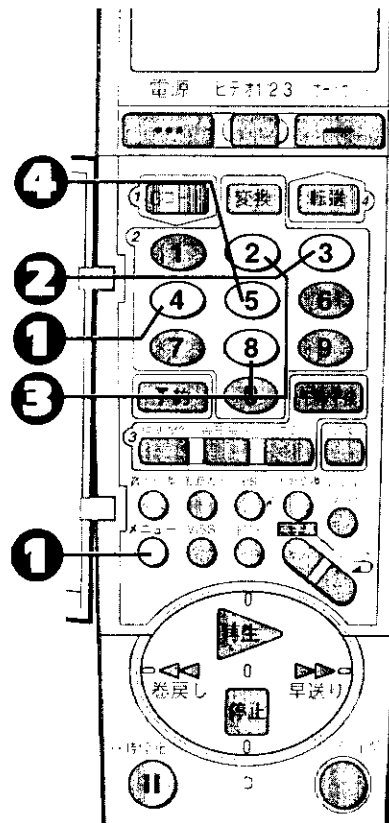
7 取り消しが終わったらメニューボタンを押す

元の画面に戻ります。

お知らせ

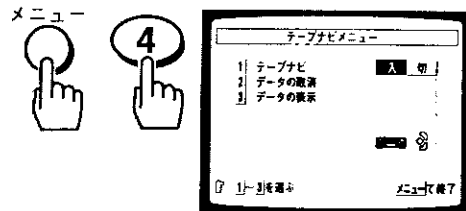
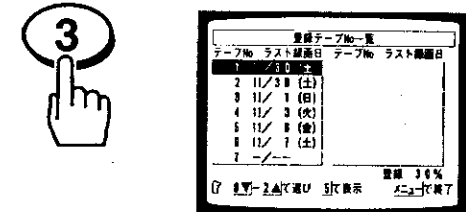
ラスト録画日の表示について
- 時計を設定していないときにデータが登録されたとき、または登録時間(録画時間)が短いとき(標準モードで約5分以内、3倍モードで約15分以内)は、ラスト録画日は－/－－と表示されます。

テープナビゲーションを使う(つづき)

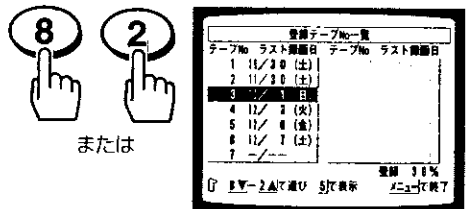
テープを入れずに、本機に登録されている全テープの登録内容を確認することができます。
お手持ちのテープのラベルに、本機で登録されたテープ番号を付けておくと、テープを探すのに便利です。

お知らせ

「テープナビ」が[切]のときは「2 データの取消」と「3 データの表示」は表示されません。

登録内容を確認する

1 メニューボタンを押してから4ボタンを押して、テープナビメニューを出す

2 3ボタンを押す

登録されているテープ番号と最後に録画した月日、曜日が表示されます。

3 8ボタンまたは2ボタンを押して、確認したいテープ番号を選ぶ

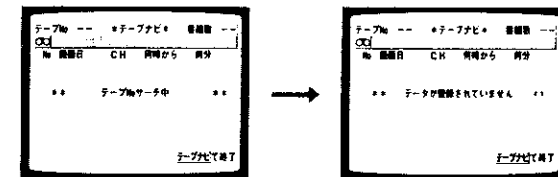
または

14番目以降のテープ番号を選ぶには、8ボタンを繰り返し押すと、表示されます。

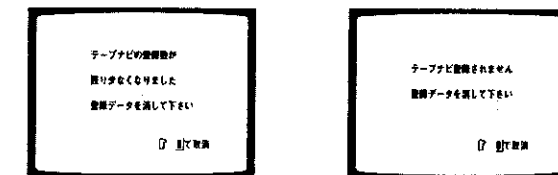
4 5ボタンを押す

選んだテープの詳しい登録内容が現れます。
他のテープの内容も確認したいときはもう一度5ボタンを押してから❸、❹を繰り返してください。
元の画面に戻すには、メニューボタンを押してください。

テープナビゲーションについて

■次の①～⑤のテープが入っているときテープナビゲーションボタンを押すと、下の画面が現れます。

①何も録画していないテープ
②本機以外のビデオで録画したテープ
③テープナビを[切]にして本機で録画したテープ
④登録内容を取り消したテープ
⑤市販のソフトテープ

■登録の数には限りがあります。

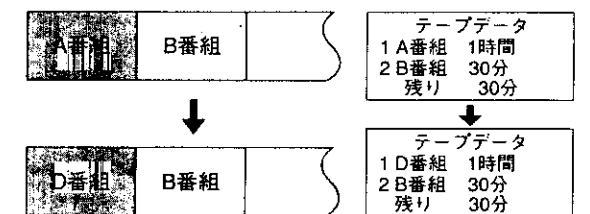
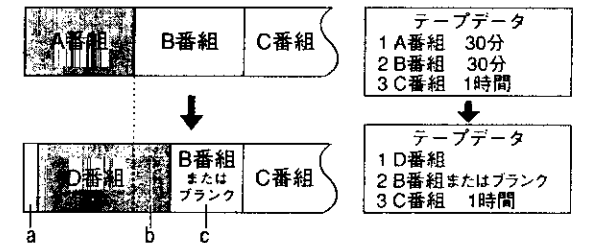
録画を始めたときに下の画面が現れたときは、いらないテープの登録内容を消してください。

上の画面が出ている間に0ボタンを押すと64ページの「登録内容を取り消す」の❸の画面になります。❹～❼の操作を行い、登録を取り消してください。

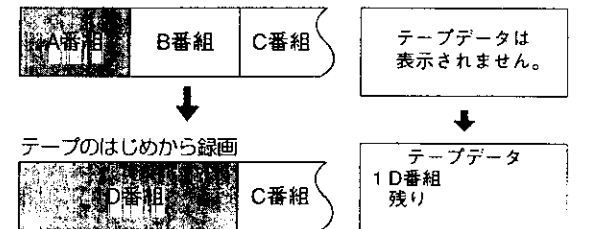
■ダビング編集について

音声だけを録音したときやCDV(コンパクトディスクビデオ)から録画したときは、テープナビゲーション機能は働きません。

■市販のクリーニングテープをお使いになるときは、誤動作を防ぐため、テープナビゲーション機能を切ってからクリーニングテープを入れてください(61ページ参照)。

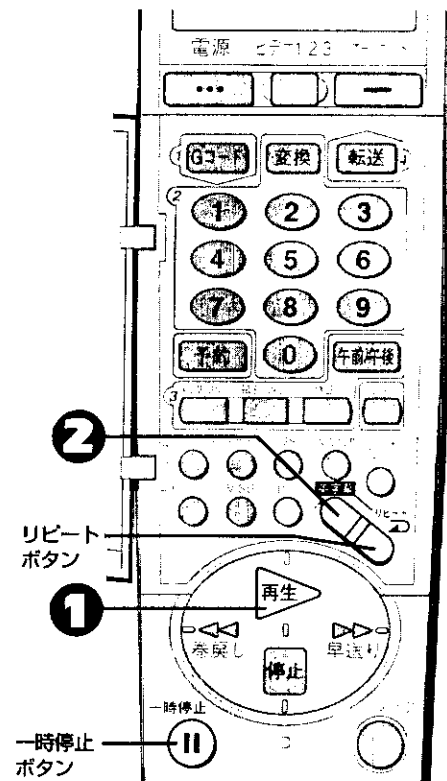
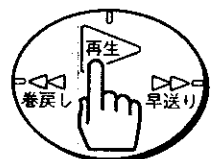
■一度録画したテープに再度録画したときのテープデータについて

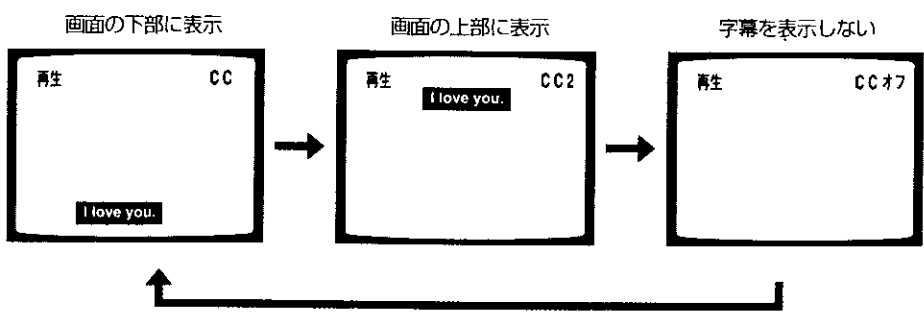
例1) テープナビゲーションを使ってA番組、B番組を録画したテープに、D番組をA番組と同じ時間録画したとき

例2) テープナビゲーションを使ってA番組、B番組、C番組を録画したテープに、D番組を録画したとき

aの時間が5分(3倍モードで15分)未満のときは何も表示されません。約5分以上のときは、「A番組」と表示され、録画時間はaの時間に変わります。
cは、bの録画時間によって「B番組」または「ブランク」と表示されます。(cは、5分未満のときは、何も表示されません。)

例3) 他の機器でA番組、B番組、C番組を録画したテープに、テープナビゲーションを使ってD番組を録画したとき

＊C番組は「残り」と表示されます。

英語の字幕を見る Closed Caption機能（クローズド キャプション）

クローズド・キャプション信号の入ったビデオテープを再生したとき、英語の字幕を表示させることができます。

重要
- 字幕を表示できるのは、□ または CC マークの付いたクローズド・キャプション信号の入ったテープだけです。これ以外のテープでは表示できません。
- □：ナショナル・キャプショニング・インスティチュート・インク社のサービスマークおよび商標です。

❶ クローズド・キャプション信号の入ったテープを再生する

❷ 英字幕ボタンを押す

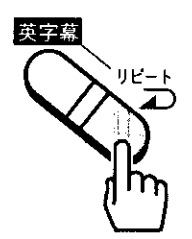
ボタンを押すたびに、下のように字幕表示が切り換わります。

お知らせ

□ または CC マークの付いたテープ以外で字幕表示ができるもの

クローズド・キャプション信号の入ったテープをダビングしたテープ

外部入力につないだ、クローズド・キャプション信号の入ったレーザーディスクなど(デジタルメモリー機能付きのレーザーディスクプレーヤーをお使いのときは字幕表示ができないことがあります)。

同じ字幕をもう一度見たいとき

次の字幕が表示される前にリピートボタンを押す

- 前の字幕のあるところまで自動的に巻戻し再生してから再生します。

字幕を止めて見るとき

一時停止ボタンを押す

一時停止ボタンまたは再生ボタンを押すと、再生に戻ります。

お知らせ

字幕が出ないとき

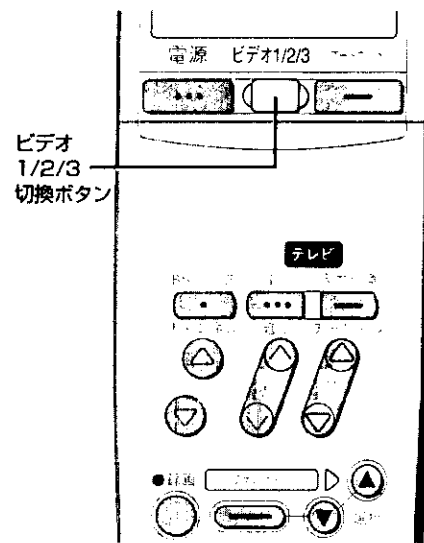
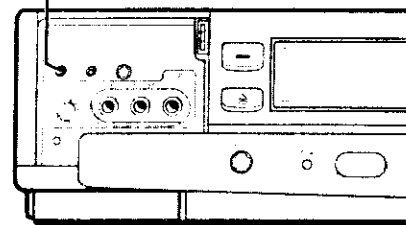
早送り再生、巻戻し再生、スロー再生中は字幕が消えます。

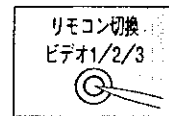
テープに傷がついていたり、録画状態の悪いテープでは字幕を正しく表示できないことがあります。

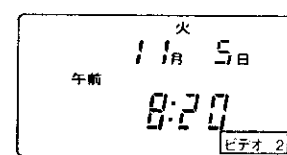
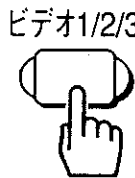
字幕が上下に揺れるとき

- チャンネル(トラッキング)ボタンで字幕と画像の揺れを最小に調節してください。
- テレビとの組み合わせによっては揺れを抑えられないことがあります。

リモコンで2台のビデオを操作する

付属のリモコンは、当社製のビデオを3台まで、別々に操作できます。
ビデオ側のリモコン切換ボタンの設定を1台ずつ違う位置にして、
リモコンのビデオ1/2/3切換ボタンの設定を操作したいビデオの設定に合わせると
他のビデオが誤動作しません。

■ 本機を操作するとき

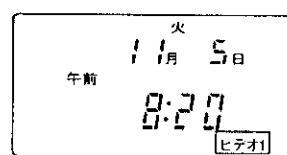
1 ビデオ本体のリモコン切換ボタンをつまようじなどで押してビデオの表示窓に「R-2」を表示させる

リモコン切換ボタンを押すたびに「R-1」→「R-2」→「R-3」の順に切り換わります。

2 リモコンのビデオ1/2/3切換ボタンを押して「ビデオ2」を表示させる

ビデオ1/2/3

3 リモコンを本機に向けて操作する

■ もう1台のビデオを操作するとき

1 リモコンのビデオ1/2/3切換ボタンを押して「ビデオ1」を表示させる

ビデオ1/2/3

当社製ビデオは工場出荷時、リモコン切換スイッチを「1」に設定してあります。

2 リモコンをもう1台のビデオに向けて操作する

お知らせ

3台のビデオを操作するとき
本機のリモコン切換ボタンを「R-3」に合わせ、他のビデオを「R-1」または「R-2」にしてください。

付属のリモコンで操作できるビデオ
VT-6800/VT-9700/VT-17以外の当社製ワイヤレスリモコン対応のビデオ
ビデオによっては、リモコンのタイマー予約や時計合わせができないことがあります。

リモコンで他社のテレビを操作する

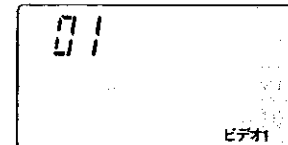
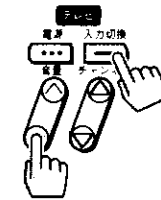
本機のリモコンで、当社製以外にも他社9社のテレビを操作できます。
使い始めるときに次のように設定してください。
操作するたびに設定する必要はありません。

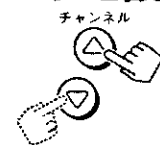
重要
- お手持ちのテレビの製造年度や形式により、操作できない、あるいは一部のボタンが働かないことがあります。

お知らせ

* 松下、サンヨー、シャープはテレビコードが2種類あります。松下、シャープは電源の「入/切」できるコードを選んでください。サンヨーはチャンネルボタンが正しく働くコードを選んでください。
- 数字ボタンでテレビのチャンネルを選ぶことはできません。

テレビコードを設定する

1 テレビ入力切換とテレビ音量(∨)ボタンを同時に押す

リモコンの表示窓にテレビコード「01」が表示されます。

2 チャンネル(△)または(▽)ボタンを押してテレビコードを設定する

ご使用のテレビのメーカーに合った数字を選んでください。

メーカー	テレビコード	メーカー	テレビコード	メーカー	テレビコード
日立	01	東芝	05	シャープ(1)	09
松下(1)	02	三菱	06	シャープ(2)	10
ビクター	03	サンヨー(1)	07	富士通ゼネラル	11
ソニー	04	サンヨー(2)	08	NEC	12
				松下(2)	13

3 テレビ電源ボタンを押す

テレビ電源ボタンを押してテレビの電源の「入/切」ができれば、このリモコンでテレビの操作ができます。

4 テレビ入力切換とテレビ音量(∨)ボタンを同時に押す

火
11月 5日
午前
8:20
ビデオ1

リモコンの表示窓が時計表示に戻ります。

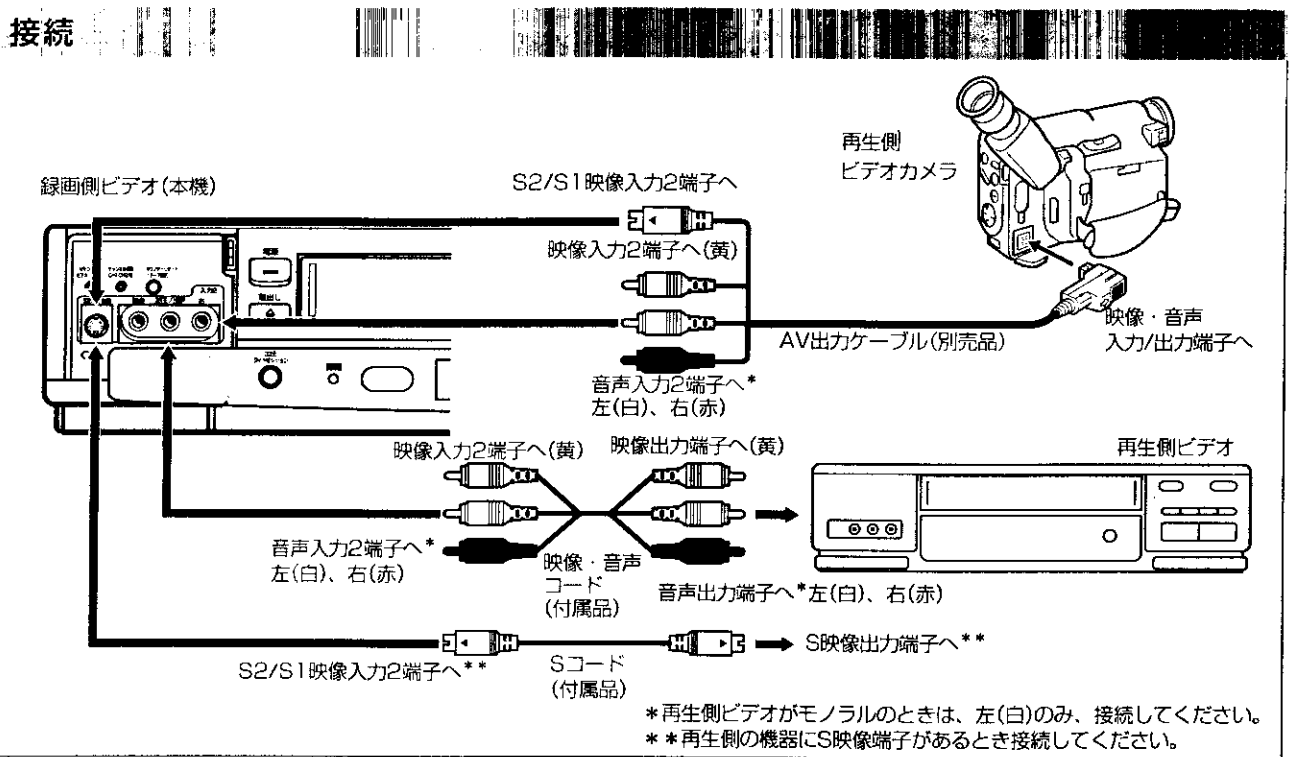
ダビングする

テープの映像と音声を別のテープにダビングできます。

- 再生側のビデオに画面表示機能がある場合は、画面表示を消してください。
  消してないと、画面の表示まで録画されます。
- 「L1」、「L2」を飛ばして設定していると、チャンネルボタンを押しても「L1」、「L2」を表示できません。
  86ページをご覧になって「L1」、「L2」を元に戻してください。

ビデオカメラや他のビデオから本機へダビングする

接続

＊再生側ビデオがモノラルのときは、左(白)のみ、接続してください。
＊＊再生側の機器にS映像端子があるとき接続してください。

お知らせ

画質を重視するときは、本機の録画モードを「標準」で録画することをおすすめします。
本機にテレビを接続すると、ダビングの画像を確認できます。
再生側ビデオは録画側の後面の入力端子につなぐこともできます。このときは入力切換ボタンで「L1」を選びます。
Sコードを接続したときは、S2/S1映像入力が映像入力より優先します。
接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

ダビングする

1 (本機で)リモコンの入力切換ボタンを押して「L2」を表示させる

ボタンを押すごとにチャンネル番号→L1→L2→チャンネル番号と切り換わります。

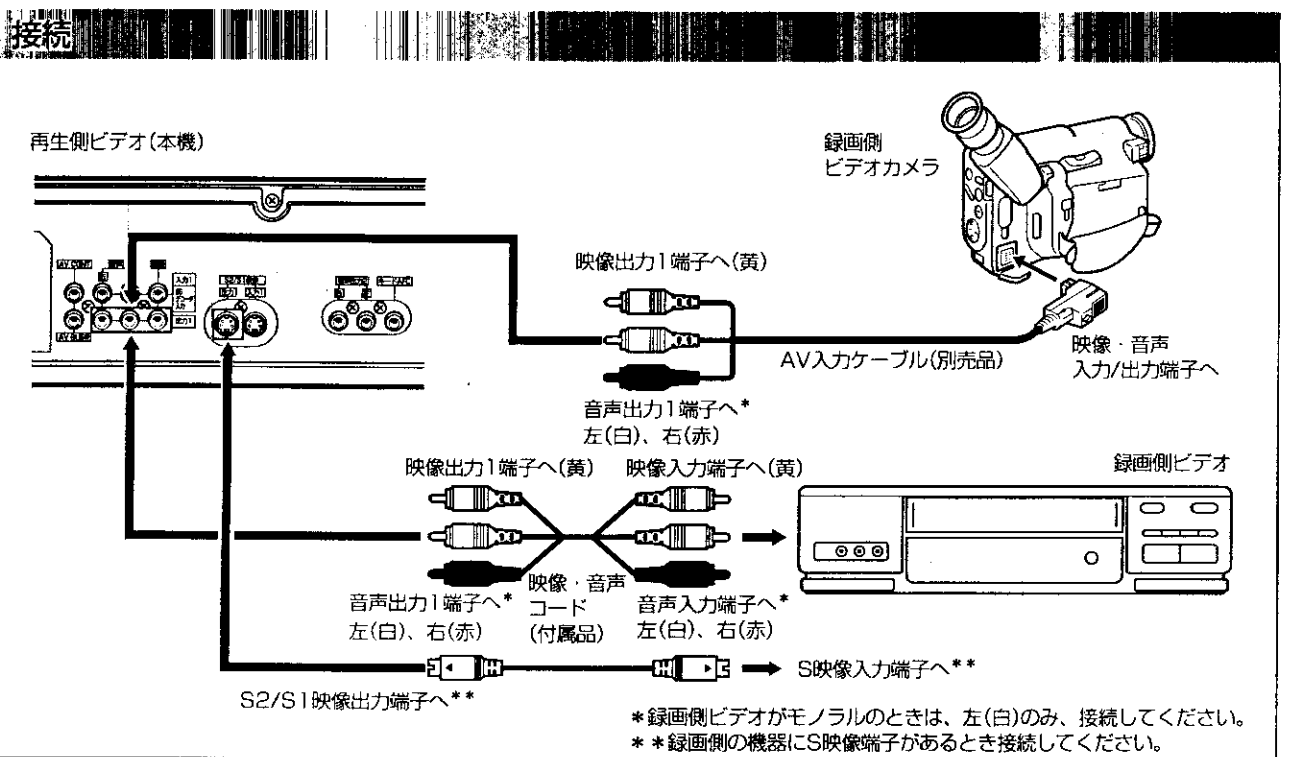
2 (再生側で)再生を始める

3 (本機で)録画ボタンを押す

- 本機を再生側ビデオにしてダビングするときは、3次元ワイドポジションボタンを消灯させてから行ってください。点灯したままお使いになると、接続する機器によっては、画面が乱れたり色が抜けることがあります。

本機からビデオカメラや他のビデオへダビングする

接続

＊録画側ビデオがモノラルのときは、左(白)のみ、接続してください。
＊＊録画側の機器にS映像端子があるとき接続してください。

お知らせ

- 画質を重視するときは、録画側ビデオの録画モードを「標準」で録画することをおすすめします。
- 録画側ビデオにテレビを接続すると、ダビングの画像を確認できます。
- 本機で記録したテープを他のビデオでダビングすると、テープナビゲーションのデータも同時に記録されます。このため、これらのテープでテープナビゲーション操作をすると、記録されている内容とテープナビ画面の表示が一致しないことがあります。

ダビングする

1 (録画側で)入力切換で「外部入力」を選ぶ

2 (本機で)OSD表示モードを[切]にする

設定のしかたは、52ページ「ビデオの機能を画面で選ぶ(お好みセレクト)」をご覧ください。

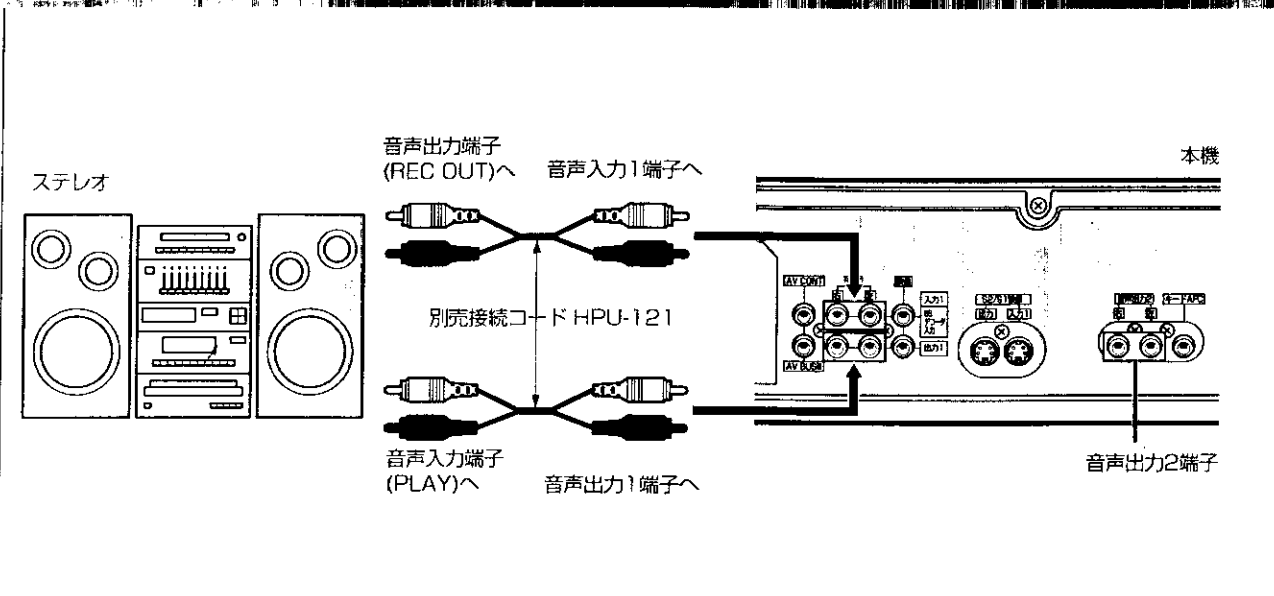
3 (本機で)3次元ワイドポジションボタンを押してボタンを消灯させる

4 (本機で)再生ボタンを押す

5 (録画側で)録画を始める

ステレオから音声を録音する(オーディオ録音)

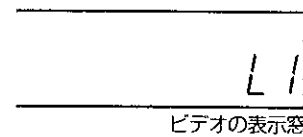
ビデオをステレオのテープデッキの代わりに使って、音声を録音することができます。

接続

お知らせ

録音した音声を聞く
ステレオの入力切換を「音声入力」にして、テープを再生します。
リモコンの音声切換ボタンでHi-Fi サウンドとノーマルサウンドを選ぶことができます(50ページ参照)。
音声のみ録音するときは、テープナビゲーション機能は働きません。

音声出力2端子について
音声出力2端子から出力される音声は、音声出力1端子から出力される音声と同じです。

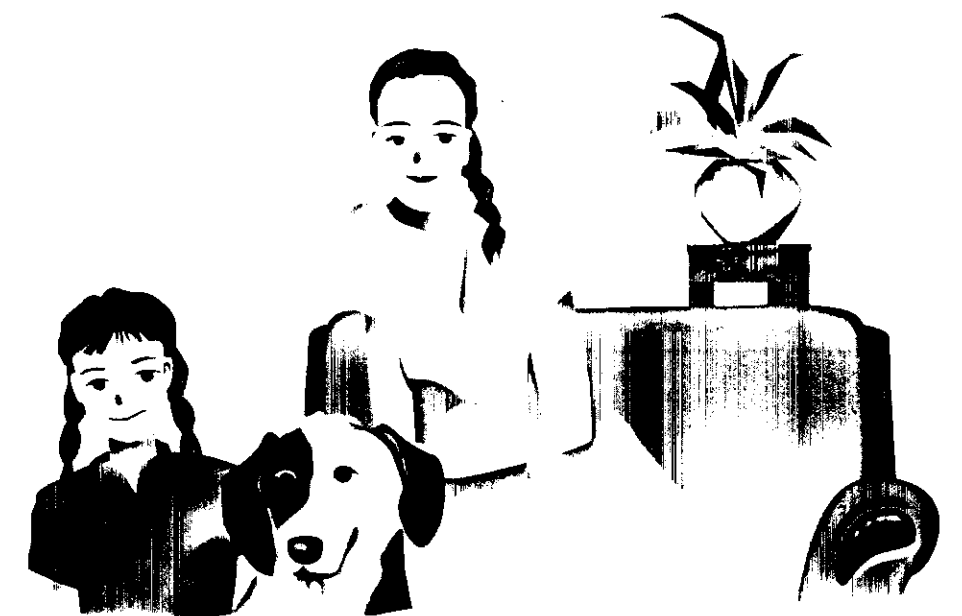
ビデオに音声を録音する

1 (本機で)リモコンの入力切換ボタンを押して「L1」を表示させる

ボタンを押すごとにチャンネル番号→L1→L2→チャンネル番号と切り換ります。

2 (本機で)録画ボタンを押す

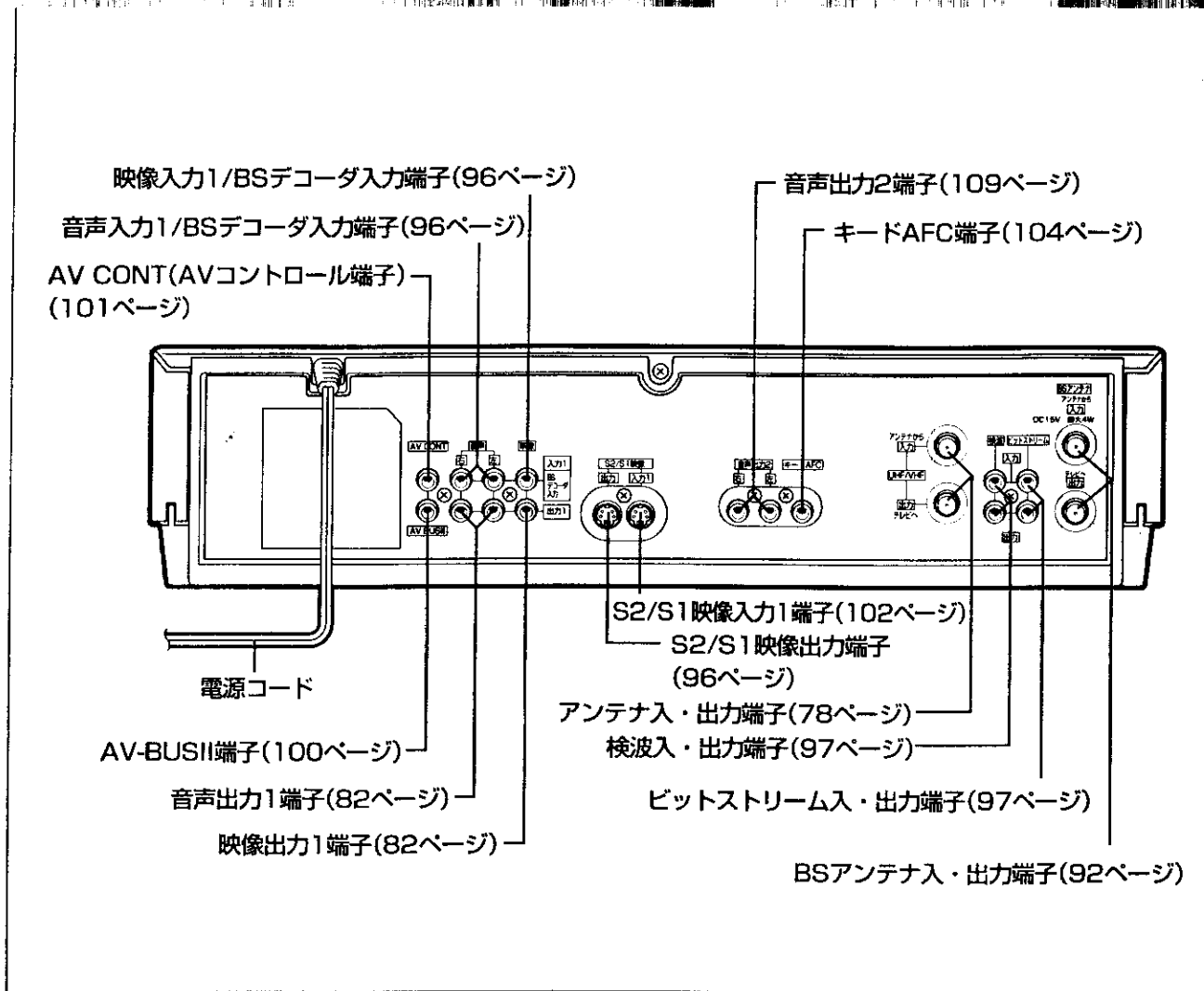
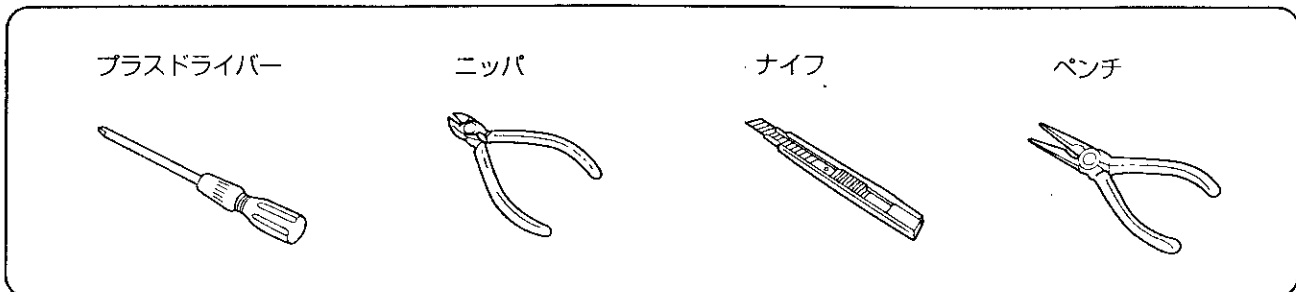
録音が始まります。
Hi-Fi サウンドとノーマルサウンドの両方が録音されます。

設置・準備編

ご自分で設置するには

設置を始める前に

このページで設置の手順を確かめてから始めましょう。

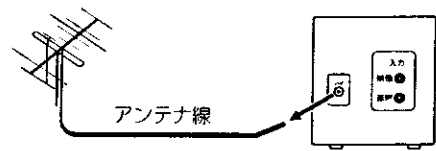
重要 テレビラックやオーディオラックなどをご使用のときは、ビデオをラックの下の段に設置してご使用になることをおすすめします。（本機をラックの上の段でご使用になると、テレビとビデオの位置が近すぎるために、再生中またはテレビ番組を見ているとき、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。）

ビデオ後面の各部のなまえ

● 設置するときに必要な工具

まず、基本の設置・準備を行ってください。そのあと、お手持ちの機器や目的に合わせて必要な設置を行ってください。

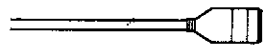
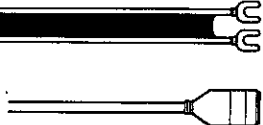
基本の設置・準備（VHF/UHF放送を見る・録画するために）

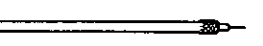
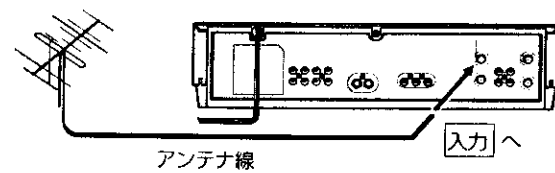
ビデオにアンテナとテレビをつなぐ

アンテナ線の種類や、テレビのアンテナ端子の形状によって、つなぎかたが変わります。
お手持ちのテレビに合わせたつなぎかたをしてください。

1 テレビからアンテナ線を取り外す

アンテナ線

テレビから外したアンテナ線

UHFとVHFが混合されたアンテナ線またはVHF単独のアンテナ線

UHFとVHFが別々のアンテナ線

UHF単独のアンテナ線

VHF単独のアンテナ線

2 取り外したアンテナ線をビデオに接続する

アンテナ線

入力へ

本機のアンテナ入力・出力端子

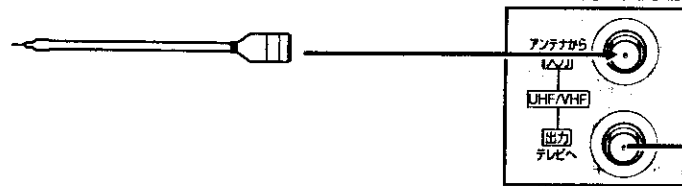
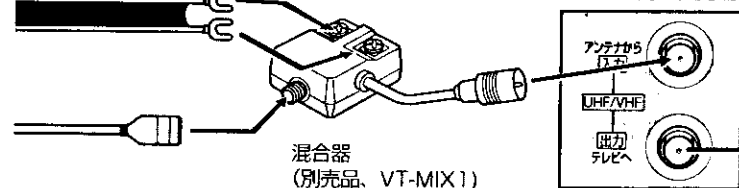
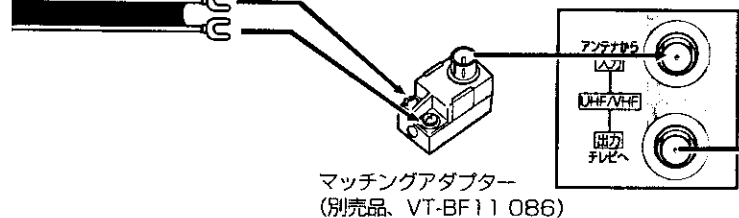
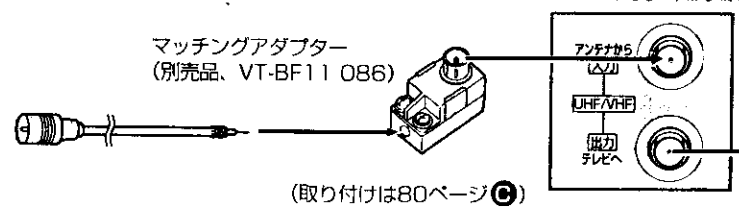
アンテナから 入力

UHF/VHF

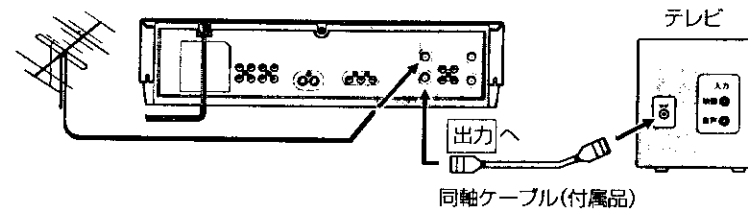
出力 テレビへ

混合器
（別売品、VT-MIX1）

マッチングアダプター
（別売品、VT-BF11 086）

（取り付けは80ページ**C**）

3 付属の同軸ケーブルを使って、ビデオとテレビを接続する

テレビ

出力へ

同軸ケーブル（付属品）

テレビのアンテナ端子

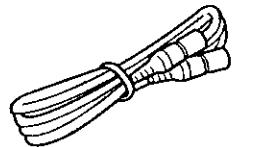
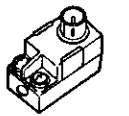
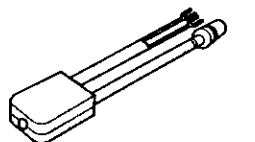
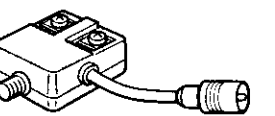
VHF/UHF

分波器（別売品、
VT-BF11 096）

VHF UHF

切断する

（加工のしかたは次ページ**A**）

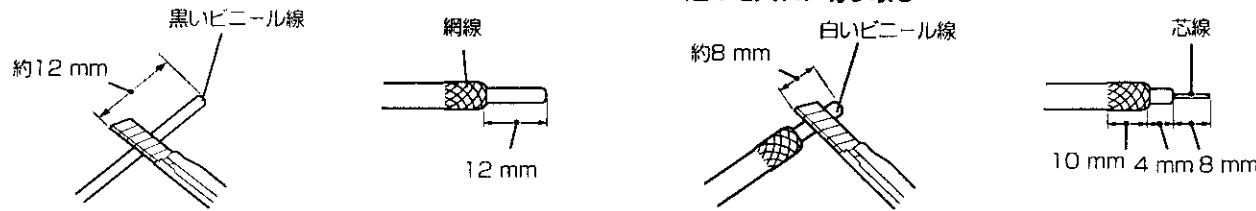
（取り付けは次ページ**B**）

テレビの映りが悪いとき

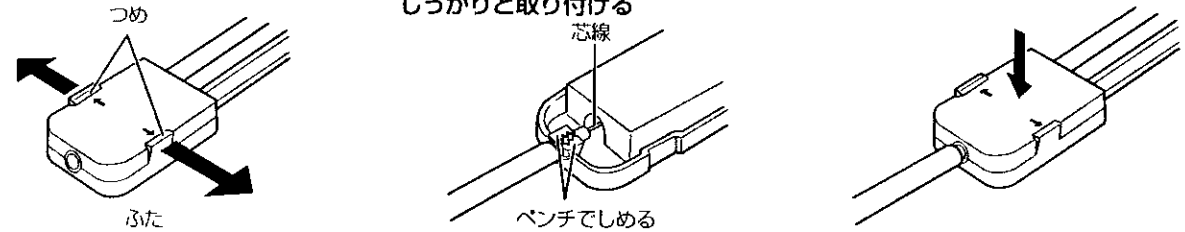
- ビデオとテレビを接続したとき、電波の弱い地域ではテレビの映りが悪くなることがあります。このときは、ブースター（別売）を使用するとノイズが少なくなります。

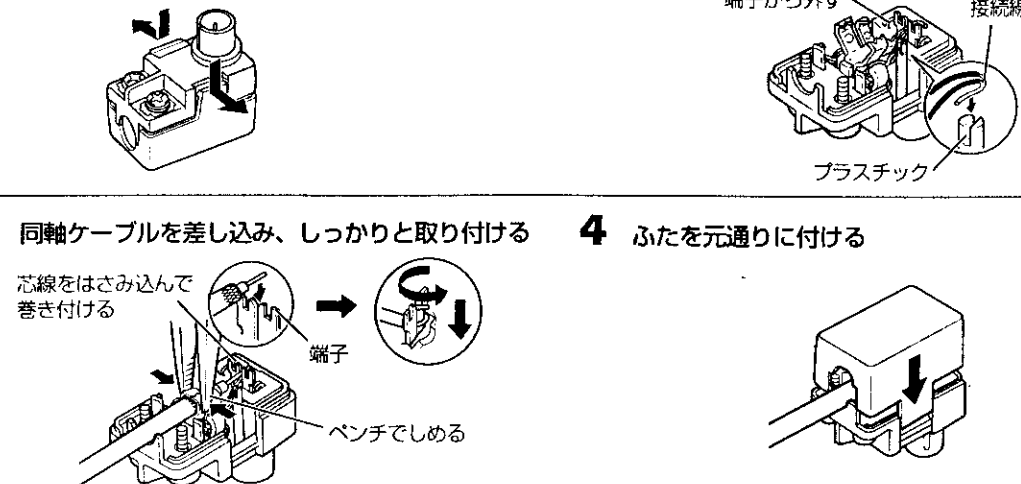
ビデオにアンテナとテレビをつなぐ（つづき）

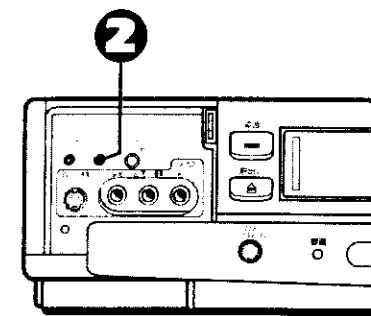
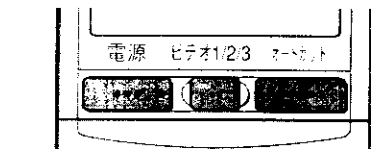
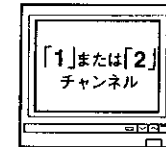
同軸ケーブルや分波器のケーブル先端の加工の仕方や、分波器やマッチングアダプターに同軸ケーブルを取り付ける方法を説明します。

A 分波器の先端の加工

1 黒いビニール線にすじを入れ、切り取る
2 網線を折り返す
3 白いビニール線に切り込みを入れ、切り取る
4 芯線を出す

B 分波器（別売品、VT-BF11 096）に同軸ケーブルを取り付ける

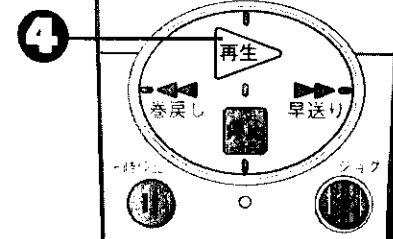
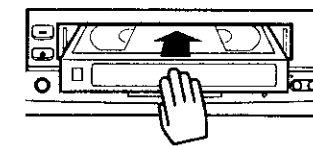
1 つめを開きながらふたを外す
2 同軸ケーブルの芯線を差し込み、しっかりと取り付ける
3 ふたを元通りに付ける

C マッチングアダプター（別売品、VT-BF11 086）に同軸ケーブルを取り付ける

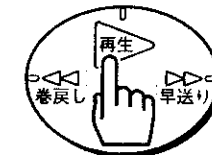
1 つめを開きながらふたを外す
2 接続線を端子から外し、プラスチックにはさむ
3 同軸ケーブルを差し込み、しっかりと取り付ける
4 ふたを元通りに付ける

ビデオ専用チャンネルを設定する

映像・音声入力端子のないテレビをアンテナ線だけで接続したときは、ビデオチャンネルの設定が必要です。ビデオで選んだ番組を見るときや、テープを再生するときは、テレビのチャンネルをこのビデオチャンネルに合わせてください。

1 テレビの電源を入れ、放送のないチャンネル（1または2）を選ぶ

2 チャンネル切換ボタンをつまようじなどで押して、テレビで選んだチャンネルを表示させる

RF- 1

ボタンを押すたびにRF-1（1チャンネル）→RF-2（2チャンネル）→RF-OFF（切）の順に表示されます。

ここで選んだチャンネルがビデオ専用チャンネル（ビデオチャンネル）になります。

3 録画済みのテープを入れる

自動的に電源が入ります。

4 再生ボタンを押す

再生が始まります。
映像と音声が出れば、ビデオチャンネルが正しく設定されています。

ビデオの再生画像が映らないときは

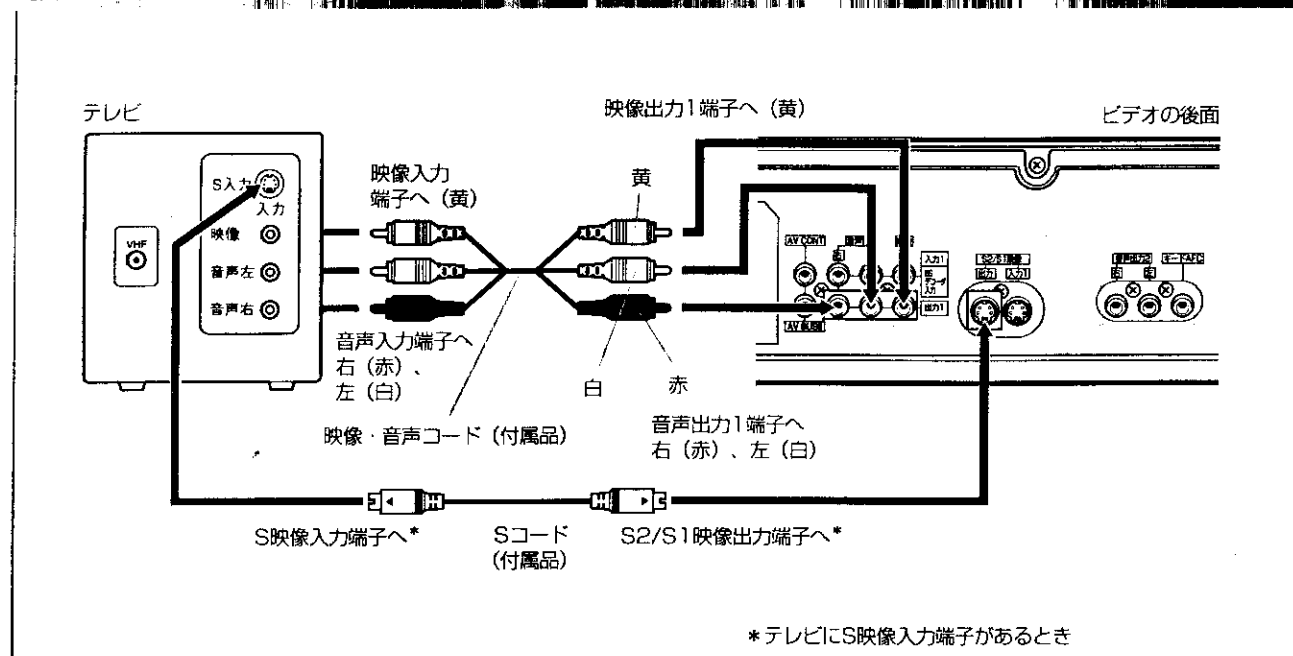
アンテナ線の接続を確認してください（78ページ）。
テレビのビデオチャンネルを合わせ直してください。

映像・音声入力端子つきテレビをつなぐ

**映像入力端子、音声入力端子の付いているテレビでは、映像・音声コードを接続すると、よりよい画質、音質で楽しめます。
アンテナ線をビデオに接続してから(78～79ページ)、下記のように映像・音声コードを接続してください。**

重要
- 接続するときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。

接続

＊テレビにS映像入力端子があるとき

重要
- テープが入っていると正しく接続できたか確認できません。
テープを取り出してから操作を始めてください。

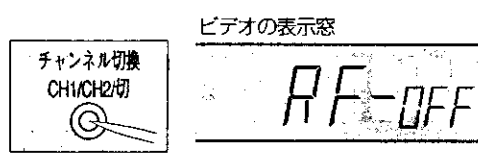
接続が終わったら

正しく接続できたか確認します。

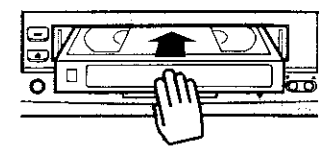
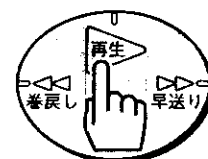
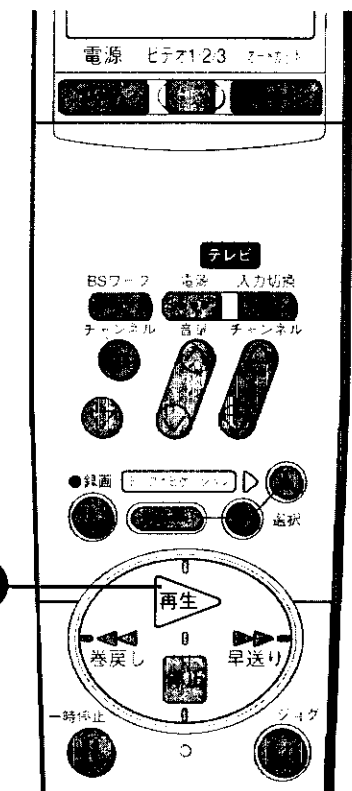
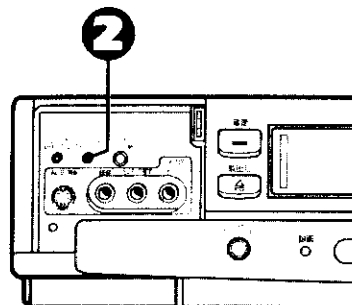
❶ ビデオとテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする

テレビの入力切換を「ビデオ」にすると、ビデオで選んだ番組がテレビに映ります。

❷ チャンネル切換ボタンをつまようじなどで押して、「RF-OFF(切)」を表示させる

ビデオの表示窓

RF-OFF

このボタンで「RF-OFF(切)」を選ぶと、録画しながら別の番組を見るとき、ビデオ/テレビ切換ボタンを押さなくても、テレビで見たいチャンネルを選ぶことができます。

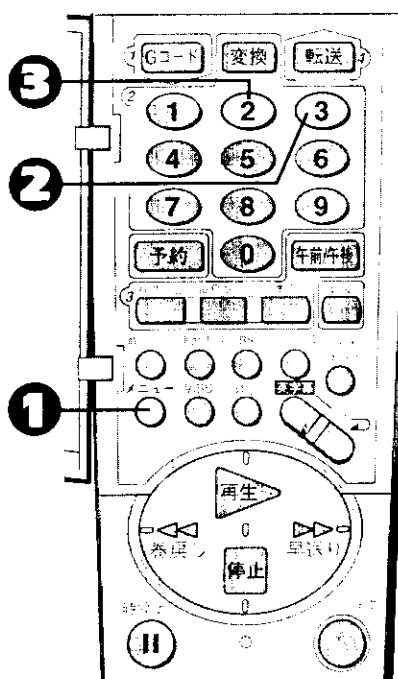
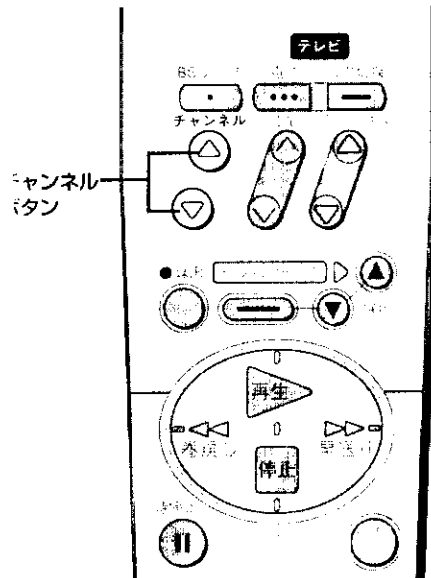
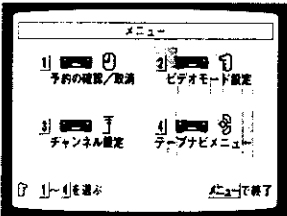
❸ 録画済みのテープを入れる

❹ 再生ボタンを押す

再生が始まります。
映像と音声が出れば、ビデオとテレビが正しく接続されています。

お知らせ

ビデオで選んだ番組がテレビに映らないとき
- 映像・音声コードの接続を確認してください(82ページ)。

受信チャンネルを合わせる

お住いの地域により、受信できるチャンネルが違います。
(たとえば東京と大阪、あるいは北海道と九州では受信できるチャンネルが違います。)
このため、お住いの地域に合わせてビデオの受信チャンネルを合わせる必要があります。
工場出荷時は、VHF放送の1～12チャンネルとBS放送の1、3、5、7、9、11、13、15チャンネルが受信できるように調整されています。

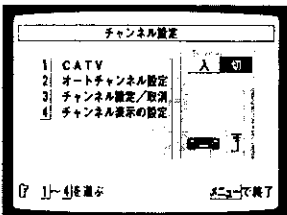
重要
• アンテナとテレビが正しく接続されているか、確認してください。

ふたを開けた状態

ふたを閉じた状態

チャンネルボタン

チャンネルを設定する

・テレビの電源を入れる
・テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

・ビデオの電源を入れる

1 メニューボタンを押す

「メニュー」画面がテレビに現れます。

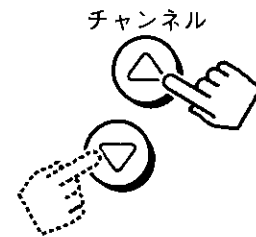
2 3ボタンを押す

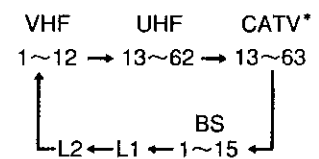
「チャンネル設定」画面が現れます。

3 2ボタンを押して「オートチャンネル設定」を選ぶ

受信しているチャンネルを自動的に記憶していきます(約2分かかります)。
記憶が終わると、「チャンネル設定」画面に戻ります。
メニューボタンを押すと受信画面になります。

オートチャンネル設定が終わったら

チャンネルボタンを押して、映るチャンネルを確認します。

ボタンを押すたびに、設定されたチャンネルがテレビに映ります。
チャンネルボタンの⊜を押すと、次の順にチャンネルが変わります。⊝を押すと逆の順に変わります。

VHF 1～12 → UHF 13～62 → CATV* 13～63 → BS 1～15 → L1 → L2 → VHF 1～12

*CATVチャンネルを設定したとき表示される(89ページ参照)

■ 放送のないチャンネルが設定されているとき

電波状態によっては、放送のないチャンネルが設定されることがあります。
不要なチャンネルは飛ばすことができます(86ページ参照)。

■ チャンネルの表示がテレビ番組表の数字と合わないとき

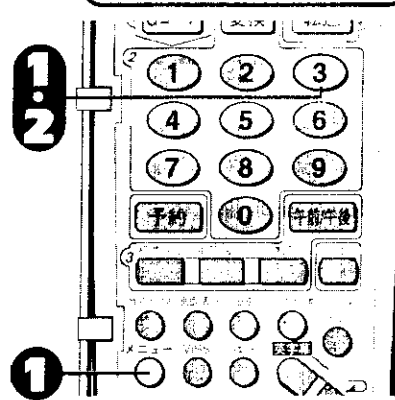
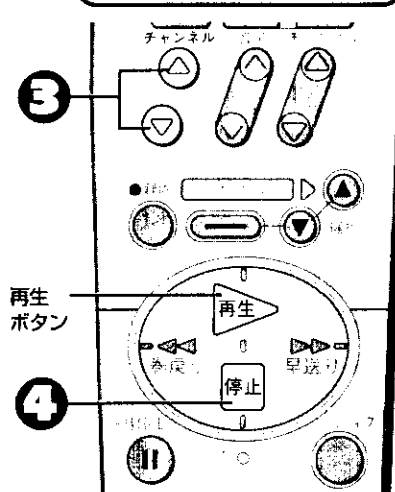
チャンネルの表示を、テレビ番組表と同じ数字に変えることができます(88ページ参照)。

お知らせ

チャンネルが1つも設定されなかったり、画像がきれいに映らないとき
アンテナ線の接続を確認してください(78ページ参照)。

受信チャンネルを合わせる（つづき）

チャンネルをオート設定すると、放送のないチャンネルや、電波が弱いチャンネル、妨害が入るチャンネルも設定されることがあります。これらのチャンネルを飛ばしたり、元に戻したり、また、受信状態を微調節したりすることができます。
チャンネルを飛ばすときは、あらかじめ不要なチャンネルをメモしておくと、便利です。

ふたを開けた状態

ふたを閉じた状態

お知らせ

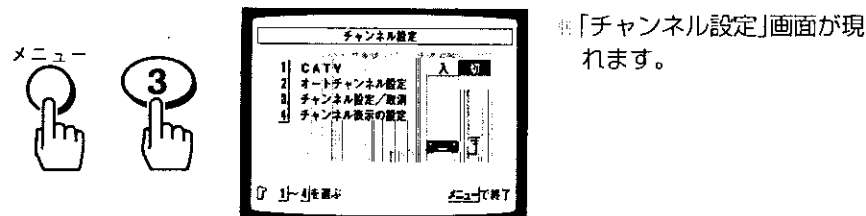
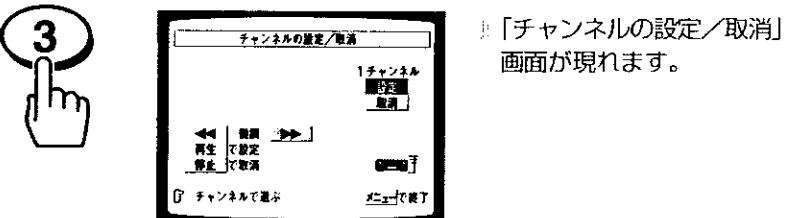
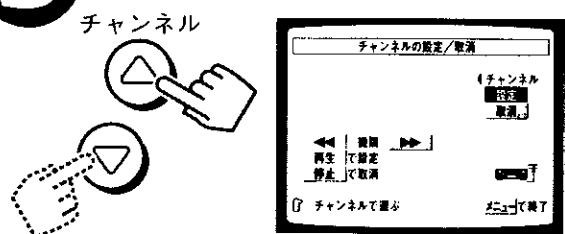
一度飛ばしたチャンネルを、元に戻すとき
1 右の手順❶、❷を行う。
2 元に戻したいチャンネルを選ぶ。
3 再生ボタンを押す。

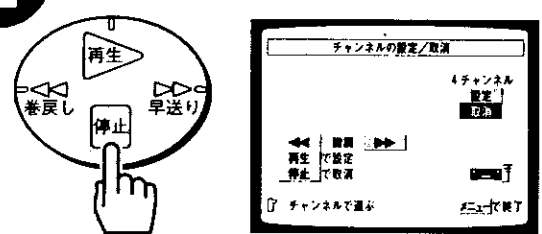
外部入力を飛ばすとき
入力切換ボタンを押すと、外部入力(L1、L2)が選ばれます。チャンネルの場合と同様に、外部入力を飛ばしたり、元に戻したりすることができます。

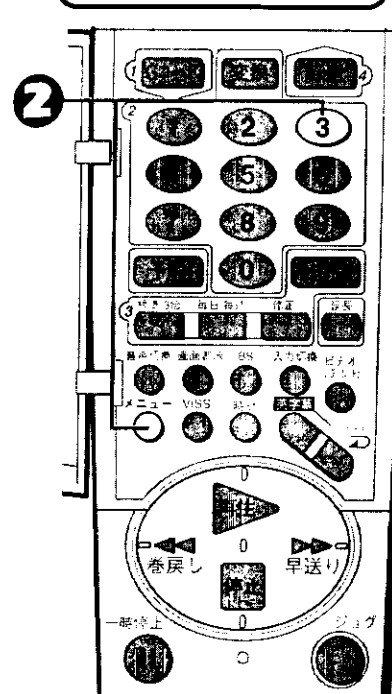
チャンネルを飛ばす

❶「メニュー」画面を出し「3 チャンネル設定」を選ぶ

※「チャンネル設定」画面が現れます。

❷ 3ボタンを押す

※「チャンネルの設定／取消」画面が現れます。

❸ 飛ばしたいチャンネルを選ぶ

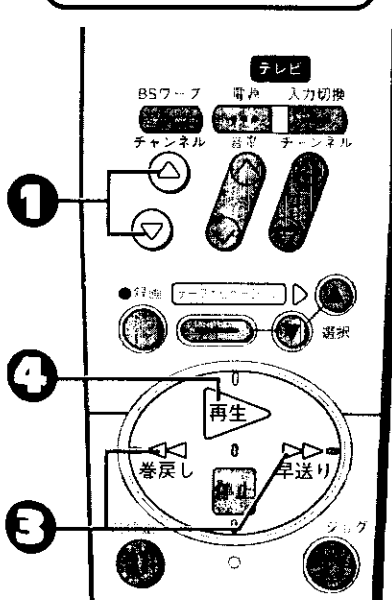
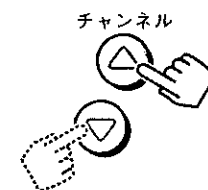
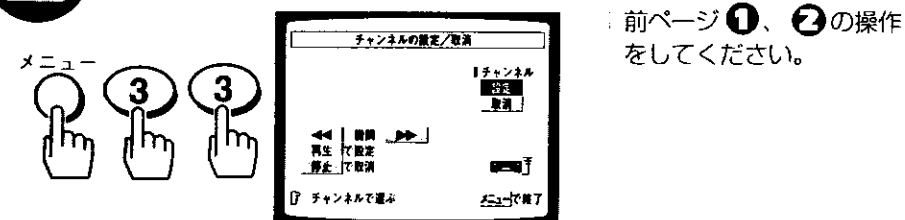
❹ 停止ボタンを押す

続けて他のチャンネルも飛ばすときは、❸、❹を繰り返します。
メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。
これで、飛ばしたチャンネルはチャンネル㋹㋑ボタンで選べなくなります。

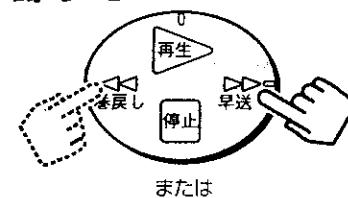
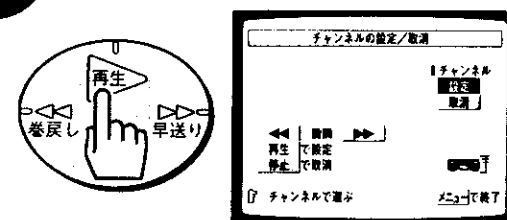
ふたを開けた状態

ふたを閉じた状態

チャンネルを微調節する

❶ 映りの悪いチャンネルを選ぶ

❷「チャンネルの設定／取消」画面を出す

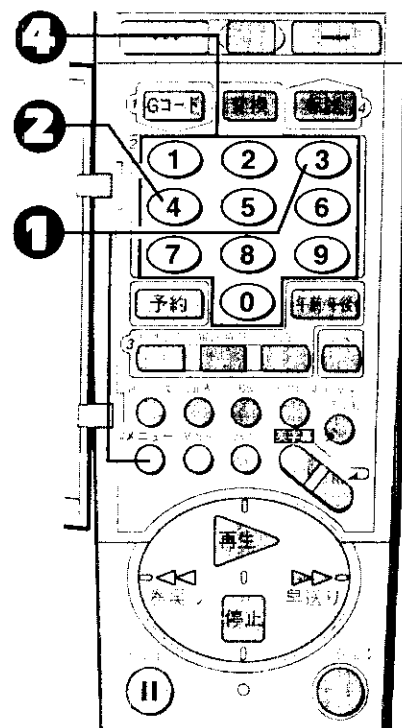
※前ページ❶、❷の操作をしてください。

❸ 画像を見ながら早送り、巻戻しボタンで調節する

※一度、早送りまたは巻戻しボタンを押すと画像が現れます。画像が最もよく映るように調節してください。

❹ 再生ボタンを押す

これで、微調節ができました。
続けて他のチャンネルも微調節したいときは、❶〜❹を繰り返してください。
メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

受信チャンネルを合わせる(つづき)

お住いの地域により、チャンネル表示がテレビ番組表の数字と違うことがあります。このとき、次のようにして、数字を合わせることができます。

- チャンネル表示を変えることができるのは、VHF放送(1～12チャンネル)とUHF放送(13～62チャンネル)だけです。BS放送やCATVのチャンネル表示を変えることはできません。
- 録画中や再生中、外部入力が選んであるときは、下記の操作をしても「チャンネル表示の設定」画面を出すことはできません。

ふたを開けた状態

ふたを閉じた状態

受信チャンネルの表示を変える

チャンネル表示「60CH」を「4CH」に変えたいとき

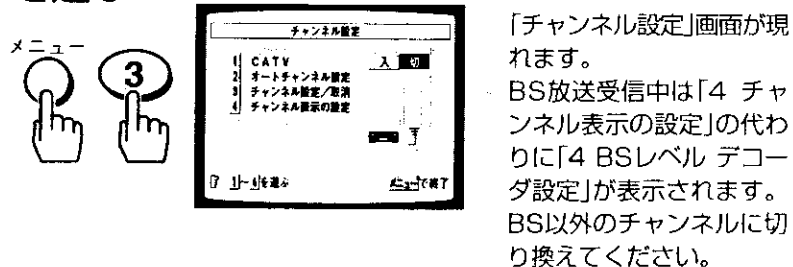
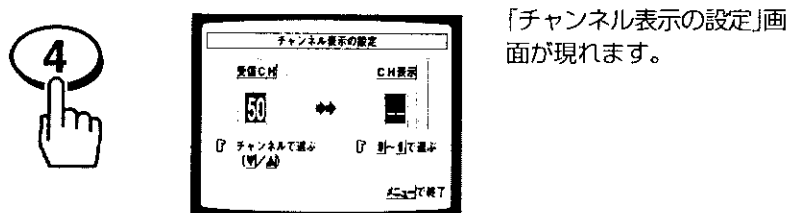
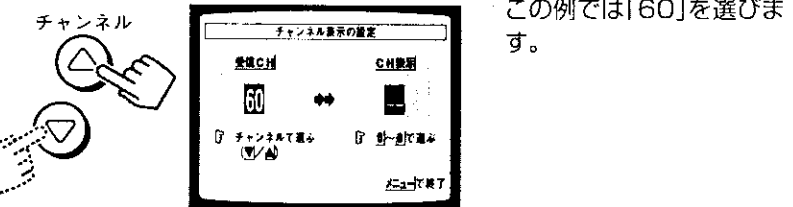
1 「メニュー画面」を出し「3チャンネル設定」を選ぶ

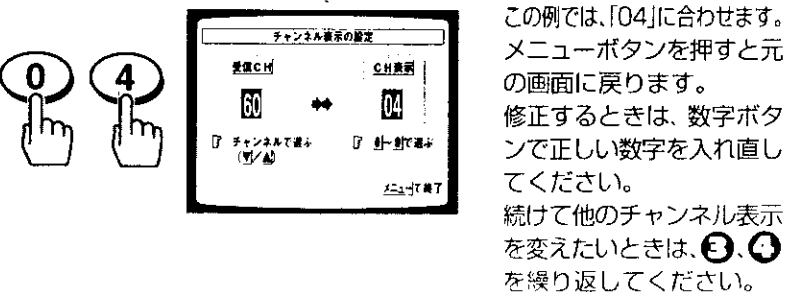
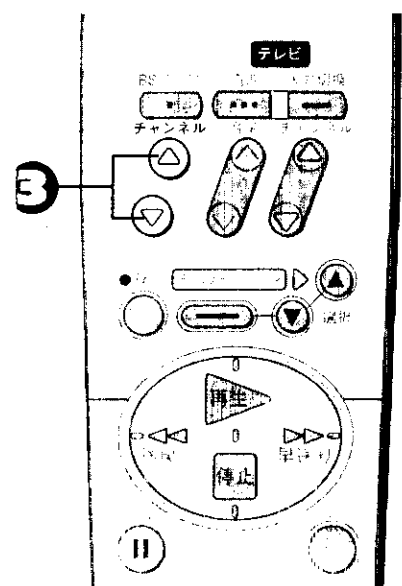
「チャンネル設定」画面が現れます。
BS放送受信中は「4 チャンネル表示の設定」の代わりに「4 BSレベル デコーダ設定」が表示されます。BS以外のチャンネルに切り換えてください。

2 4ボタンを押す

「チャンネル表示の設定」画面が現れます。

3 変えたいチャンネルを選ぶ

この例では「60」を選びます。

4 0～9ボタンで設定したいチャンネルの表示を選ぶ

この例では、「04」に合わせます。
メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。
修正するときは、数字ボタンで正しい数字を入れ直してください。
続けて他のチャンネル表示を変えたいときは、❸、❹を繰り返してください。

CATV(ケーブルテレビ)をご使用のとき

CATVのチャンネルを設定する

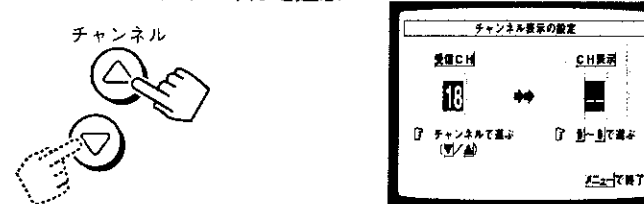
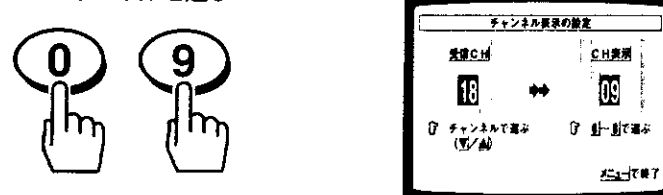
本機はVHF放送(1～12チャンネル)、UHF放送(13～62チャンネル)のほかにCATV(13～63チャンネル)の受信が可能です。
CATVを設定するときは次のようにします。

1. 84ページの❶、❷の操作で「チャンネル設定」画面を出す
2. 1ボタンを押して「1 CATV」を[入]にする
3. 「チャンネルを設定する」(84ページ)に従って受信オートチャンネル設定する
   VHFチャンネル(1～12) → UHFチャンネル(13～62) → CATVチャンネル(C13～C63)の順で、CATVも設定されます。

CATVのチャンネルを設定したとき

CATVのチャンネルを設定したとき、チャンネルボタンを使うと全部のチャンネルが選局できますが、リモコンの0～9ボタンで13～63チャンネルを選ぶとCATVが選局され、UHF放送の13～62チャンネルは選局できなくなります。
リモコンの0～9ボタンで全部のチャンネルを選局するには、前ページの❶～❹の操作で、UHF放送のチャンネル表示を空いているチャンネルの数字に変えてください。

たとえば UHF放送の18チャンネルの表示を、空きチャンネル9に変えるには

1. 88ページの❶、❷の操作で「チャンネル表示の設定」画面を出す
2. チャンネルボタンでUHF18チャンネルを選ぶ

3. 0～9ボタンで9チャンネルを選ぶ

4. メニューボタンを押す
   これで、0ボタン、9ボタンと押すと、UHF18チャンネルが選局できます。

お知らせ

CATVの受信契約について
CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との加入手続が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、アダプターが必要になります。
詳しくは、CATV会社にご相談ください。CATVの受信はサービスの行われている地域のみ受信可能です。

- お住まいの地域によっては、0～9ボタンで全部のチャンネルを選局できないことがあります。

設置・準備

時計を合わせる

はじめにリモコンの時計を合わせたあと、ビデオの時計を合わせてください。

- 操作を約1分以上中断すると、リモコンの時計設定表示は消えます。
  このときは、もう一度時計ボタンを押してやり直してください。

お	知	ら	せ

時計を合わせている途中で修正するとき
修正ボタンを繰り返し押して、修正したいところまで点滅を戻して行ってください。

たとえば 西暦1996年11月5日午前8時20分に合わせるとき

❶ 時計ボタンを押す

- 年「ー」が点滅します。

❷ 年を西暦で合わせる

- 西暦の下2けたを合わせてください。
- 2000年は00に合わせてくだい。

❸ 月・日を合わせる

- ひとけたの数字を合わせるときは、初めに0ボタンを押してください。
- 曜日は自動的に設定されます。

❹ 午前・午後を合わせる

- 押すたびに「午前」と「午後」が切り換わります。

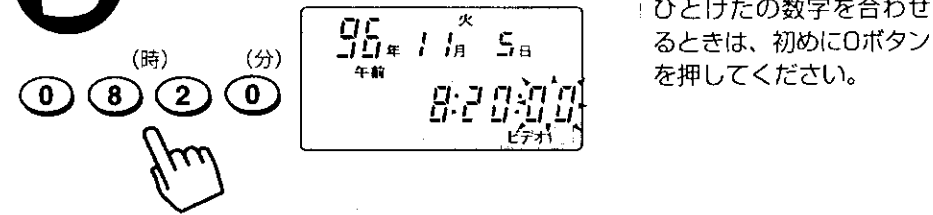
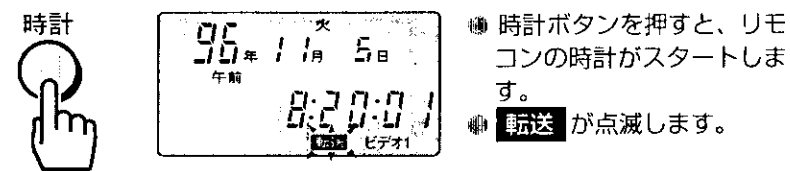
❺ 時刻を合わせる

ひとけたの数字を合わせるときは、初めに0ボタンを押してください。

❻ 時報などに合わせて時計ボタンを押す

- 時計ボタンを押すと、リモコンの時計がスタートします。
- 転送 が点滅します。

❼ リモコンをビデオに向けて転送ボタンを押す

- ビデオの時計がスタートします。
- 転送したら、リモコンのふたを閉じてください。

時計の修正

■リモコンの時計の修正

電池を換えたときは、リモコンの時計を合わせ直してください。
合わせた時計を修正したいとき
1 時計ボタンを押して時計を表示させる。
2 修正ボタンを繰り返し押して、修正したいところを点滅させる。
3 手順❷～❺を参考にして、日付または時刻を修正する。
4 時計ボタンを2回押す。

■ビデオの時計の修正

60分以上の停電により、ビデオの時計が「－－：－－」と表示されたときは、上記の手順❻ ❼を行ってリモコンの時計をビデオに転送してください。

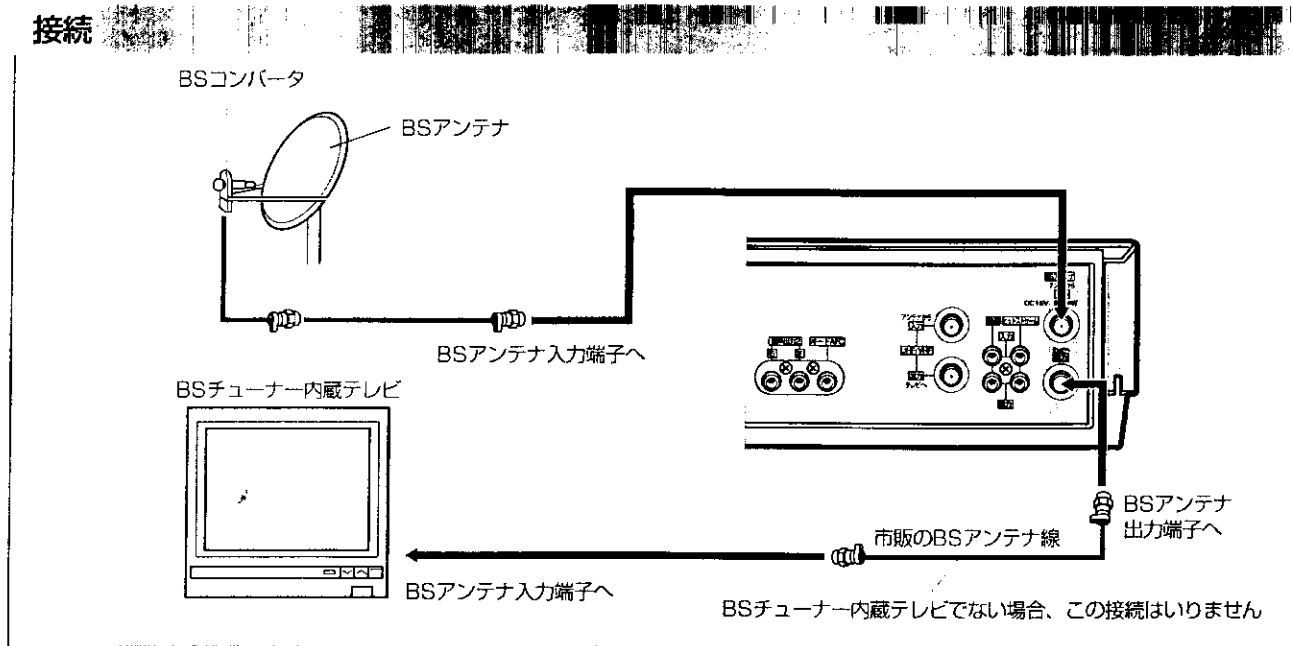
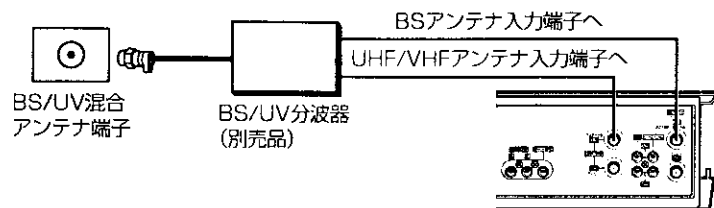
お	知	ら	せ

ジャストクロックについて
本機にはジャストクロック機能が付いています。ジャストクロック機能を使うには、52ページの「ビデオの機能を画面で選ぶ(お好みセレクト)」の「1 オート時計設定」を[入]にしてください。
1日に1または2回(午前7時、午後0時)、NHK教育テレビまたはNHK総合テレビの時報を受信して、自動的に時計を修正します。
ただし、**次のような場合、ジャストクロックは働きません。**
- ビデオの時計が現在時刻と3分以上ずれているとき
- 時報の時刻にビデオの電源が入っているとき
- ビデオの受信チャンネルにNHK教育テレビおよびNHK総合テレビが設定されていないとき
- 初めてジャストクロック機能が働いたとき、NHK教育テレビまたは、NHK総合テレビを選ぶまで時間がかかり、数回、時計を修正できないことがあります。

BSアンテナをつなぐ

BS放送を楽しむとき、BS アンテナを接続します。
BSアンテナをつないでから、93ページをご覧になってBSアンテナ電源を切り換えてください。そのあと、94ページをご覧になってBSアンテナの方向を調整してください。

重要
- BS放送は電波が微弱なため、アンテナやBSコンバータの正確な調整が必要です。
  できるだけ、販売店へ据付けを依頼することをおすすめします。
- BSアンテナを接続するときは、安全のため必ず本機の電源を切ってください。

接続

■マンションなど共聴アンテナを使うとき
BS放送とUHF/VHF放送が1本の線にまとめて、各部屋に送られていることがあります。
この場合は、BS分波器(別売り)が必要です。

BSアンテナ電源の切り換えは、BSコンバータへの電源供給(+15V)をコントロールするための設定です。接続する機器に合わせてBSアンテナ電源を切り換えてください。

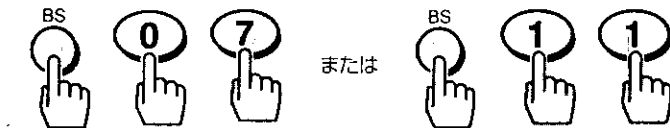
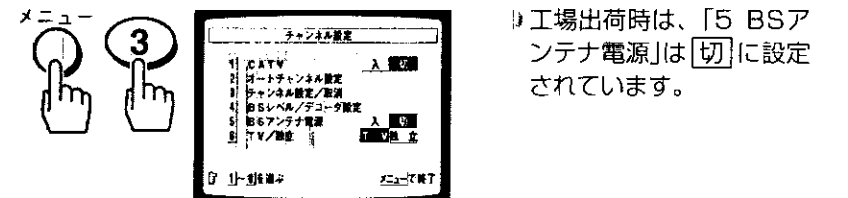
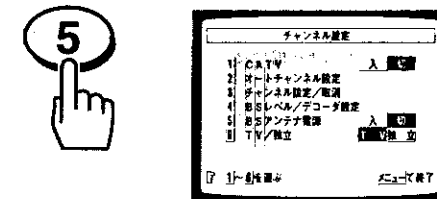
BSアンテナ電源の切り換え

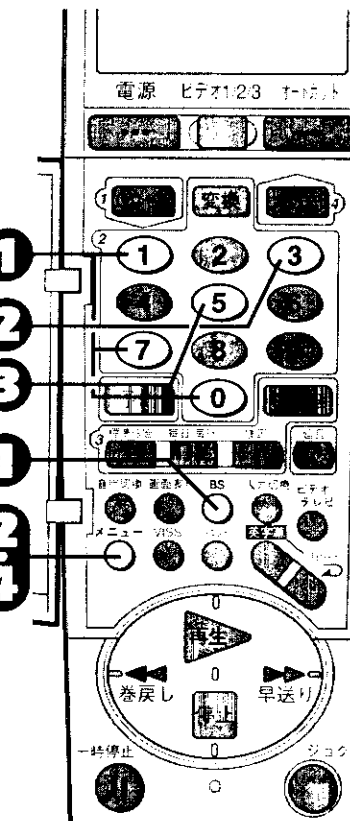
テレビで
- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

ビデオで
- ビデオの電源を入れる

❶ BS7かBS11チャンネルを選ぶ

❷ 「メニュー」画面を出し「3 チャンネル設定」を選ぶ

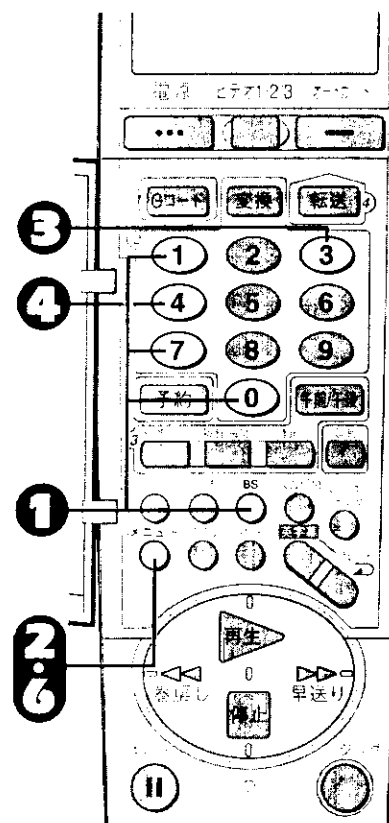
- 工場出荷時は、「5 BSアンテナ電源」は 切 に設定されています。

❸ 5ボタンを押して「5 BSアンテナ電源」を 入 または 切 に切り換える

BSアンテナ電源	接続	電源供給
入	BSアンテナが本機専用の場合	本機の電源が切れても、常にBSコンバータに電源が供給されます。
切	テレビ共同受信設備(マンションなど)のアンテナ引き込み線と接続する場合	—

❹ 設定が終わったらメニューボタンを押す

お知らせ

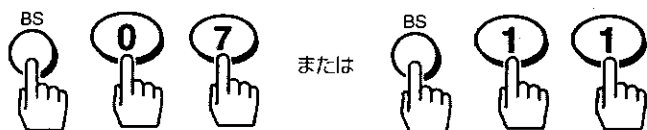
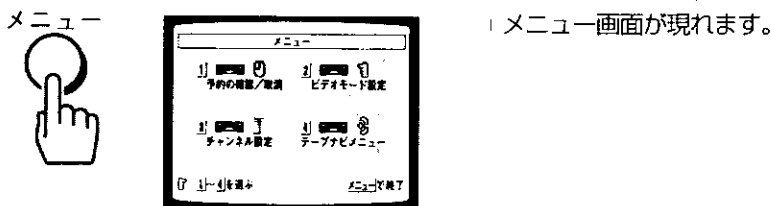
接続した機器のBSアンテナ電源の切り換えについて
- 本機のBSアンテナ電源の切り換えが 入 のときは、他のBS受信機は「切」に設定してください。

BSアンテナの方向を調整する

BSアンテナの方向は正確な調整が必要です。
できるだけ据付けは販売店に依頼することをおすすめします。ご自分で据付けるときは、次の方法で調整してください。

重要
- BSアンテナ、テレビ、ビデオが正しく接続されているか確認してください。
- BSアンテナの据付けについては、BSアンテナの取扱説明書をご覧ください。

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

- ビデオの電源を入れる
- BSアンテナ電源の設定を正しく切り換える(93ページ参照)

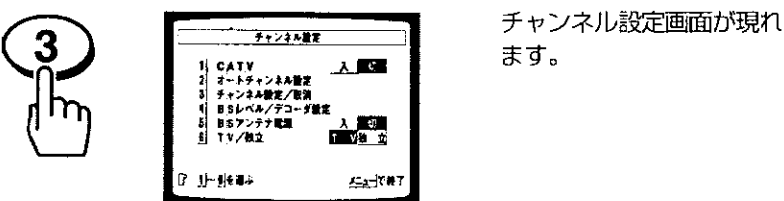
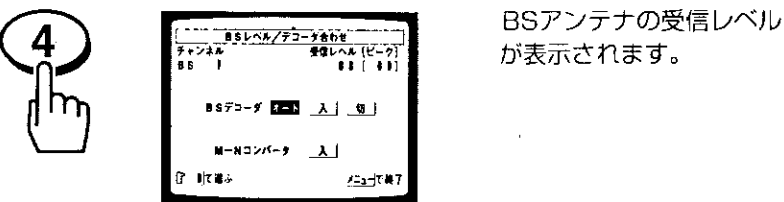
1 BS7かBS11チャンネルを選ぶ

または
2 メニューボタンを押す

メニュー画面が現れます。

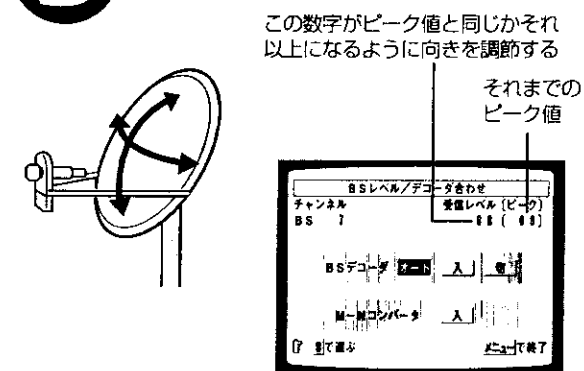
3 3ボタンを押す

チャンネル設定画面が現れます。

4 4ボタンを押す

BSアンテナの受信レベルが表示されます。

お知らせ

チャンネル設定画面について

BSチャンネル以外を選んだ状態でチャンネル設定画面を出すと、「4 チャンネル表示の設定」が現れます。

5 アンテナの向きを調整する

- テレビの映りを見ながら、数値が最大になるように調整してください。一度上下、左右いっぱいにアンテナを動かして受信レベルの最大値を見つけ、その位置に合わせるのがコツです。
- 左のイラストに示す受信レベルは、説明のための数字です。

6 調整が終わったらメニューボタンを押す

お知らせ

アンテナ受信レベルについて

- 受信レベルはアンテナの大きさや種類、また雨や雪などの気象条件に影響を受け、数値は時間によって増えたり、減ったりすることがあります。画面がきれいに映るように調整すれば大丈夫です。
- アンテナによっては、オートチャンネル設定したあと微調節をしないと、映像がきれいに映らないことがあります。87ページを参照のうえ、微調節をしてください。

有料の衛星放送(BS5チャンネル)を楽しむ

JSB(日本衛星放送株式会社)の有料放送(BS5チャンネル)を見るには、JSBとの受信契約と専用のBSデコーダが必要です。

重要
- VHF/UHFアンテナの接続については78〜79ページ、BSアンテナの接続については92ページをご覧ください。

BSデコーダをつなぐ

ふつうのテレビ(BSチューナーを内蔵していないテレビ)との接続

＊テレビにS映像入力端子があるとき接続してください。

BSチューナー内蔵テレビとの接続

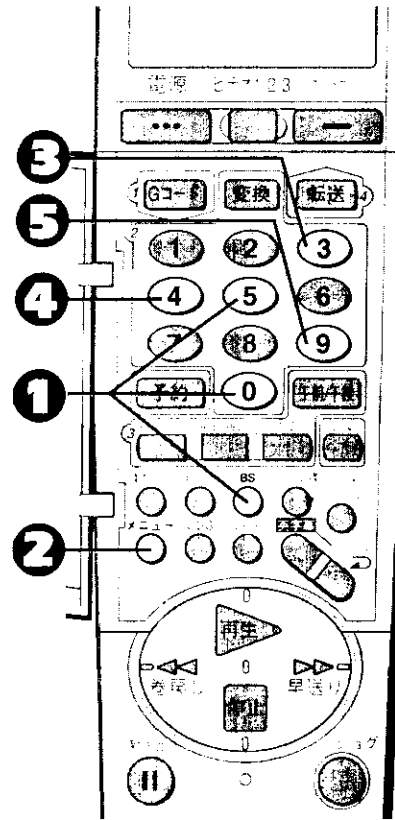
＊テレビにS映像入力端子があるとき接続してください。

有料の衛星放送(BS5チャンネル)を楽しむ(つづき)

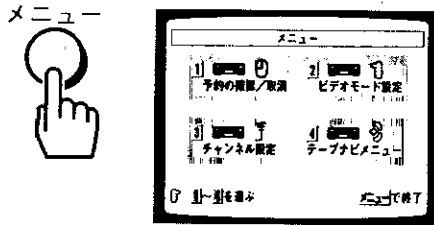
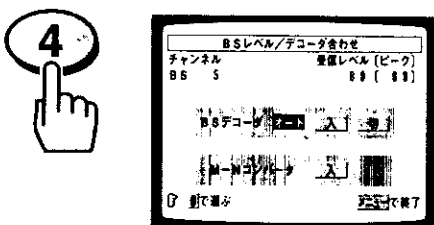
本機にBSデコーダを接続してJSB(BS5チャンネル)を選ぶと、スクランブルが解除された映像を見ることができます。もし、画像が乱れていたり、きれいに映らないときは、下記の方法でJSB(BS5チャンネル)を設定してください。

お知らせ

チャンネル設定画面について

BSチャンネル以外を選んだ状態でチャンネル設定画面を出すと、「4 チャンネル表示の設定」が現れます。

JSB (BS5チャンネル)を見るための設定

1 BS5チャンネルを選ぶ

2 メニューボタンを押す

メニュー画面が現れます。

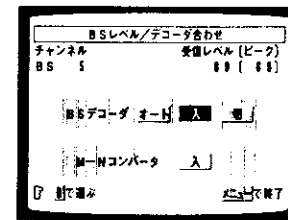
3 3ボタンを押す

「チャンネル設定」画面が現れます。

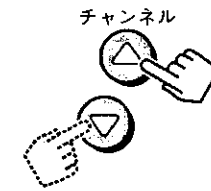
4 4ボタンを押す

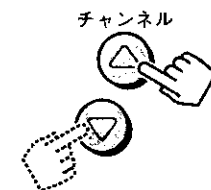
「デコーダ設定」画面が表示されます。

重要 • 「BSデコーダ」[入]を選んだときは、必ずBSデコーダの電源を[入]にしてください。
BSデコーダの電源が「切」になっていると、[入]と選択されたBSチャンネルを見ることができません。

5 9ボタンを押して「BSデコーダ」を[入]にする

終わったらメニューボタンを押すと、元の画面に戻ります。

JSB(BS5チャンネル)を見る

1. ビデオの電源を入れ、BS5チャンネルを選ぶ
2. BSデコーダの電源を入れる
   • 番組を見ながら録画するときは、本機の録画ボタンを押してください。

ビデオでNHKのBS放送(BS7、BS11チャンネル)を録画しながら、JSB(BS5チャンネル)を見る(BSチューナー内蔵テレビのみ)

1. ビデオでBS7またはBS11チャンネルを選ぶ
2. 本機の録画ボタンを押す
3. BSデコーダの電源を入れる
4. BSチューナー内蔵テレビでBS5チャンネルを選ぶ
   • ビデオの電源を入れずにJSBをご覧になるときは、3、4の操作をしてください。

お知らせ

BS5チャンネルをタイマー録画するとき
タイマー予約したあと、BSデコーダの電源を入れたままにしてください。

St. GIGAを聞くとき
St. GIGAは、SDAB(衛星デジタル音楽放送(株))の有料独立音声放送です。St. GIGAを聞くにはSDABとの受信契約が必要です。

独立音声を聞くとき
BSデコーダの電源を入れたあとで、BSデコーダの音声選択ボタンで独立音声を選んでください。

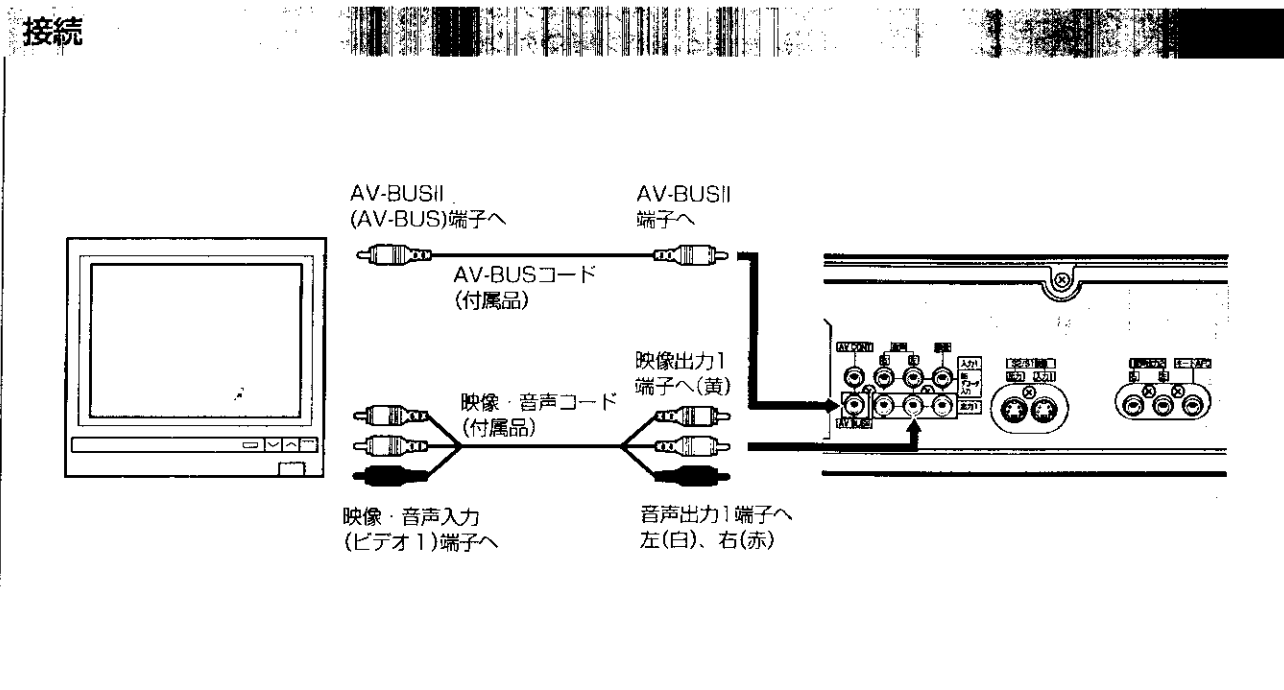
AV-BUSII端子、AVコントロール端子を使う

当社製のテレビには、AV-BUSII(AV-BUS)端子またはAVコントロール端子がついているものがあります。これらの端子とビデオのAV-BUSII端子またはAV CONT(AVコントロール)端子とつなぐと、ビデオの操作でテレビをコントロールできます(テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください)。

重要

- AV-BUSII端子またはAV CONT(AVコントロール)端子を使うときは、ビデオチャンネル切換ボタンを必ず「RF-OFF」にしてください(83ページ)。
- AV-BUSII端子またはAV CONT(AVコントロール)端子には、映像・音声コードなどを接続しないでください。

AV-BUSII 端子と接続する

接続

お知らせ

テレビの「見テ・録」機能について

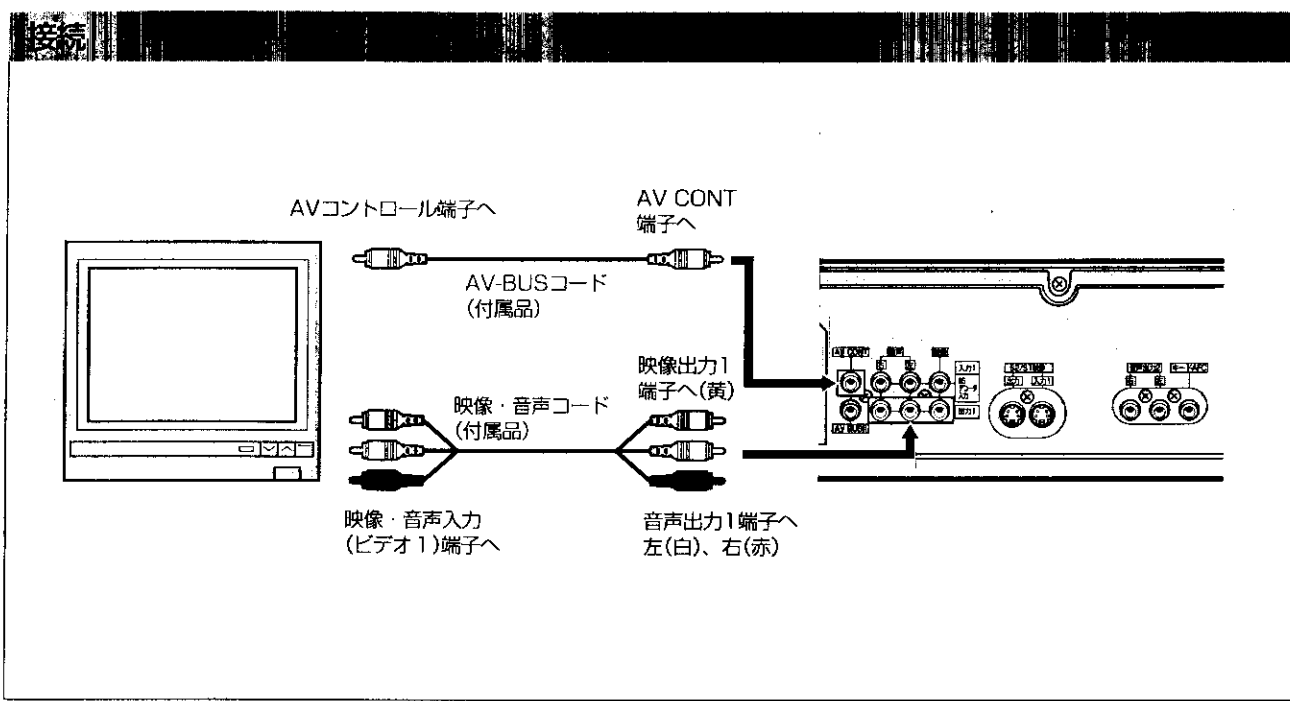
本機には「見テ・録」機能はありませんので、AV-BUS端子付きテレビの見テ・録ボタンを押しても、本機は動作しません。

テレビをコントロールする

ビデオの操作に応じてテレビの電源や入力を自動的に切り換えることができます。
テレビの電源を「入」または「スタンバイ」にしてからビデオを操作してください。

ビデオの操作	テレビの動作
再生を始める	テレビの電源が自動的に入り、入力切換が「ビデオ」になる
ビデオ/テレビ切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ	
ビデオ/テレビ切換ボタンで「テレビ」を選ぶ	入力切換が自動的に「テレビ」になる(テレビの電源は切れません)
ビデオの電源を切る	

AV CONT(AVコントロール)端子と接続する

接続

テレビをコントロールする

ビデオの操作に応じてテレビの入力を自動的に切り換えることができます。
テレビの電源を「入」にしてからビデオの操作をしてください。

ビデオの操作	テレビの動作
再生を始める*1	入力切換が自動的に「ビデオ」になる
ビデオ/テレビ切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ	
ビデオ/テレビ切換ボタンで「テレビ」を選ぶ	入力切換が自動的に「テレビ」になる
ビデオの電源を切る	

*1 ビデオが「テレビ」モードのとき(ビデオの表示窓に「ビデオ」が表示されていないとき)のみ、テレビが切り換わります。

ハイビジョン放送を楽しむ（MUSE-NTSC 内蔵ワイドテレビを使用）

MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビやMUSE-NTSCコンバータと接続すると、ハイビジョン放送(BS 9チャンネル)を録画・再生できます。

重要
- BSアンテナの接続とBSアンテナ電源の切り換えについては92、93ページ、アンテナ線の接続については78～82ページをご覧ください。
- ハイビジョン放送(BS 9チャンネル)の設定を確認してください。(106ページ)

MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビをつなぐ

接続

＊映像プラグ(黄)の接続は不要です。

お知らせ

ハイビジョン放送について

本機は、ハイビジョン放送(画面比率16：9)を、画面比率4：3に変換してテープに記録します。

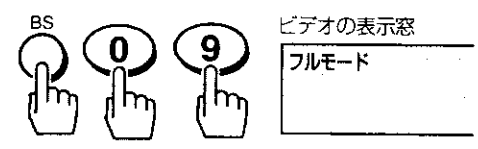
記録したテープを再生したとき、テレビで16：9に変換することができます。

BSデコーダを接続するときは96ページをご覧ください。MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビは、BSチューナーを内蔵しています。

テレビの取扱説明書もよくお読みください。

ハイビジョン放送を見る・録画する

1 テレビのチャンネルボタンでBS 9チャンネルを選ぶ

2 ビデオでBS 9チャンネルを選ぶ

ビデオの表示窓

フルモード

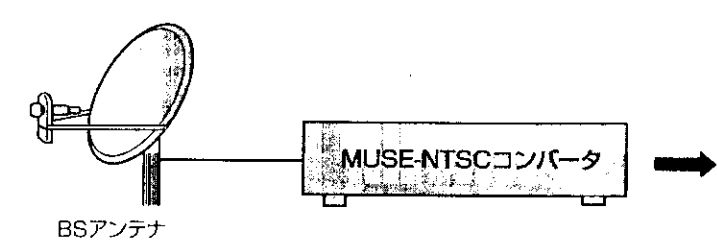
ハイビジョン放送の画面がテレビに現れます。ビデオの表示窓に「フルモード」表示が現れます。

3 録画するときは、録画ボタンを押す

本機にMUSE-NTSCコンバータとBSデコーダの両方を接続すると、ハイビジョン放送(BS9チャンネル)とJSBのBS5チャンネルの録画・再生ができます。(104、105ページの接続例をご覧下さい。)

映像の画面比率について

MUSE-NTSCコンバータを使うと、ハイビジョン放送を3つの画面に変換できます。お手持ちのテレビで楽しむことができます。

ハイビジョン放送(MUSE)
[画面比率16：9]

1 フルモード[画面比率4：3]

ハイビジョン画像がすべて映ります。縦方向に伸びた絵になります。

2 ワイドモード[画面比率4：3]

ハイビジョン画像がすべて映ります。上下に黒い帯が出ます。

3 ズームモード[画面比率4：3]

ハイビジョン画像の中央部分が映ります。

ハイビジョン放送を楽しむ(MUSE-NTSC コンバータを使用)(つづき)

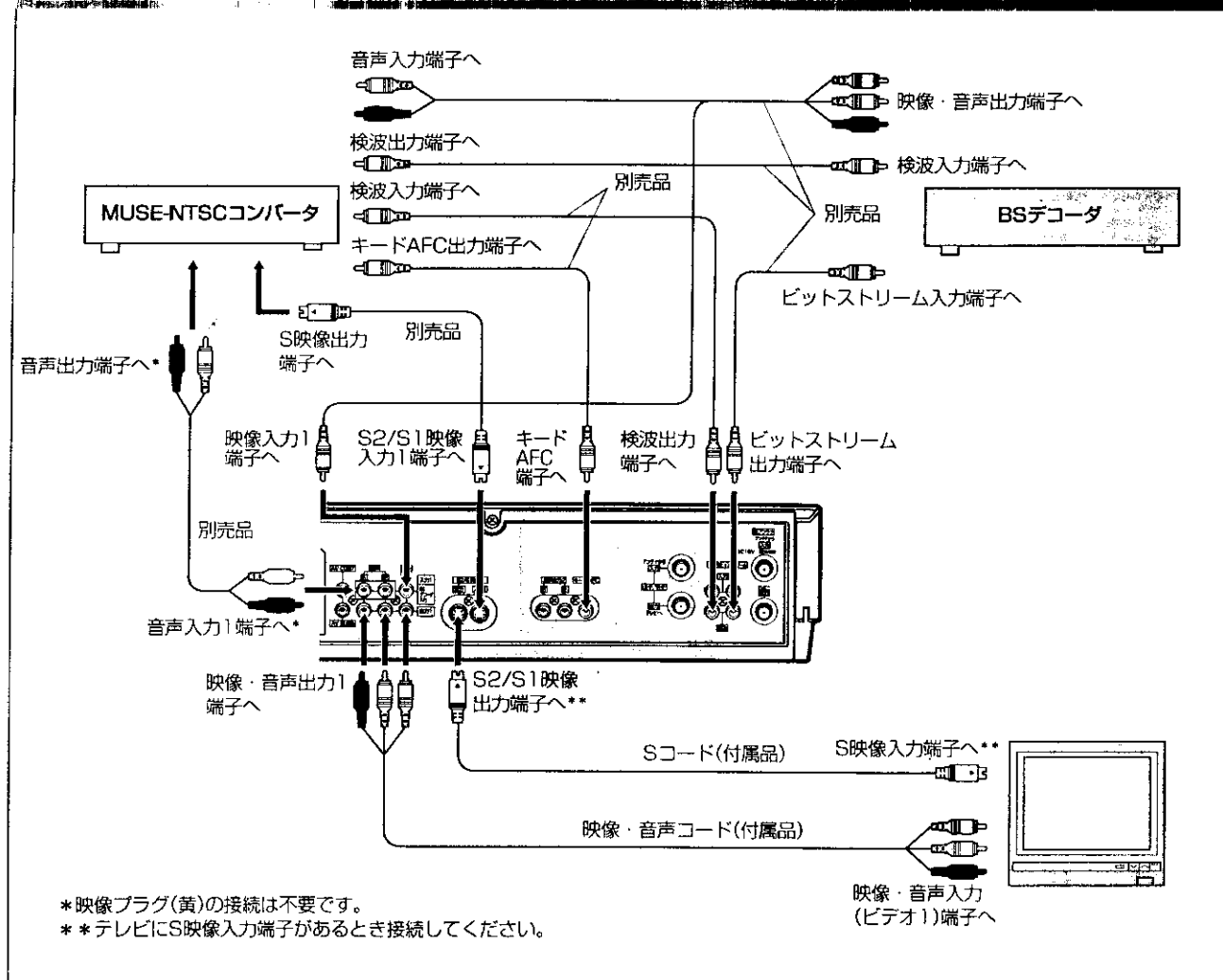
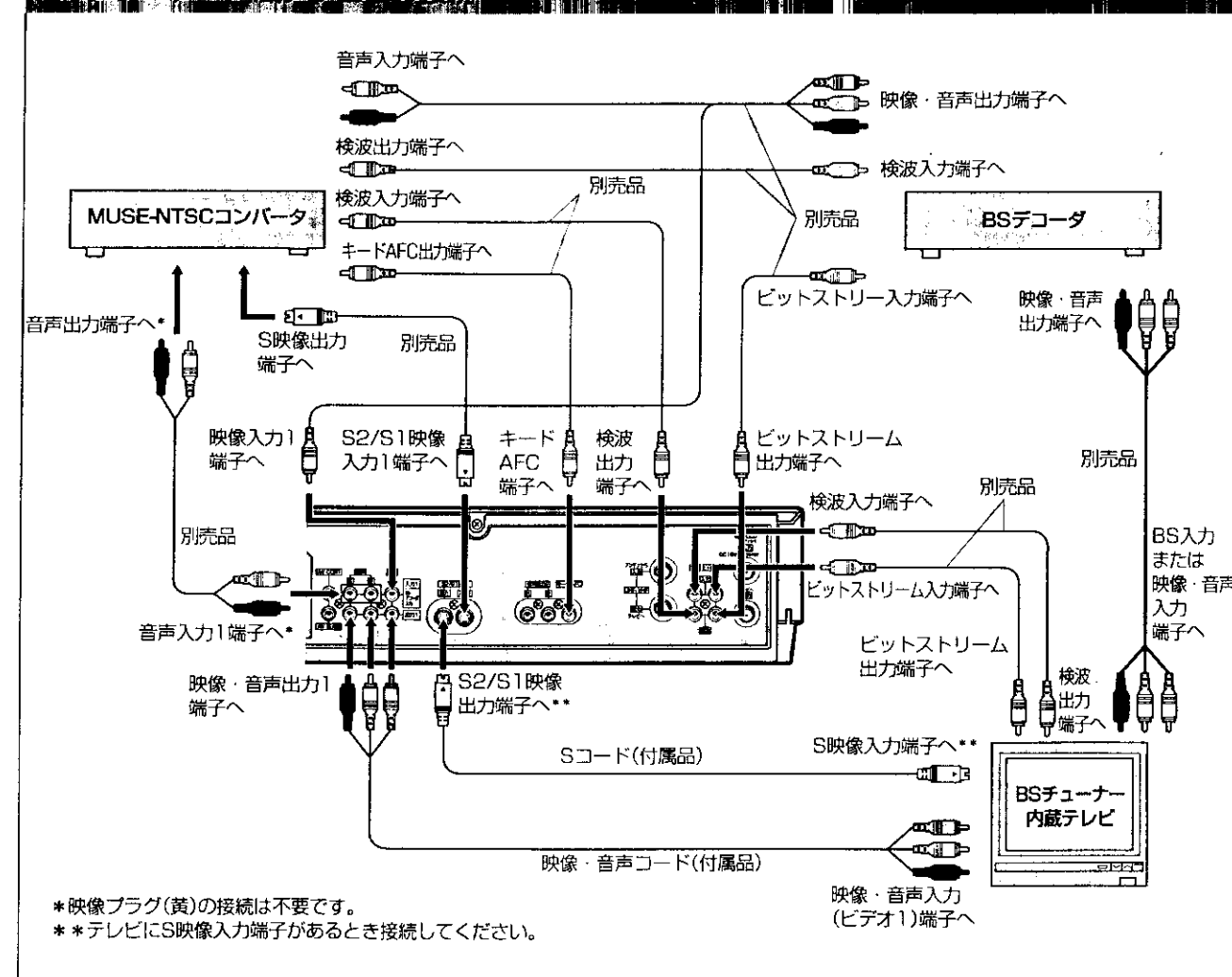
- VHF/UHFアンテナの接続については78～79ページ、
BSアンテナの接続については92ページをご覧ください。
- BSチューナー内蔵テレビとの接続のときは、BS放送を見ながら他のBS放送を録画することができます。
たとえばJSBのBS5チャンネルを見ながらNHKのBS放送を録画することができます。

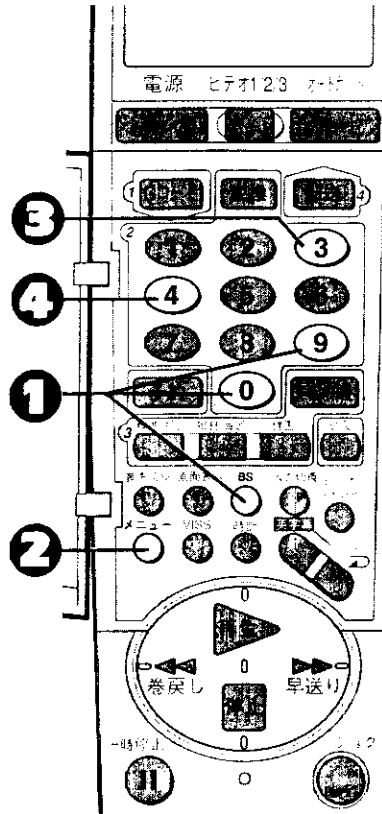
MUSE-NTSCコンバータをつなぐ

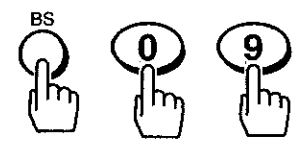
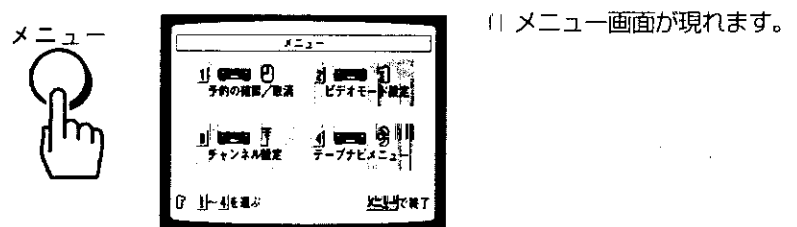
ふつうのテレビ(BSチューナーを内蔵していないテレビ)との接続

＊映像プラグ(黄)の接続は不要です。
＊＊テレビにS映像入力端子があるとき接続してください。

BSチューナー内蔵テレビとの接続

＊映像プラグ(黄)の接続は不要です。
＊＊テレビにS映像入力端子があるとき接続してください。

ハイビジョン放送を楽しむ(MUSE-NTSCコンバータを使用)(つづき)

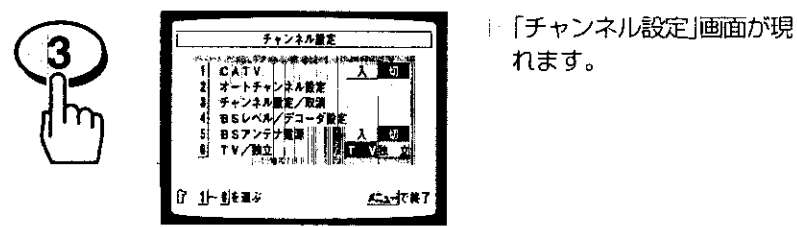
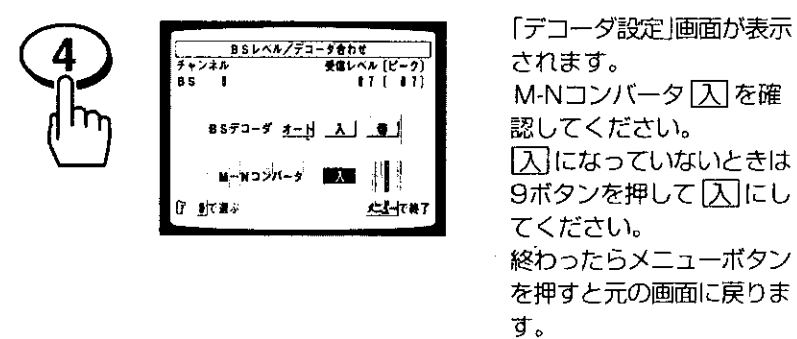
下記の方法で、BS 9チャンネルを見るための設定をしてください。

ハイビジョン放送(BS 9チャンネル)を見るための設定

1 BS9チャンネルを選ぶ

2 メニューボタンを押す

メニュー画面が現れます。

3 3ボタンを押す

「チャンネル設定」画面が現れます。

4 4ボタンを押す

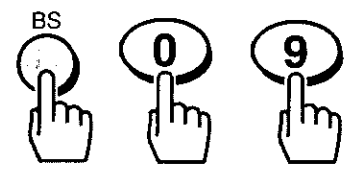
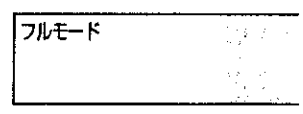
「デコーダ設定」画面が表示されます。
M-Nコンバータ 入 を確認してください。
入 になっていないときは9ボタンを押して 入 にしてください。
終わったらメニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

お知らせ

チャンネル設定画面について

BSチャンネル以外を選んだ状態でチャンネル設定画面を出すと、「4 チャンネル表示の設定」が現れます。

ハイビジョン放送を見る・録画する

1 テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

2 ビデオでBS 9チャンネルを選ぶ

3 MUSE-NTSCコンバータで画面を選ぶ

フルモード

フルモード画面を選んだときやその画像を記録したテープを再生すると、自動的にワイドテレビの画面(16：9)に引き延ばされた画像が映ります。
このときビデオの表示窓に「フルモード」表示が現れます。

4 録画するときは、録画ボタンを押す

お知らせ

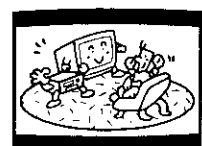
- テープに記録される画像はMUSE-NTSCコンバータで選んだ画面となります。
- MUSE-NTSCコンバータの取扱説明書もよくお読みください。

ワイドクリアビジョン放送を見る

ワイドクリアビジョン放送は、VHF/UHF放送で放送されています。
本機は、このワイドクリアビジョン放送の識別信号を録画、再生できます。
S2映像入力端子付きのワイドテレビをつなぐと、ワイドクリアビジョン放送や録画したワイドクリアビジョン放送の映像を、自動的に16：9のワイド画面で見ることができます。

ワイドクリアビジョン放送と映像の画面比率について

放送局がワイドクリアビジョン放送を送信する

映像全体の画面比率は4：3で上下に黒帯がつきます。映像部分は16：9です。

本機がワイドクリアビジョン放送を受信する

録画時は、ワイドクリアビジョン放送であることを識別して記録します。

ワイドクリアビジョン放送を見たときまたは、ワイドクリアビジョン放送を録画したテープを再生したときの映像

■ S2映像入力端子付きワイドテレビで見たとき

画面比率16：9

● 左右または上下に伸びることなく、映像部分を自動的に拡大し、臨場感のある映像が映ります。

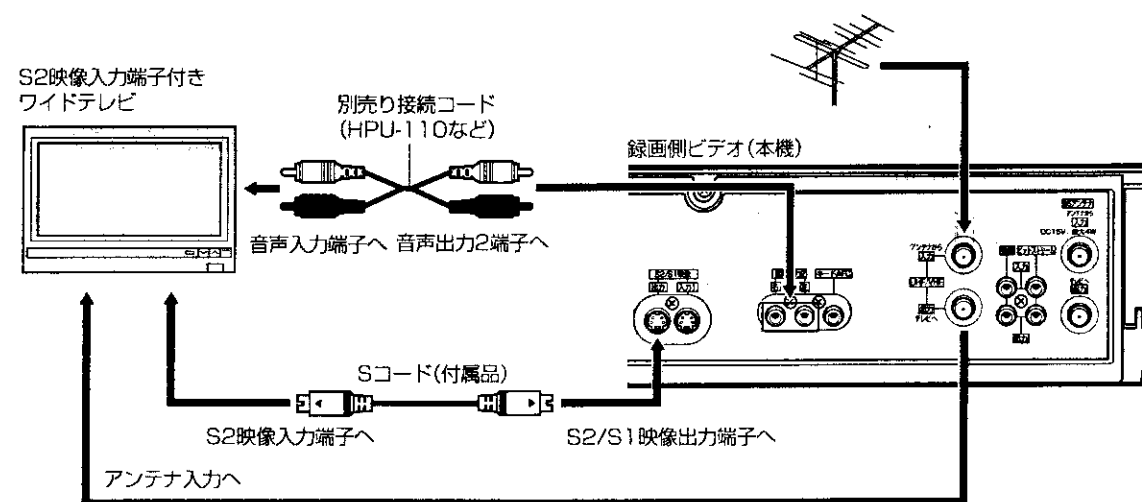
■ 従来の4：3テレビで見たとき

● 上下に黒帯がついた映像が映ります。

お　知　ら　せ

S2端子がついていないワイドテレビでも、テレビのワイド機能を使って見ていると、自動的に拡大した映像が映ります。(テレビによっては、16：9のワイド画面の映像をぴったり映すことができません。)
テレビにより横長の画像になったり、黒帯が出たときは、メニュー画面の「6 S2」を[切]にしてください(110ページ参照)。
テレビの取扱説明書もよくお読みください。

S2映像入力端子付きワイドテレビと接続する

接続

●VHF/UHFアンテナの接続については78ページをご覧ください。

お　知　ら　せ

● ワイドクリアビジョン放送の識別信号は、本機のS2/S1映像出力端子からのみ出力します。
● 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

ワイドクリアビジョン放送を見る(つづき)

- 本機とS映像端子またはS1映像端子付きテレビを接続しているとき、テレビの映像が横方向に伸びることがあります。
  このようなときは、メニュー画面の「6 S2」を 切 にしてください。
- お手持ちのテレビによっては、メニュー／テープナビ／VISS画面などに表示された文字の一部が欠けることがあります。

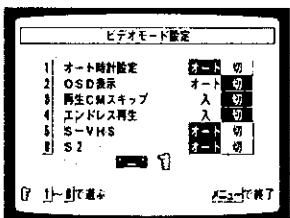
ワイドクリアビジョン放送を見るための設定

❶ メニューボタンを押す

メニュー画面が現れます。

❷ 2ボタンを押す

お好みセレクト(ビデオモード設定)の画面が現れます。

❸ 6ボタンを押して「6 S2」を[オート]にする

オート	：本機で受信したチャンネルや再生するテープに、ワイドクリアビジョン放送の識別信号があるかどうか自動判別し、テレビへ出力します。
切	：ワイドクリアビジョン放送の識別信号をテレビへ出力しません。お持ちのテレビが、S2映像入力端子付きテレビでない場合は「切」にしてください。

❹ 設定が終わったらメニューボタンを押す

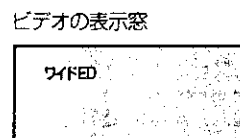
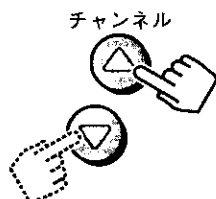
お知らせ

S2の設定は、工場出荷時は 切 になっています。

- お手持ちのテレビによってはワイドクリアビジョン放送識別信号の自動判別に、時間がかかることがあります。またメニュー画面にしたときや、テープナビゲーションを使っているときは、表示された文字の一部が欠けることがあります。

ワイドクリアビジョン放送を見る・録画する

1 テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

2 ビデオでチャンネルボタンを押してワイドクリアビジョン放送を選ぶ

ビデオの表示窓に「ワイドED」が表示され、ワイドクリアビジョン放送を受信していることを示します。

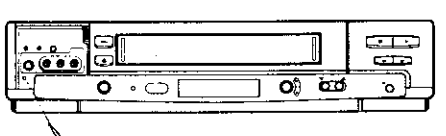
3 録画するときは、録画ボタンを押す

テープにワイドクリアビジョン放送の識別信号が記録されます。

お知らせ

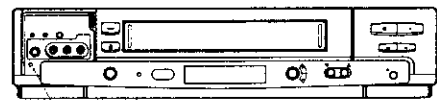
テレビのワイドクリアビジョン放送識別信号の出力について

次の場合はテレビへワイドクリアビジョン放送の識別信号を出力しません。
- メニュー画面の「6 S2」を 切 に合わせているとき。
- クローズド・キャプション機能を使っているとき。

「ワイドED」表示について
- メニュー画面の「6 S2」を 切 に合わせているときは、ビデオの表示窓に「ワイドED」が表示されても、ワイドクリアビジョン放送の識別信号はテレビへ出力されません。
- メニュー画面の「6 S2」を 切 に合わせてワイドクリアビジョン放送を録画したテープを再生したときは、ビデオの表示窓に「ワイドED」は表示されません。
- ワイド画面で再生しているときに、3次元ワイドポジションボタンを押してボタンを点灯させると、画面のノイズをおさえ輪郭を強調します。(28ページ参照)。

故障かな…と思ったら

下記のことをお調べのうえ、それでも具合の悪い場合はご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、アフターサービスについては、118ページをご覧ください。

	症状	原因	処置	参照ページ
電源	ビデオの電源ボタンを押しても電源が入らない。	● 電源コードがコンセントに接続されていない。	● 電源コードをコンセントに接続してください。	—
電源	リモコンでビデオの操作ができない。	● 乾電池が古くなっている(約半年が目安です)。	● 乾電池を交換してください。	21
		● 乾電池を交換したときに、電源ボタンを10秒間押さなかった。	● 電源ボタンを10秒間押してから、新しい乾電池を入れてください。	21
		● リモコン切換ボタンで[R-2]または[R-3]に合わせている。	● リモコン切換ボタンで[R-1]に合わせるか、または、ビデオ1/2/3切換ボタンを押してリモコンの表示窓に「ビデオ2」または「ビデオ3」を表示してください。	70
		● リモコンの表示窓に「ビデオ2」または「ビデオ3」を表示している。	● ビデオ1/2/3切換ボタンを押してリモコンの表示窓に「ビデオ1」を表示してからリモコンを使用してください。	22
電源	リモコンの時計が"－－：－－"表示になる。リモコンの表示窓が誤表示する。	● 乾電池が古くなっている。	● 乾電池を交換してください。	21
電源	ビデオの操作ができない。	● 各種安全装置が働いている。	● 電源コードを一度コンセントから抜き、再度コンセントに入れたあと、電源を入れてください。	—
電源	リモコンでテレビの操作ができない。	● テレビコードが合っていない。	● テレビコードを正しく合わせてください。	71
テープ	巻戻し、早送りができない。	● テープが最初または最後まで巻き取られている。	● テープを確認してください。	—
テープ	テープが取り出せない。	● 各種安全装置が働いている。	● リセットスイッチをつまようじなどで押してください。それでも取り出せないときは、一度電源コードをコンセントから抜き、再度コンセントに入れてください。 リセットスイッチ	—
録画	テレビ番組の録画ができない。	● アンテナ線の接続が正しくない。	● アンテナ線を正しく接続してください。	78
		● 受信チャンネルの調整がずれている。	● 受信チャンネルを正しく調整してください。	84
録画	録画ボタンを押すと、テープが出てくる	● 「つめ」の折れたテープが入っている。	● 「穴」をセロハンテープでふさいでください。	23
録画	タイマー録画ができない。	● ビデオの時計が「－－：－－」になっている。	● 停電があったため、予約が消えました。再度、時計を合わせたあと、予約をやり直してください。	90
録画	タイマー録画ができない。(電源を切るとテープが出てくる。)	● 「つめ」の折れたテープが入っている。	● 「穴」をセロハンテープでふさいでください。	23

	症状	原因	処置	参照ページ
録画	タイマー録画予約ができない。(Gコード予約時、リモコン予約時)	● 時計を合わせていない。	● 時計を合わせてから、録画予約してください。	90
録画	タイマー録画予約をしたのに録画されていない。	● タイマー録画予約のあと、電源を切らなかった。	● タイマー録画予約したときは、ビデオの電源を切らないと録画されません。	39
録画	ケーブルテレビのBS番組をGコード予約できない。	● 予約のとき、録画したいBS番組のチャンネルをケーブルテレビのチャンネルに合わせていない。	● Gコードを入力すると、リモコンの表示窓に「BS」表示が現れます。修正ボタンを押してチャンネルの10の位を点滅させたあとBSボタンを押して「BS」表示を消して、ケーブルチャンネルに合わせてください。	46
録画	リモコンを使ってタイマー予約をしていたら途中で時計表示に戻ってしまった。	● 操作を約1分中断すると時計表示に戻ります。	● もう一度Gコードボタンか予約ボタンを押して操作をやり直してください。	37 42
録画	タイマー録画したが、録画内容が違っている。(Gコード予約時)	● Gコードを間違って入力した。	● 正しいGコードを入れてください。	37
		● 予約内容を確認しないでビデオに転送した。	● 予約内容を確認してからビデオに転送してください。	38
		● Gコードで入力したチャンネルがビデオ本体で設定したチャンネルと違う。	● 予約を転送するときは、必ず内容を確認してください。特にチャンネルは、本体で設定したチャンネル番号と同じになっていることを確認し、違っていたら修正してください。	40
録画	タイマー録画予約が転送できない(Gコード予約とリモコン予約時共通)	● リモコンの表示窓に「ビデオ1」を表示していない。	● ビデオ1/2/3切換ボタンを押して「ビデオ1」を表示させてください。	22
		● ビデオの時計が「－－：－－」になっている。	● ビデオの時計を合わせたあと、予約を転送してください。	90
録画	タイマー録画の途中でビデオの電源が切れ、テープが出てきた。	● タイマー録画の途中でテープがなくなった。	—	46
録画	**タイマー録画を途中でやめることができない。**	—	**電源ボタンを押した後、10秒以内に停止ボタンを押してください。**	39
録画	**クイックタイマー録画を途中でやめることができない。**	—	**電源ボタンを押した後、10秒以内に停止ボタンを押してください。**	35
録画	クイックタイマー録画ができない。	● 「つめ」の折れたテープが入っている。	● 「穴」をセロハンテープでふさいでください。	23
		● 時計が「－－：－－」になっている。	● 時計を合わせてください。	90
録画	後面端子に接続した機器から録画ができない。	● 「L1」(外部入力1)を選んでいない。	● 入力切換ボタンで「L1」(外部入力1)を選んでください。	74
録画	前面端子に接続した機器から録画できない。	● 「L2」(外部入力2)を選んでいない。	● 入力切換ボタンで「L2」(外部入力2)を選んでください。	72

故障かな…と思ったら（つづき）

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
再生	再生画像に帯状のノイズが出たり、画像がモヤモヤする。	●トラッキング調節がずれている(古いテープや他のビデオで録画したテープを再生するときに起こることがあります)。	●チャンネル(トラッキング)ボタンで最良に映るように調整してください。	28
再生	再生画像がきれいに映らない、または音は出るが画像が出ない。	●ビデオヘッドが汚れている。	●ヘッドの清掃が必要です。別売りのヘッドクリーニングテープをご使用になり、ヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。	11
再生	音が途切れる。	●音声ヘッドが汚れている。		
再生	日本語と外国語が同時に聞こえる。	●音声切換ボタンで「ステレオ」を選んでいる。	●音声切換ボタンを押して、聞きたい音を選んでください。	50
再生	Hi-Fiサウンドの音声が出ない。	●音声切換ボタンで「モノラル」を選んでいる。	●音声切換ボタンを押して、Hi-Fiサウンドを選んでください。	50
テープナビゲーション	録画時のデータが登録できない。	●テープナビメニューの「1 テープナビ」が[切]になっている。	●「テープナビ」を[入]にしてください。	61
		●録画時間が短い。	●録画時間が標準モードで約5分以内(3倍モードで15分以内)のときは登録しません。	58
		●テープデータの登録がいっぱいになっている。	●いらないテープの登録内容を消してください。	64
		●オートカット機能を使って30分以内の番組を録画した。	●オートカット機能を使って録画するときは、30分以上の番組を録画してください。	59
	見たい番組が探せない。	●本機以外のビデオで録画したテープを使用している。	●本機以外のビデオで録画したテープで見たい番組を探すことはできません。	60
		●登録されていない部分でテープナビゲーションボタンを押した。	●本機で録画した部分でテープナビゲーションボタンを押してください。	60
	録画予約したときの録画時間と実際の録画時間が違う。	●オートカット機能を使って録画した。CMをカットした分だけ録画時間が短くなりますが、故障ではありません。	—	59

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
オートカット機能	録画(予約も含む)したのにテープには何も録画されていない。	●ステレオ放送の番組をオートカット機能を使って録画した。 オートカット機能はステレオ放送をカットするので、ステレオ放送の番組をオートカット機能を使って録画することはできません。	—	54
	見ている番組をオートカット機能を使って録画しているが、オートカットを解除できない。	—	●停止ボタンを押して録画を終了するとオートカットが解除されます。	56
	録画中に番組を切り換えられない。(一時停止ボタンを押しても録画一時停止にならない。)	●オートカット機能を使っている。	●停止ボタンを押して録画を終了させてから、チャンネルを切り換えてください。	56
	オートカット機能を使って録画を始めたら、すぐに一時停止になった。	●ステレオ放送のCMまたは番組をカットしています。	●ステレオ放送以外の番組になると自動的に録画を開始します。	56
チャンネル設定	受信チャンネルの表示をかえたら、テレビ番組の内容とチャンネル表示があわなくなった。	●一度変えたチャンネルの表示を、すでに設定してある別の表示に変えた。 例えば、ある2つのチャンネルの表示をそれぞれ08、10と表示を変えます。そのあと08という表示を、すでに設定してある10という表示にしてしまうと、元の10という表示は08に変わってしまい、番組の内容とチャンネルの表示が合わなくなります。	●表示をかえたチャンネルと番組の内容を確認し、もう一度、設定をやり直してください。	88
	受信チャンネルの表示をかえたのに、あるチャンネルだけ、表示が変わっていない。	●一度設定した表示の番号を、別のチャンネル表示にも使った。	●もう一度設定をやり直してください。	88

故障かな…と思ったら（つづき）

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
衛星放送（BS）	映像も音声も出ない。	● 接続が正しくない。	● 正しく接続しているか確認してください。	92
		● ＢＳアンテナ電源の切り換えが合っていない。	● ＢＳアンテナ電源の切り換えを正しく合わせてください。	93
		● アンテナの接続が不完全なため、保護回路が働いている。	● アンテナ線を本機のＢＳアンテナ入力端子から抜き、もう一度正しく接続してから、ビデオの電源を入/切してください。それでも映らないときは、ＢＳアンテナ側の接続を確認してください。	92
	テレビ画面に「独立」が表示され、BSチャンネルの音声が出ない。	● チャンネル設定「6　TV/独立」で［独立］を選んでいる。	● 「6 TV/独立」で［TV］を選んでください。	51
	BSチャンネルが選局できない。	● チャンネルを飛ばして設定している。	● 飛ばしたチャンネルを元に戻してください。	86
		● チャンネル設定をしたあとでBSアンテナをつないだ。	● チャンネル設定をやり直してください。	84
	映りが悪い。または音声に変な音が出る。	● ＢＳアンテナの向きが悪い。	● ＢＳアンテナの向きを調節してください。	94
		● ＢＳアンテナに雪が付着している。	● 雪を取り除いてください。	—
		● 豪雪や豪雨で電波が地球に届きにくい。	● 気象条件によるもので、故障ではありません。	—
	BS5チャンネルがきれいに映らない。	● ＢＳデコーダを接続していない。	● JSBと契約し、BSデコーダを接続してください。	96
		● ＢＳ５チャンネルを正しく設定していない。	● デコーダ設定画面で「BSデコーダ」［入］を選んでください。	98
	BSをタイマー録画したら、音がまったく録音されていない。	● チャンネル設定「6　TV/独立」で［独立］を選んでいる。	● タイマー録画の前に、BS音声を正しく合わせてください。	51
その他	テレビ画面や音声にノイズが入る。	● テレビのすぐ近くにビデオを設置している。	● ノイズが消える位置でビデオをご使用ください。	76
	チャンネルが出ない。	● チャンネルを飛ばして設定している。	● 飛ばしたチャンネルを元に戻してください。	86
		● チャンネル設定をしたあとでアンテナをつないだ。	● チャンネル設定をやり直してください。	84
		● 引っ越しなどで放送局が変わった。	● チャンネル設定をやり直してください。	84
	ダビング編集ができない。	● 正しく接続されていない。	● 接続を確認し、正しく接続してください。	72･73
		● 録画側ビデオで「外部入力」を選んでいない。	● 録画側ビデオで「外部入力」を選んでください。	73
	本機を録画側のビデオとして使っているとき、「L1」、「L2」などが出ない。	● 「L1」、「L2」を飛ばして設定している。	● 飛ばした「L1」、「L2」を元に戻してください。	86

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
その他	ビデオの表示窓が誤表示したり、操作ボタンを受け付けない。	● 内蔵マイコンが誤動作している。	● リセットスイッチをつまようじなどで押してください。表示部がリセットされます。そのあと、時計合わせ、タイマー予約など必要な調整をし直してください。 リセットスイッチ	—
	テープが走行しても、経過時間表示が動かない。	● テープに何も録画されていない。	● 経過時間表示は、テープに何も録画されていないと動きません。	49
	ビデオを操作しても画面表示(動作表示)が出ない。	● OSD表示［切］を選んでいる。	● OSD表示［オート］を選んでください。	53
	画面表示が出ない。	—	● 画面表示ボタンを押してください。	47
	ビデオの時刻を修正(ジャストクロック)できない。	● ビデオの時刻と現在時刻が3分以上ずれている。	● 3分以上ずれているときは時刻を修正することはできません。	91
		● お好みセレクトで「オート時計設定」［切］を選んでいる。	● 「オート時計設定」［オート］を選んでください。	53
	英語の字幕が出ない。	● 字幕オフを選んでいる。	● 英字幕ボタンを押して字幕を表示してください。	68
		● クローズド･キャプション信号の入っていないビデオテープを再生している。	● 英字幕ボタンを押しても字幕を表示できません。	68
	ビデオのAV-BUSII端子とテレビのAV-BUS端子を接続したが「見テ・録」ができない。	● 本機には「見テ･録」の機能がありません。	—	—
	MUSE-NTSCコンバータを接続しても、ハイビジョン放送の絵が出ない。	● 正しく接続されていない。 ● BS9チャンネルを正しく設定していない。	● 接続を確認し、正しく接続してください。 ● デコーダ設定画面でM-Nコンバータ［入］を選んでください。	104 105 106
	録画した番組を再生していたら、自動的に早送り再生になった。	● お好みセレクトの「再生CMスキップ」を［入］にして、録画したステレオ放送の番組を再生している。	● 「再生CMスキップ」［切］を選んでください。	53 30

停止状態で約1分たつと多少音がしますが故障ではありません。これは内部のテープ保護メカが動作する音です。

保証とアフターサービス

(必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読になったあとは大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打切後最低8年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙(黄色用紙)「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

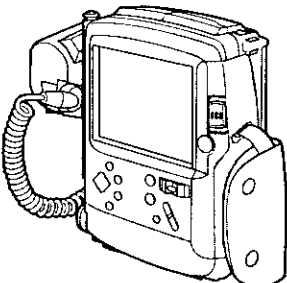
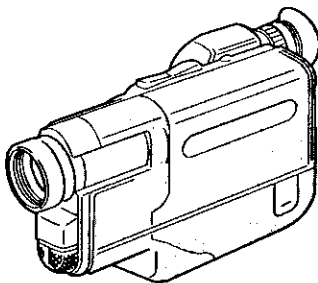
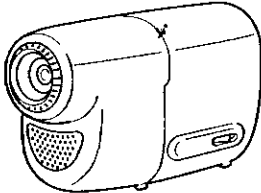
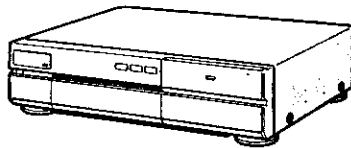
ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立家電品取扱店をご紹介させていただきます。
なお、本機は50Hz(ヘルツ)、60Hz(ヘルツ)の切り換えが自動的に行われますので、切り換えなしでどちらの地域でも使用できます。

本機が正常に動作しないときは、「故障かな…と思ったら」(112 〜117ページ)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
なお、ビデオカセットレコーダー本体の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害(録画内容などの補償)の責については、ご容赦ください。保証期間中は、保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

品名	ビデオカセットレコーダー
形名	7B-BS87形
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

● 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ビデオカセットレコーダーはカラーテレビやビデオカメラからの画面を磁気テープに記録したり、再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。
特に、ビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしてきます。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくためには、およそ1000時間を目途に点検(清掃、注油、一部部品交換)されることをおすすめします。
くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

形　名	7B-BS87
電　源	AC 100V、50/60Hz共用
消費電力	電源「入」時28W、電源「切」時5W
方　式	回転2ヘッドヘリカルスキャン S-VHS 方式(NTSC準拠)
使用カセット	S-VHS または VHS タイプビデオカセット
テープ幅	12.7mm
テープ速度	標準モード　33.4mm/秒、3倍モード　11.1mm/秒
録画再生時間	標準モード　3時間30分(T-210使用時) 3倍モード　10時間30分(T-210使用時)
巻戻し時間	高速巻戻しモード約83秒、通常巻戻しモード約130秒(T-120使用時)
ヘッド数	7 (4：映像用、2：Hi-Fi音声用、1：フライングイレーズ用)
VHF出力	1、2チャンネル切り換え可能
受信チャンネル	VHF　1〜12チャンネル　BS　1〜15チャンネル UHF　13〜62チャンネル CATV　13〜63チャンネル
映像入力	S2/S1映像端子：輝度信号1.0Vp-p、75Ω不平衡／色信号0.286Vp-p、75Ω不平衡 映像端子：1.0Vp-p、75Ω不平衡
映像出力	S2/S1映像端子：輝度信号1.0Vp-p、75Ω不平衡／色信号0.286Vp-p、75Ω不平衡 映像端子：1.0Vp-p、75Ω不平衡
音声入力	−7.8dBs (316mVrms)、ハイインピーダンス
音声出力	−7.8dBs (316mVrms)、ローインピーダンス
音声トラック	3トラック (Hi-Fi VHS音声2トラック：ステレオ録音/ステレオ再生 ノーマル音声　1トラック：モノラル録音/モノラル再生)
Hi-Fi VHS音声特性	ダイナミックレンジ：90 dB以上 周波数特性：20 Hz〜20 kHz ワウ・フラッター：0.005 %
許容動作温度	5℃〜40℃
許容相対湿度	35〜80%以下
外形寸法	(幅)43.5 ×(高さ)9.9 ×(奥行)30.2 cm
質量	本体　4.7kg
付属品	ワイヤレスリモコン(VT-RM87)……1個　AV-BUSコード……1本 同軸ケーブル……1本　Sコード……1本 映像・音声コード……1本 単3形乾電池……2個

● 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
● このビデオカセットレコーダーは、日本国内専用です。電源・電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
<This video cassette recorder cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.>

別売品のご紹介

本機とともにお使いいただける、当社の製品をご紹介します。

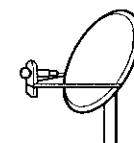
液晶Hi8ビデオカメラ VM-H200L	Hi8ビデオカメラ VM-H720	Hi8ビデオカメラ VM-H80
ミニビデオカメラVK-C32	カラービデオプリンタ VY-VP20	ブースター
		●HD-WB2A (VHF・UHF・FM兼用) ●HVTR-W26A (VHF・UHF兼用) ●HVTR-U26A (UHF専用) ●BS-B30(BS用)
その他	ヘッドクリーニングテープ	接続コード
●マッチングアダプター VT-BF11 086 ●U/V分波器 VT-BF11 096 ●BS/UV分波器 BS-S30（電流通過端子付） HBS-S30A（電流通過端子付） ●BS/UV混合器 BS-UV1A（電流通過端子付） BS-UV2(電流通過端子付) ●BS分配器 BS772A（電流通過端子付） BS773A（電流通過端子付） BS774A（電流通過端子付）	●乾式ビデオヘッドクリーナー T-CL01 ●湿式ビデオヘッドクリーナー AV-210	●HPU-131AV（映像用） ●HPU-121(音声用) ●HPU-200AV（映像・音声用） ●HPU-100（AV-BUSⅡ用）
ビデオカセットテープ	カセットアダプタ	
VHSテープ ●T-160SX ●T-120SX ●T-160HG ●T-120HG ●T-180HG S-VHSテープ ●ST-180SR ●ST-120SR ●ST-160SR ●ST-60SR	●TA-3C	

用語の解説

衛星放送

赤道上空約36,000キロの静止衛星軌道上に打ち上げられた放送衛星を中継として、テレビ電波を受信するシステムです。衛星放送には、8つのチャンネルがあります。現在は、BS5、BS7、BS9、BS11の4つのチャンネルの放送があります。（1996年7月現在）

・BS7 、BS11は、NHK衛星第1と第2です。
・BS5は、WOWOW（JSB：日本衛星放送(株))です。
　また、セント・ギガ(SDAB：衛星デジタル音楽放送(株))が独立音声を放送しています。これらは、受信契約と専用のデコーダの接続が必要です。受信契約と専用のデコーダについては、代理店(主に電器店)にご相談ください。
・BS9は、ハイビジョン試験放送です。専用のMUSE-NTSCコンバータが必要です。
・衛星放送は、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合には全く受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナやBSコンバータの故障ではありません。

衛星放送を受信するには、専用アンテナが必要です。設置場所によっては、受信できない場合がありますので、販売店にご相談ください。アンテナの接続については、92ページの「BSアンテナをつなぐ」をご覧ください。

音声切換(50ページ)

二カ国語放送などを再生するときに便利な機能です。音声切換ボタンを押すたびに、日本語だけ、外国語だけ、日本語と外国語といった具合に音声が切り換わります。録画中に切り換えても、録音内容は変わりません(日本語・外国語の両方が録音されます)。

スクランブル（51, 98ページ）

BS5チャンネルを見るには、受信契約と専門のデコーダが必要です。このデコーダと接続し、このビデオでBS5チャンネルを見るための設定を行わないと、BS5チャンネルにしたとき、ザーッという画面(音)が現れます。このザーッという状態をスクランブルといいます。

ダビング （72ページ）

2台のビデオを接続して、テープを複製することをダビングといいます。ダビングしたテープは多少画質が低下します。

トラッキング調節 （28ページ）

テープを再生すると画面に白い帯状のノイズが出ることがあります。これは、録画された部分をヘッドが正確になぞってないためにおこります。これを正確になぞるように調節することをトラッキング調節といいます。オートトラッキングは、この調節を自動化したものです。

入力切換 （72ページ）

他の機器から録画・録音するときに必要な切換です。
ビデオは通常、テレビ番組を録画できるようになっています。入力切換ボタンで「L1」、「L2」を選ぶと、映像入力端子、音声入力端子に接続された機器から録画・録音ができます。

ビデオ専用チャンネル(ビデオチャンネル)（81ページ）

1または2いずれかのチャンネルです。
映像・音声入力端子のついていないテレビをご使用のときは、テレビを1または2チャンネルに合わせてビデオを楽しみます。これが、ビデオの専用チャンネルです。
ビデオ前面にあるチャンネル切換ボタンを押して1または2チャンネルに切り換えます。

ビデオ/テレビ切換 （24ページ）

ビデオのVHFアンテナ出力の切換です。
「ビデオ」にしておくと、映像と音声が1または2チャンネルの放送(ビデオの専用チャンネル)としてテレビに供給されます。ビデオの電源を切ったときは「テレビ」になっており、テレビは普通に使用できます。ビデオ/テレビ切換ボタンで切り換えます。

用語の解説(つづき)

ブースター(電波増幅器)(79、120ページ)

名前のとおり、電波を増幅します。
電波の弱い地域の場合、ビデオを接続すると、テレビの映りが悪くなります。これは電波がテレビとビデオの両方に分けられるためです。電波を増幅することにより、今までと同じ程度にテレビを見ることができます。増幅度の大きいブースターほど、映りがよくなります。

録画モード(標準/3倍)(23、32ページ)

ビデオには、「標準」と「3倍」の録画モードがあり、録画時に切り換えられます。

標準： テープスピードが標準の速さです。画質を重視するときには「標準」で録画することをおすすめします。

3倍： テープスピードが「標準」の1/3の速さです。「標準」に比べて3倍長く録画できます。

再生のときは、録画時のスピードに自動的に切り換わります。

Aモード(51ページ)

BS放送の音声です。
テレビ音声と独立音声が一緒に送られてきます。FM放送と同等の音声です。独立音声は、テレビ音声とは関係ない「独立した」音声です。

Bモード(51ページ)

BS放送の音声です。
テレビ音声のみ送られてきます。コンパクトディスクと同等の音声です。

BS(92ページ)

BSとは"Broadcasting Satellite"(衛星放送)の略称です。

BSデコーダ (96ページ)

JSB(日本衛星放送株式会社)の有料放送(BS5チャンネル)を見るためにスクランブル画像を正常な画像に戻す装置です。

Closed Caption(68ページ)

クローズド・キャプションシステムは、アメリカで聴覚障害者用に開発されたテレビの字幕放送です。
アメリカではテレビ番組のみではなく、ソフトテープ、ビデオディスクなどにもクローズド・キャプション信号が入っています。日本国内でも、クローズド・キャプション対応のソフトテープが増えており、英語学習に利用することができます。

Gコード (36ページ)

ジェムスターコードの略です。
番組予約を簡単にするために、各番組に付けた最大8桁の数字を入力するだけで開始時刻、終了時刻、チャンネル、録画日が自動的に決まります。各番組の番号は新聞や雑誌などのテレビ欄に掲載されています。

Gコード・インフォ(36ページ)

従来の「Gコードシステム」を応用・展開した予約録画システムのことです。次のような利点があります。

① 1つの番組には全国どこでも同じコードが与えられますので、効率がよい。
② 録画時間の長さの精度が高いので、短時間番組の予約録画に適している。

「Gコード・インフォ」に使用するIコードは、Info plus code の略です。IコードはGコードの番号が「0」で始まります。

Gコード予約 (37ページ)

ジェムスター社が開発したGコードを使う簡単録画予約システムです。

Hi-Fi サウンド (50ページ)

ビデオにはふつうのビデオとHi-Fiビデオがあります。
ふつうのビデオは音声を録音/再生するのに固定ヘッドで録音/再生します。
一方、Hi-Fiビデオは固定ヘッド以外に回転ヘッドでも音声を録音/再生します。そのため、テープとの相対速度が非常に早くなり、よりよい音で録音/再生できます。固定ヘッドで録音した音がノーマルサウンド、回転ヘッドで録音した音がHi-fiサウンドです。

OSD表示 (53ページ)

OSDとは、On-Screen Displayの略です。
OSD表示とは、画面表示やビデオを操作したときに現れる動作表示です。

NTSC方式 (119ページ)

日本やアメリカなどで使われているテレビの信号方式です。ヨーロッパなどで使われているPALやSECAM方式とは互換性がないので、PAL方式やSECAM方式で録画されたテープはNTSC方式のビデオでは再生できません。

シャトルリング (29ページ)

リングを回す角度、方向により再生速度がスロー再生から早送り再生まで可変できます。

ジョグダイアル (30ページ)

1クリック回すごとに1コマずつ画像が送られます。
編集時に希望のフレームを見つけるのに便利です。

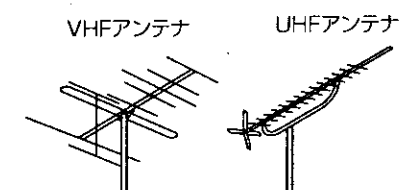
ハイビジョン放送 (102ページ)

走査線の数が現行テレビの2倍以上の1125本(現行525本)、縦横比9：16(現行3：4)の放送です。すでに衛星放送で試験放送が始まっています。

MUSE-NTSCコンバータ (103ページ)

ハイビジョン放送を現行テレビ(NTSC方式)で見られるように変換する装置です。ただし、走査線の数は525本です。

VHFとUHF放送 (78ページ)

テレビ放送にはVHFとUHF放送、BS(衛星)放送があります。VHF放送は1～12チャンネル、UHF放送は13～62チャンネルでご覧になれます。
それぞれの放送に応じたアンテナが必要です。アンテナの形を見ると、どの放送を受けているか、よくわかります。

※一部の地域(関東地域など)ではVHF放送をUHF放送に変換していることもあります。

VISS (31ページ)

VHS Index Search System の略で、テープに記録された頭出し用の信号(VISS信号)を使って頭出しをする方式です。本機は録画を始めると、自動的にVISS信号を記録します。

S映像信号

従来の映像信号と輝度(Y)信号とカラー(C)信号に分離した信号です。2つの信号がお互いに影響を受けないため、鮮明な映像が楽しめます。
＊S映像信号の「S」はセパレート(SEPARATE)YCの「S」です。

S1映像信号

S映像信号と、MUSE-NTSCコンバータなどのフルモード(縦長)の映像を自動判別するための識別信号を一緒にした信号です。

S2映像信号

S1映像信号と、ワイドクリアビジョン放送であるかを自動判別するための識別信号を一緒にした信号です。

索引

索引の見かた
見出し語と同じ形のものは「〜」で代用してあります。
ただし、活用形や複合語、文の途中に出てくる場合は、文字で示してあります。

あ・い・う・え・お

か・き・く・け・こ

さ・し・す・せ・そ

た・ち・つ・て・と

な・に・ぬ・ね・の

は・ひ・ふ・へ・ほ

ま・み・む・め・も

や・ゆ・よ

ら・り・る・れ・ろ

わ

A・B・C